

# 大分の中世石造遺物

第1集 分布図・地名表編（上）

2013

# 大分の中世石造遺物

第1集 分布図・地名表編(上)

## 序 文

本書は、大分県教育委員会が文化庁の補助を得て、平成20年度から平成27年度まで8ヶ年の計画で実施している「大分県古代・中世石造遺物分布調査」（『県内遺跡発掘調査』）の調査報告書『大分の中世石造遺物 第1集 分布図・地名表編（上）』です。この報告書は、今年度まで行った分布調査を中心とした成果を大分県東南部の分布図・地名表編として刊行するものです。

現在までの5年間に及ぶ分布調査から、大分県東南部では、1,500箇所をこえる中世の石造物の所在地が確認できました。本書はそれらを市町村ごとに一覧表にまとめ、それぞれの場所での石造物の概要を簡潔に記しました。今後、刊行予定の大分県北西部の分布図・地名表編、写真・実測図編、総括編と併せて大分県の古代・中世石造物の実態が把握できるものとなりますが、本書はその嚆矢として御利用いただければ幸いです。

本書が大分県の古代・中世石造物の基礎資料となるだけでなく、活用することによって、古代・中世石造物に対する認識を深めていただくとともに、さらには郷土の文化財保護の一助になることを願ってやみません。

最後になりましたが、今回の調査は、地元の石造物に誇りをもつ多くの方々からの御教示や、過疎化や高齢化の波のもと、きわめて厳しい状況の中でも管理され続けている方々の御協力になしには成し遂げられなかったものです。御協力いただいた方々に対し衷心より感謝申し上げます。

平成25年3月29日

大分県教育庁埋蔵文化財センター

所 長 山 口 博 文

## 例 言

- 1 本書は大分県教育委員会が平成20年度より平成27年度までの予定で国庫補助を得て実施している「大分県古代・中世石造遺物分布調査」（『県内遺跡発掘調査』）の報告書第1集「分布図・地名表編」である。
- 2 本書には、今回の悉皆調査において把握した大分県東南部の中世石造物の基礎データと位置を掲載している。なお、古代の石造遺物は現段階では、確認できなかったため、本書名を「大分の中世石造遺物」とし、中世の様相が残る近世初頭の範囲までを掲載対象とした。
- 3 94頁から185頁に掲載している分布図に使用した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平24情複、第614号）。なお、これを縮尺し5万分の1にした。
- 4 本書の執筆分担は下記のとおりである。
  - I、II 原田昭一
  - III 地域別の執筆分担  
杵築市・日出町・別府市（小柳和宏）  
大分市・臼杵市・津久見市・佐伯市（原田昭一・染矢和徳）  
豊後大野市（友岡信彦・染矢和徳）  
なお、編集は原田が行った。

## 目 次

I はじめに	7
1. 調査にいたる経緯	7
2. 大分県の地勢	8
II 大分県における中世石造遺物の概要	9
III 中世石造遺物地名表	11
IV 中世石造遺物分布図	93

# I はじめに

## 1. 調査にいたる経緯

大分県には古代から近世初頭の石造物が、国・県指定物件だけで約230件あり、市町村指定あるいは無指定の物まで含めると、その数は膨大なものになる。これまで、大分県内では石造物について調査が行われてきたが、必ずしも全県下を見通し保存に向けた資料となるものではなかった。そのため、その所在が遺跡地図に記入され、その上、保護の措置が取られているものは、指定物件以外では極めて限られるのが現状である。また、最近の地域社会の崩壊や里山の荒廃は、石造物の所在そのものを忘れさせる要因になっている。さらに、最近では酸性雨により石材の風化が急速に進み、銘文が判読できなくなってきたものがあることも指摘されている。

このような現況のもと、保存に向けた取り組みを進めるため、これらの石造物の分布・種別・立地などの情報を悉皆的に把握し、全県下を網羅した台帳を整備することを目的とし、本事業「大分県古代・中世石造物分布調査」を興すこととなった。

国庫補助を得て平成20年から平成27年まで8ヶ年の予定で実施している「大分県古代・中世石造物分布調査」も今年で残すところ4年となった。各年度の詳細な調査経過は、最終年度に刊行する予定である第4集に掲載する予定であるが、今年度から逐次、報告書を刊行する計画である。今年度と来年度にわたり、「分布図・地名表編」を刊行し、今年度は、その「分布図・地名表編(上)」となる。



第1図 大分県位置図



第2図 大分県内市町村位置図

## 2. 大分県地勢

大分県は、九州北東部に位置し、北は周防灘、東は豊後水道に面し、北は福岡県、西は熊本県、南は宮崎県に隣接している。県土の総面積は約6,340km<sup>2</sup>で、総面積の70%を超える森林をもつ。

県下沿岸部には、県北の宇佐平野、県央の大分平野、県南の佐伯平野など、比較的広い平野があり、内陸には、日田、玖珠、由布院、竹田などの盆地が存在する。このほかは、山稜部が広がり、南北に霧島火山帯が縦走り、これに添って北西部に英彦山々系、南西部に祖母山々系が連なり、起伏に富む地形を形成している。

また、大分県南部の豊後大野市を中心として火砕流の堆積による火山性台地が広がり、山国川、駅館川、筑後川、大分川、大野川、香匠川などの主要河川により、侵食拡大の作用を受けている。

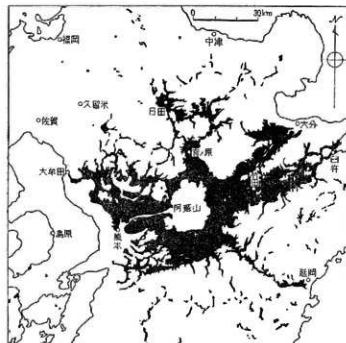
河川については、周防灘、別府湾、豊後水道に流れ出るものが多いが、筑後川上流部の大山川、玖珠川は日田盆地で合流し、三隈川となり、筑紫平野を抜け有明海へ注ぎ、北川水系の中岳川は南流し、延岡で五ヶ瀬川と合流し日向灘へ注いでいる。

海岸については、県の南北部で大きく異なり、周防灘、別府湾においては遶浅の砂浜が広がる。また、佐賀関以南の豊後水道沿岸にはリアス式海岸がひろがり、自然の良港が多く、漁場としても恵まれた環境を作り出している。

石塔の石材という視点でみれば、主要な石材は凝灰岩と安山岩に、ほぼ特定されてしまい、大分県北部の周防灘沿岸一帯から国東半島・別府湾北東岸にかけて安山岩が分布し、大分県中南部一帯や局部的に豊後高田市田染地区、杵築市山香町において凝灰岩が分布している。これらの石材産出地には同じ石材の石塔が分布しており、製作地と分布域がさほど離れたものではないことを物語る。たとえば、極めて局地的な凝灰岩の産出が確認できる佐伯市では、産出地に近接した場所に質量とも充実した石塔の分布が認められ、そこから離れていくにしたがい、分布密度がうすくなっていくことから、地域におけるわずかな産出地をめざして、石材採取地と石塔製作地を求めたことがうかがえよう。



第3図 大分県国東半島の地質図(参考文献(1)より)



第4図 阿蘇溶結凝灰岩の分布図(参考文献(1)より)

## II 大分県における中世石造物の概要

大分県には、全国的にも質量とも卓越した石造物が存在する。国宝および国特別史跡に指定されている臼杵石仏は、日本全国の石造物群中で最も傑出した文化財であるといっても差し支えないものと思える。

今回、調査の対象とした古代・中世石造遺物だけではなく、近世以降においても、「日本一、石橋が多い県」とされているように、石を使った歴史遺産は大分県が最も誇れるものである。また、名勝那馬溪に代表されるように、自然が織りなす景観の美に岩が果たしている役割がきわめて大きいことも、大分県の特徴といえよう。

このように恵まれた石の文化の背景として、大分県中南部を中心として阿蘇溶結凝灰岩の分布が広範囲に認められることや、大分県北部を中心に石材としての安山岩の分布が充実していたことなど、豊富な石材を得るに事欠かない自然環境下にあったことが最大の要因といえる。石造物の分布は白臼と良好な石材が産出する地域に多く、臼杵市や大野川流域、国東半島一体には特に濃密な分布がみられる。

大分県臼杵市や日田市など、古代の石甲が確認できるが、古代に遡る石造物はきわめて特殊であり、また、類例も少ない。本格的に石造物が出現するのは、やはり中世に至ってからである。

中世の石造物は確實なものとして、我国最古の在銘五輪塔である岩手県平泉の釈尊院五輪塔（1169）の翌年、嘉応2年（1170）と承安2年（1172）銘をもつ臼杵市中尾五輪塔にはじまる。しかし、中尾五輪塔に近接する臼杵市日吉社五輪塔や国東市浜崎五輪塔の一部も中尾五輪塔に型式が近似し、同時期のものと考えられる。また、宝塔でも豊後高田市香々地坊中宝塔や国東市国見町千燈寺宝塔など、古式に位置付けられている宝塔もみられる。この両者は、いずれも岩屋に納められている特徴をもち、平安時代に遡る可能性をもつ宝塔の造立背景を知るうえで興味深い。加えて、石塔としての加工はみられないが、宇佐市稲積山に所在したとされる自然石柱塔婆には長寛元年（1163）の銘がみられる。このように、石塔が極めて少数ながら、その嚆矢として確認されるのは、平安時代末期に至ってからである。

一方、紀年銘がみられないが、平安期に遡る石仏（磨崖仏）は豊富である。臼杵石仏をはじめ豊後高田市熊野磨崖仏、大分市元町石仏、豊後大野市菅尾磨崖仏等は平安時代後期に遡るものとされ、以降、自然の良好な露岩が多い県下に中世を通じて流行していく。

鎌倉前～中期には、石塔の造立が極めて乏しい。仁治2・4年（1241・43）銘をもつ豊後高田市富貴寺笠塔婆や正元元年（1259）銘をもつ宇佐市安心院町最明寺五輪塔などは、製作が単発的に終わり、前後に系譜をもつ石塔ではない。

石塔が本格的に流行の兆しをみるのは、文永・弘安年間（1264～1287）以降である。この時期は、全国的に石塔流行の契機となる時期であり、全国的な潮流のもと、県下においても同様の様相をもつ。文永4年（1267）銘をもつ臼杵市野津町水地九重塔、弘安5年（1282）銘をもつ中津市本那馬溪町屋成家墓地宝塔、弘安6年（1283）銘をもつ国東市岩戸寺国東塔、弘安8年（1285）銘をもつ臼杵市野津町八里合五輪塔、正応4年（1291）銘をもつ国東市安岐町聖壽寺板碑など、各種の塔形で紀年銘資料が確認できはじめ、それぞれの型式的系譜を受け継ぐ石塔の始まりとなっている。中でも、岩戸寺国東塔出現以降、国東半島一帯に国東塔の形式が流行し、地域を特徴付ける塔形として広く受け入れられている。

文永・弘安年間以降に始まる石塔の系譜は途絶えることがなく、鎌倉時代末～南北朝期前葉にかけて、最も隆盛をみる。五輪塔・宝塔・国東塔・板碑などの塔形において、紀年銘資料をはじめとして数多くの類例が確認でき、石塔史上、質量とも最も充実している。この時期の石塔は中世を通じ、最も大型に造作され、彫刻も精緻であり、造形も秀逸である。

これに続き、南北朝時代中葉には石塔が新たな展開をみる。貞和2年（1346）銘をもつ豊後大野市大野町川面墓地宝篋印塔、貞和3年（1347）銘をもつ日田市元大波羅神社宝篋印塔、貞和3年（1347）銘をもつ大分市成太寺宝篋印塔など、紀年銘資料をみても、県下各地において宝篋印塔が流行しはじめ、主役の座をこれまでの宝塔から奪ってしまう。もちろん、宝塔が消滅してしまうことはないが、大型の石塔の代表格として位置付けられていく。これとともに、紀年銘資料としては乏しいが、重制無縫塔の流行が南北朝後半にはじまることと、歩を同じくしていることは興味深い。重制無縫塔は禅宗との関係において語られる石塔であることは言うまでもないが、宝篋印塔も禅宗寺院における開山塔として造立されたり、禅宗の舞台において造立される傾向

がうかがえる。豊後において南北朝期後半以降、禪宗が教線を伸ばしてくる傾向がみとれるが、この流れに運動する塔形として捉えられ、これ以前に塔形の主役であった宝塔が天台宗の場に多く確認できることと比較して興味深い。

南北朝期後葉には、塔形の変化とは別に、交名が記された結衆塔婆が流行しはじめる。村々のお堂や墓地を中心に比較的大きな石塔として、国東塔や宝篋印塔などの塔形で造立されている。紀年銘資料でいえば、延文5年(1360)銘をもつ大分市楠木生五重塔、正平18年(1363)銘をもつ豊後大野市千歳町前田薬師堂宝篋印塔、応安元年(1368)銘をもつ由布市内町柿原笠塔婆、応安5年(1372)銘をもつ杵築市山香町小谷観音堂国東塔、応安8年(1375)銘をもつ豊後高田市熊野墓地国東塔などをはじめとして、県下各地において南北朝時代後葉から室町時代にかけて流行することは、当時、集村化という村の新たな形づくりと無関係には語れない資料であるといえよう。

また、この時期には、地藏や十王をモチーフとした石造物がみられる特徴がある。丸彫り石仏や画像石の形をとり、紀年銘資料としては、応安元年(1368)銘をもつ豊後高田市富貴寺地藏石仏、永和4～5年(1378～79)銘をもつ国東市文殊仙寺十王石仏、至徳2年(1385)銘をもつ豊後高田市青字田六地藏画像石、明徳4年(1393)銘をもつ国東市重藤十王石仏などが確認でき、紀年銘がみられない類例をみても、国東半島を中心とした地域に偏在する傾向が見られるもの、新たな石造物の様相として出現する。

室町期に入ると、交名が記された結衆塔婆は、宝篋印塔・宝塔を中心にするものから、石幢に移行する。応永17年(1410)銘をもつ豊後大野市朝地町館石幢を紀年銘資料の最古例として、県下各地において時代を代表する石塔として位置付けられてくる。国東半島一帯に流行する石殿型の石幢を含め、これらの石幢の龕部には、六地藏や十王が顕されており、前述した丸彫り石仏や画像石の理念の承襲を受け継ぐものとして捉えるべき石塔であろう。

南北朝後葉から室町時代には、地方武士層をはじめ、商工業者・有力農民など信仰層における民衆化=底辺の拡大が葬送追善儀礼重視の形で進行したと考えられており、その手法として地域への恐怖や追善の必要を強調し、死後、初七日から三十三回忌の仏事をあらわす十三仏事などを浸透させることにより地域民衆との結びつきを深めていったとされている。このような信仰背景のもと、「隣」という信仰集団を結び、村人が結束していく様子が読み取れる良好な歴史資料として、石塔が重要な位置づけをもつ。既存の塔形をみても、応永21年(1414)銘をもつ豊後高田市梅邊寺板碑に十三仏の梵字種子が刻まれているように、当時の時代相が反映されている。

このような背景のもと、様々な塔形において大きな変化が生じている。その特徴は小型化と矮小化の流れで捉えられ、かつ、爆発的な造立数が確認できる傾向は戦国期から近世初期を通して看取できる。その銘文も、葬送追善儀礼重視のもと、戒名と没年月日が記されるように、近世の墓碑につながる内容が多くを占めている。政治的にみれば、17世紀に入り、徳川幕府の成立により、様々な変化が生じる契機と考えられはするが、石塔においては、17世紀中葉まで塔形及び銘文にみられる造立の趣旨は何ら変わることはない。前述したように、五輪塔・宝塔・宝篋印塔・板碑などをはじめとした塔形が、小型化・矮小化の傾向をもち、中には塔形の折衷様式とも受けとれるような形態も出現しはじめ、塔形がもつ本来の意義すら忘れ去られつつある印象を受ける。

このような中世石塔の様相が一変するのは、17世紀中葉に至ってからである。この時期は全国的に近世墓碑の出現期であり、板碑(剣頭)型墓碑の形をとり、寛文期(1661～73)に斉一的に出現し、それと同時に、中世的な石塔は一掃されてしまう。寛文期は徳川幕府が寺壇制度を確立させた時期と考えられており、檀那寺に保管される過去帳に記載される戒名と没年月日を墓碑へあらわすとともに、中世墓の多様な要素から様々な属性が取捨選択され、墓碑が板碑型に特定されたように、政治色の強さが、塔形に反映されている。寺壇制度自体は戦国期から局地的に確認されるが、全国的に普遍的に確立したのは、寛文期である。このように近世墓碑が成立することにより、同時に中世石塔が終焉を迎えるのである。



### Ⅲ 中世石造遺物地名表

ここでは本書で取り上げる大分県東南部の杵築市（旧大田村を除く）・日出町・別府市・大分市・臼杵市・豊後大野市・津久見市・佐伯市に所在する1491箇所（1492箇所）の石造物について、一覧表で概要をまとめている。市町村史誌類をはじめとした過去の刊行物に記載された類例をはじめとして、平成20年から平成24年に及ぶ現地での発掘調査により得られたデータをもとに作成したものである。

一覧表の各項目については、下記の凡例のとおりである。

#### 凡 例

- 番 号……………94ページ以降の分布図の各市町村単位の番号と一致する。
- 名 称……………国県市町村指定の場合、指定名称を優先して採用し、また、過去に名称が確認できるものも優先して今回の名称に採用し、それ以外のものは新たな名称とした。
- 所 在 地……………所在地は一覧表が市町村単位であるため、市町村名を省き、大字以下の地名を採用した。小字が判明しているものや、その場所固有の呼び名がある場合も併せて記載した。
- 造 立 時 期……………平安・鎌倉・南北朝・室町・戦国の各時代で表記し、また、近世でも中世の様相をもつ石塔が残る近世初期の範囲まで、掲載の対象とした。
- 概 要……………立地や歴史的環境、塔形や特徴などをはじめ、特殊すべき点について簡単にまとめた。
- 在銘資料の年号……………元号と併せてカッコ内に西暦を記載した。石塔群で複数例確認できた場合はすべて掲載した。なお、各年号に該当する資料がどれであるかについては、概要の項目でふれている。
- 指 定 区 分……………指定区分については下記のとおりである。石塔群の場合は指定物件をカッコ内に示した。
- 【国 指 定】重要文化財：「国重文」と略記  
史 跡：「国史跡」と略記
- 【県 指 定】有形文化財：「県有形」と略記  
史 跡：「県史跡」と略記
- 【市町村指定】有形文化財：「市町村有形」と略記  
史 跡：「市町村史跡」と略記
- なお、上記以外でも「国宝・国指定特別史跡」等、特殊な指定の場合も併せて記載した。
- 参 考 文 献……………92～93ページに記載した文献一覧の番号と対応する。
- 地 図 番 号……………分布図の掲載地図番号と各分布図の縦横に8等分した小区画を記載している。
- 塔形及び個体数……………五輪塔・宝篋印塔・宝塔については、各部位ごとの実数を記載し、紙面の都合上、国東塔・板碑・一石五輪塔・無縫塔・角柱塔婆・石幢・石殿については、部材のみであっても実数を記載した。五輪塔・宝篋印塔・宝塔における完存については、部材の一部のみが失われていても、組合せが本来のものだと判断できるものは、完存の個体数として認識した。これ以外の塔形については、「その他の塔形」の欄に塔形名と実数を記載した。なお、相輪のように、宝篋印塔や宝塔・層塔など、どの塔形においても可能性をもつ部材である場合、他の部材の存在等考慮して、可能性の最も高い塔形に分類したため、確実とはいえない。また、草むらや竹藪で覆われていたり、一部、地中に存在することが明確な場合等、正確な実数が把握できない場合は、あえて各項目に実数を記載せず、概要においてふれている。

市町村別一覧表

市町村名	掲載頁
杵築市	12～25
日出町	26～29
別府市	30～35
大分市	36～51
臼杵市	52～59
豊後大野市	60～77
津久見市	78～81
佐伯市	82～91

市町村別分布地図

市町村名	掲載頁
杵築市	12・19・20・21・27・28・29
日出町	20・27・28
別府市	27・35・36・43・44
大分市	36・37・44・45・46・47・53・54・55・62・64
臼杵市	46・55・56・57・64・65・72・73
豊後大野市	54・62・63・64・70・71・72・77・78・83・84
津久見市	56・57・65・66・76
佐伯市	65・66・67・71・72・73・74・75・77・78・79・80・81・82・84・85・86・87・88・89・90

番号	名称	所在地	建立時期	概要	生熟資料の年号	指定区分	参考文献	掲載地図番号
1	松尾家古書石塔群	山崎町 西野	室町～明治	松尾東海から上り置かれた山内にある松尾家の一里坊、中土の塔がある。多くはぼろぼろになってしまっている。資料の松尾重忠が建立。立派な石塔群であり、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				17 Hと
2	松尾藤竹石塔群	山崎町 西野	明治	菅原重忠が中心となり建てられた。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Aと Eと
3	松尾公民館石塔	山崎町 西野	江戸～明治	松尾東海が中心に建てられた。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Aと Eと
4	大造明善地宝蓋印塔と眞蓮山石塔	山崎町 西野	室町～明治	大造明善の石塔。大造明善の石塔は、大造明善の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Aと
5	松尾東家石塔	山崎町 西野	室町	松尾東海が建てた石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Aと
	中興成次五輪塔	山崎町 西野	明治	中興成次が建てた五輪塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。	天明7 (1789)	41		19 Aと
	大内家地宝蓋石塔	山崎町 西野	室町～明治	大内家地宝蓋の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Aと
6	八丸平重印塔群(佛師中土人遺)	山崎町 西野	江戸	八丸平重の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。	享和2 (1217)	41		19 Aと
7	向野浄土寺石塔群	山崎町 西野	南北朝～戦国	浄土宗の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Aと
8	石原石五輪塔	山崎町 西野	室町	石原石の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Bと
9	足利定野郎古書石塔群	山崎町 西野	室町	足利定野郎の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。		41		19 Dと
10	大輝堂石塔	山崎町 西野	明治	大輝堂の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Dと
11	山崎小学校北石塔群	山崎町 西野	戦国	山崎小学校の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Eと
12	早稲田石塔	山崎町 西野	室町	早稲田の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。	享和4 (1214)	41		19 Eと
13	若八幡堂石塔群	山崎町 西野	室町	若八幡堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Eと
14	若八幡堂下下石塔群	山崎町 西野	室町	若八幡堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
15	高ノ原寺石塔群	山崎町 西野	室町	高ノ原寺の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。	享和2 (1214)	41		19 Fと
16	成実堂石塔	山崎町 西野	室町	成実堂の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。	享和4 (1214)	41		19 Fと
17	成実堂石塔群	山崎町 西野	室町	成実堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
18	成実堂石塔群	山崎町 西野	室町	成実堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
19	長流寺石塔群	山崎町 西野	室町	長流寺の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
20	長流寺石塔群	山崎町 西野	室町	長流寺の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
21	長流寺石塔群	山崎町 西野	室町	長流寺の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
22	阿彌堂石塔	山崎町 西野	室町	阿彌堂の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
23	阿彌堂石塔群	山崎町 西野	室町	阿彌堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
24	仙ヶ堂石塔	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
25	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
26	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
27	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
28	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
29	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
30	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
31	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
32	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
33	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと
34	仙ヶ堂石塔群	山崎町 西野	室町	仙ヶ堂の石塔群。石塔は中興寺の石塔と同じ形をしており、石塔の下部の彫刻は見るべきである。				19 Fと



番号	名称	所在地	造立時期	概要	登録資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
35	阿波石堂石塔群 (鎌倉・室町)	山形町 山形町	鎌倉～南北朝	鎌倉時代の石堂の中心にあり、西隣の石堂は平安時代末の塔と見られる。塔基に納められた石堂の礎石は、石堂の礎石でなく、石堂の塔基の礎石である。		c		19- 18
36	石河野村石塔等 (室町)	山形町 石河野	室町	不同時期の石塔の集まり。石河野村。				19- 18
37	石河野石塔群 (室町)	山形町 石河野	室町	室町時代の石塔の集まり。石河野村。				19- 18
38	石河野石塔群 (室町)	山形町 石河野	室町	室町時代の石塔の集まり。石河野村。				19- 18
39	下山の御堂石塔群 (室町)	山形町 下山	室町	室町時代の石塔の集まり。下山の御堂。		b		19- 18
40	下山山内遺跡 (室町)	山形町 下山	室町	室町時代の石塔の集まり。下山の御堂。	室町 (1369)	寺域外 (寺域外)	5 19- 18	19- 18
41	大杉山石塔 (室町)	山形町 大杉山	室町	室町時代の石塔の集まり。大杉山。	天正3 (1575)	寺域外	5 19- 18	19- 18
42	龍門坊石塔群 (室町)	山形町 龍門坊	室町	室町時代の石塔の集まり。龍門坊。	天正3 (1575)	13-39	19- 18	19- 18
43	赤倉園遺跡 (室町)	山形町 赤倉園	室町	室町時代の石塔の集まり。赤倉園。		41	19- 18	19- 18
44	大池石塔群 (室町)	山形町 大池	室町	室町時代の石塔の集まり。大池。				19- 18
45	小倉遺跡と 石塔群 (室町)	山形町 小倉	室町	室町時代の石塔の集まり。小倉。	天正3 (1575)	寺域外	6 19- 18	19- 18
46	西野山石堂三基壇 と石塔群 (室町)	山形町 西野山	室町	室町時代の石塔の集まり。西野山。	天正3 (1575)	寺域外	6 19- 18	19- 18
47	室ノ内(室町)石塔 (室町)	山形町 室ノ内	室町	室町時代の石塔の集まり。室ノ内。	天正3 (1575)	4	19- 18	19- 18
48	室ノ内石塔群 (室町)	山形町 室ノ内	室町	室町時代の石塔の集まり。室ノ内。	天正3 (1575)	b+c	19- 18	19- 18
49	室ノ内石塔 (室町)	山形町 室ノ内	室町	室町時代の石塔の集まり。室ノ内。	天正3 (1575)	5	19- 18	19- 18
50	下中屋遺跡 (室町)	山形町 下中屋	室町	室町時代の石塔の集まり。下中屋。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
51	鹿ノ岡遺跡 (室町)	山形町 鹿ノ岡	室町	室町時代の石塔の集まり。鹿ノ岡。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
52	涌水馬場石塔群 (室町)	山形町 涌水馬場	室町	室町時代の石塔の集まり。涌水馬場。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
53	鎌倉馬場石塔群 (室町)	山形町 鎌倉馬場	室町	室町時代の石塔の集まり。鎌倉馬場。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
54	室ノ内(室町)石塔 (室町)	山形町 室ノ内	室町	室町時代の石塔の集まり。室ノ内。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
55	中尾平楽堂 (室町)	山形町 中尾	室町	室町時代の石塔の集まり。中尾。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
56	中尾平楽堂 (室町)	山形町 中尾	室町	室町時代の石塔の集まり。中尾。	天正3 (1575)	寺域外	15 19- 18	19- 18
57	用北家石塔群 (室町)	山形町 用北	室町	室町時代の石塔の集まり。用北。	天正3 (1575)	4	19- 18	19- 18
58	西郷寺石塔群 (室町)	山形町 西郷	室町	室町時代の石塔の集まり。西郷。	天正3 (1575)	寺域外	19- 18	19- 18
59	六太石塔群 (室町)	山形町 六太	室町	室町時代の石塔の集まり。六太。	天正3 (1575)	c1	20- 19	20- 19
60	大池石塔群 (室町)	山形町 大池	室町	室町時代の石塔の集まり。大池。	天正3 (1575)	c1	20- 19	20- 19
61	山本家石塔群 (室町)	山形町 山本	室町	室町時代の石塔の集まり。山本。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
62	妙善坊石塔群 (室町)	山形町 妙善坊	室町	室町時代の石塔の集まり。妙善坊。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
63	又井屋石塔 (室町)	山形町 又井屋	室町	室町時代の石塔の集まり。又井屋。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
64	丹波寺石塔群 (室町)	山形町 丹波	室町	室町時代の石塔の集まり。丹波。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
65	上杉(室町)至徳 (室町)	山形町 上杉	室町	室町時代の石塔の集まり。上杉。	天正3 (1575)	寺域外	41 20- 19	20- 19
66	早野山石塔群 (室町)	山形町 早野山	室町	室町時代の石塔の集まり。早野山。	天正3 (1575)	b	20- 19	20- 19
67	二野屋遺跡 (室町)	山形町 二野屋	室町	室町時代の石塔の集まり。二野屋。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
68	阿波石堂 五輪石塔 (室町)	山形町 阿波	室町	室町時代の石塔の集まり。阿波。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
69	阿波石堂 五輪石塔 (室町)	山形町 阿波	室町	室町時代の石塔の集まり。阿波。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
70	阿波石堂 五輪石塔 (室町)	山形町 阿波	室町	室町時代の石塔の集まり。阿波。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19
71	阿波石堂 五輪石塔 (室町)	山形町 阿波	室町	室町時代の石塔の集まり。阿波。	天正3 (1575)	寺域外	20- 19	20- 19



番号	名称	所在地	建立時期	概要	在籍議員の 年月	指定 区分	参考 文献	掲載 地図
72	待姫塚古石塔群	比良町 待姫塚	南北朝一 江戸前	島、渡口等へ向い、ある河川を遡り、西に700mの東洋町、南西に河川の方角に200m程まで延びて立っている。墓石の「河原塚」とするもの。	26年(1974) 28年(1984)	5	70 11	20 11
73	心石寺石塔群	比良町 心石	江戸一戦国	高野に古徳寺あり、永年、心石寺とす。				20 11
74	増穂小学石塔群	比良町 増穂	江戸、戦国	増穂の古徳寺あり、心石寺の石塔群に属する。増穂の古徳寺の石塔群に属する。				20 6
75	石塚集善地石塔群	比良町 石塚	戦国	石塚集善の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。	大正7 (1918)			20 6
76	増穂赤石石塔群	比良町 増穂	戦国	増穂赤石の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。	大正7 (1918)			20 6
77	小塚家石塔群 (小塚家集善寺)	比良町 小塚	戦国	小塚家の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
78	松原町五輪塔	山形町 松原	戦国	松原町に所在する五輪塔の石塔群。江戸時代建立と見られる。				20 11
79	八幡寺石塔群	山形町 八幡	江戸	八幡寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
80	野田家五輪塔	山形町 野田	江戸～戦国	野田家の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
81	笠原寺石塔群	山形町 笠原	戦国	笠原寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
82	松尾屋十土堂 石塔群	山形町 松尾	江戸～戦国	松尾屋の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
83	三浦屋石塔群	山形町 三浦	江戸～戦国	三浦屋の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
84	中村地五輪塔	山形町 中村	江戸	中村地の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
85	鹿野公民館裏 五輪塔	山形町 鹿野	戦国	鹿野の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
86	正清寺石塔群	山形町 正清	南北朝～江戸	正清寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
87	廣地集善寺印塔	山形町 廣地	戦国	廣地集善寺の印塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
88	高成集善寺と 周辺の石塔群	山形町 高成	戦国	高成集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。	事務所 (後述)	5	20 11	20 6
89	鹿成集善寺石塔群	山形町 鹿成	戦国	鹿成集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。		5	20 6	20 6
90	山田集善寺	山形町 山田	江戸	山田集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
91	徳野寺石塔群	山形町 徳野	江戸～戦国	徳野寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。		5	20 11	20 6
92	小丘一丘五輪塔	山形町 小丘	江戸、戦国	小丘一丘の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
93	小塚寺石塔群	山形町 小塚	戦国～江戸	小塚寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。	工事(3 1988)	5	20 6	20 6
94	藤ノ木集善寺	山形町 藤ノ木	戦国	藤ノ木集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。	大正3 (1914)			20 6
95	今丸五輪塔	山形町 今丸	江戸～戦国	今丸の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。	大正3 (1914)			20 6
96	中畑集善寺	山形町 中畑	戦国	中畑集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
97	敦通寺石塔群	山形町 敦通	戦国	敦通寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。		41	20 6	20 6
98	龍門寺堂印塔	山形町 龍門	江戸～戦国	龍門寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
99	大塚寺集善寺石塔群	山形町 大塚	江戸	大塚寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 11
100	宇野集善寺 堂印塔	山形町 宇野	江戸～戦国	宇野集善寺の印塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
101	宝清寺石塔群	山形町 宝清	江戸～戦国	宝清寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
102	津本集善寺公民館 五輪塔	山形町 津本	戦国	津本集善寺の五輪塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
103	柳井集善寺石塔群	山形町 柳井	江戸～戦国	柳井集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
104	玉尾集善寺印塔	山形町 玉尾	江戸～戦国	玉尾集善寺の印塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
105	正清寺集善寺 石塔群	山形町 正清	江戸～戦国	正清寺集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
106	光明寺石塔群	山形町 光明	江戸～戦国	光明寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
107	二の成集善寺 五輪塔	山形町 二の成	戦国	二の成集善寺の五輪塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
108	宝輪寺石塔群	山形町 宝輪	戦国	宝輪寺の集善寺の石塔群である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
109	二の成集善寺 五輪塔	山形町 二の成	江戸～戦国	二の成集善寺の五輪塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
110	二の成五輪塔 五輪塔	山形町 二の成	江戸～戦国	二の成集善寺の五輪塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6
111	有徳集善寺地 五輪塔	山形町 有徳	江戸～戦国	有徳集善寺の五輪塔である。江戸時代の集善寺の石塔群に属する。				20 6

塔形及び躯体数																			
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				涅槃塔	板碑	一石五輪塔	無縫塔	角柱塔婆	石幢	石殿	その他の塔形
完存	半壊	火輪	水輪	地輪	完存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇	完存								
		1	1							1						1			
		1						1											
1	7	0	5	7		3	3	2	1										
		3	2										1						
		2	2	1		1	1												
		7	1	2				2											1
		25	12	24	3														自然破壊1
		5	7	9															
		1																1	
		1			1		1	1	1										→工石610等作
		1	1	1															
				1															
			2	3			1												1
						1													
1		5	4	3	1														無等仏
		1	1	1		2							2						
1				4			1	1						1	3		2		
						4													
			6	1		1		1											
						1													
			1	1															1
						1													
2	13	8	8	2										2	4				→輸出彫刻組立1
															2				
1																			
																			1
		7	7	3		2													
5																			
		6	3	5	2														
			2	3															
1																			
																			1

番号	名称	所在地	造立時期	概要	登録資料の年月	指定区分	参考文献	掲載地図番号
112	芦刈地蔵尊石塔群	瀬戸	明治	芦刈地蔵尊、以下2塔あり、鎌倉タイプ。				20 H.6
113	芦刈地蔵尊摩崖地五輪塔群	見月	明治	三日月堂の築造の資料として重要大発見。本縁、中縁が削り出せる。				20 H.6
114	二宮御前霊印塔	新築 草上	現代	二宮御前との間に二小室(50×50)の霊堂印塔あり、鎌倉タイプ。				20 H.6
115	松岡家内庭塔	新築 池ノ	江戸	仏(持明)1塔の石塔、当地の典型的な形制に立っている。				20 F.5
116	宝徳寺石塔群	高井	江戸 江戸前期	宝徳寺境内に2つあり「山は北の山」とある。				20 G.6
117	山神社五輪塔群	津井	明治	山神、工芸的造形の塔、大層な塔である。				20 G.6
118	轟地蔵尊 十王石仏	法津 乙乙	南北朝?	轟地蔵尊は、轟地蔵尊の造形に似ており、中層は、江戸前を意味する形制に似る。轟地蔵尊の造形に似る。	昭和58		5	20 F.7
119	船越野内家五輪塔群	津井 石ノ	江戸期?	轟地蔵尊の造形に似る。轟地蔵尊の造形に似る。		市指定	5	20 F.7
120	福南家墓地五輪塔群	津井 津井	明治	津井家墓地に2つあり、江戸前期の塔。				20 F.7
121	茶玄寺宝徳印塔群	津井 津井	江戸	宝徳印塔2塔立っている。				20 G.7
122	追跡霊堂石塔群	轟	江戸	宝徳印塔に準ずる造形の石塔群が立っている。その中、中層の石塔は江戸前期の塔に似る。追跡霊堂石塔群は江戸前期の塔に似る。				20 G.7
123	轟馬場御堂石塔群	轟馬場	江戸期 江戸前期	「轟馬場」として大正時代後半に建てられた小笠原邸。五輪塔群がある。轟馬場御堂、轟馬場の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 H.7
124	念蔵石塔	津井 津井	明治	念蔵石塔の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 I.7
125	中平公園霊堂石塔群	内野 津井	明治	津井家の境内にある石塔群である。				20 H.7
126	福南大神前十王石仏	津井 津井	江戸	津井家菩提寺の境内に十王石仏が立っている。江戸前期の塔に似る。				20 I.6
127	高岡家五輪塔群	津井 津井	江戸期	高岡家菩提寺の境内に五輪塔群が立っている。江戸前期の塔に似る。				20 H.8
128	茨木丸地蔵石塔群	津井 津井	江戸	津井家菩提寺の境内に地蔵石塔群が立っている。江戸前期の塔に似る。				20 H.8
129	本村丸地蔵	轟馬場	江戸	本村丸地蔵の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 H.7
130	馬場尾本村石塔群	新築 津井	江戸-明治	馬場尾、新築の境内に五輪塔群が立っている。				20 H.7
131	竹ノ尾地蔵尊	津井 津井	南北朝?	竹ノ尾地蔵尊の二つあり、南北朝の塔に似る。		5		20 G.7
132	福南家霊堂印塔群	轟	江戸期	福南家霊堂印塔群の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 G.7
133	福南家石塔群	津井 津井	江戸期	福南家石塔群の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 G.7
134	追跡寺南院石塔群	津井 津井	江戸	追跡寺南院の境内に石塔群が立っている。				20 G.7
135	津井家前田屋敷五輪塔群	津井 津井	江戸	津井家前田屋敷の境内に五輪塔群がある。				20 G.6
136	嶋川東甲五輪石塔群	津井 津井	江戸	嶋川東甲の境内に五輪石塔群が立っている。				20 G.6
137	西野霊堂印塔	津井 津井	江戸	西野霊堂印塔の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 G.6
138	嶋川北屋敷地五輪塔	津井 津井	江戸	嶋川北屋敷地の境内に五輪塔がある。				20 G.6
139	栗谷地蔵五輪塔群	津井 津井	江戸	栗谷地蔵五輪塔群の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 G.6
140	津山地蔵五輪塔	津井 津井	江戸	津山地蔵五輪塔の二つあり、江戸前期の塔に似る。				20 G.6
141	藤原家御堂石塔群	津井 津井	江戸期	藤原家御堂の境内に石塔群がある。				20 G.6
142	藤原家御堂五輪塔	津井 津井	江戸	藤原家御堂の境内に五輪塔がある。				20 G.6
143	岩倉御堂石塔群	津井 津井	江戸期	岩倉御堂の境内に石塔群がある。				21 C.7
144	岩倉御堂五輪塔	津井 津井	江戸	岩倉御堂の境内に五輪塔がある。				21 C.7
145	高岡家御堂五輪塔群	津井 津井	江戸	高岡家御堂の境内に五輪塔群がある。				21 G.7
146	高岡家御堂石塔	津井 津井	江戸	高岡家御堂の境内に石塔がある。				21 G.7
147	津山御堂石塔群	津井 津井	江戸	津山御堂の境内に石塔群がある。				21 G.7
148	津山御堂五輪塔	津井 津井	江戸	津山御堂の境内に五輪塔がある。				21 G.7
149	津山御堂石塔	津井 津井	江戸	津山御堂の境内に石塔がある。				21 G.7
150	花木山御堂石塔群	津井 津井	江戸	花木山御堂の境内に石塔群がある。				21 G.6





番号	名称	所在地	建立時期	概 要	在籍記録 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図
151	北山前法石石塔群	大分	江戸～ 近世前期	奥平屋敷下平土山(大分大塚4町5丁目)と五輪塚法塔がある。				21 F-1
152	小椋原法石 五輪塚群	大分 小椋原	江戸	小椋原の法石の宝篋印塔五輪塚群がある。				21 F-2
153	小崎熊鷹堂 法石群	大分 小椋原	江戸～ 江戸後期	鷹堂(熊鷹堂)も法石の宝篋印塔五輪塚群がある。宝篋印塔五輪塚群の宝篋印塔は、奥平屋敷下平土山(大分大塚4町5丁目)と五輪塚法塔がある。				21 F-3
154	熊手真田家墓 地石塔	大分 熊手	江戸前期?	熊手の門に熊手(熊手)に記された石塔がある。他に熊手(熊手)の石塔がある。熊手(熊手)の石塔は、熊手(熊手)の石塔である。熊手(熊手)の石塔は、熊手(熊手)の石塔である。				21 H 2 2 H 2
155	八雲寺石塔群	大分 熊田	江戸	八雲寺(八雲寺)の石塔群がある。八雲寺(八雲寺)の石塔群は、八雲寺(八雲寺)の石塔群である。				21 F-2
156	熊手熊鷹堂石塔群	大分 熊手	江戸	熊手の熊鷹堂(熊鷹堂)の石塔群がある。				21 F-2
157	熊鷹山延命寺 法蔵堂石塔	大分 熊	江戸	延命寺(延命寺)の法蔵堂(法蔵堂)の石塔群がある。				21 F-3
158	大塚寺石塔群	大分 熊	江戸～戦国	大塚寺(大塚寺)の石塔群がある。大塚寺(大塚寺)の石塔群は、大塚寺(大塚寺)の石塔群である。				21 F-3
159	守江中能半屋敷 石塔群	大分 守江	江戸	守江(守江)の能半屋敷(能半屋敷)の石塔群がある。				21 F-3
160	守江小一郎石塔群	大分 守江	江戸	守江(守江)の小一郎(小一郎)の石塔群がある。				21 F-4
161	十三仏石塔北朝堂 石塔群	大分 野井	江戸～戦国	十三仏(十三仏)の石塔群がある。十三仏(十三仏)の石塔群は、十三仏(十三仏)の石塔群である。				21 F-4
162	十三仏石塔南 石塔群	大分 野井	江戸～戦国	十三仏(十三仏)の石塔群がある。十三仏(十三仏)の石塔群は、十三仏(十三仏)の石塔群である。				21 F-4
163	水月寺跡南墓 地石塔群	大分 水月	江戸～ 江戸後期	水月寺(水月寺)の南墓(南墓)の石塔群がある。				21 H 4
164	西氏墓石塔群	大分 西氏	江戸	西氏(西氏)の墓(墓)の石塔群がある。				21 H 5
165	手塚家墓石塔群	大分 手塚	江戸	手塚家(手塚家)の墓(墓)の石塔群がある。				21 H 5
166	野塚北町公民館 五輪塚	大分 野塚	江戸	野塚(野塚)の五輪塚(五輪塚)がある。				21 H 5
167	手塚家石塔群	大分 野塚	江戸～戦国	手塚家(手塚家)の石塔群がある。				21 H 5
168	手塚家墓石塔群	大分 野塚	江戸	手塚家(手塚家)の墓(墓)の石塔群がある。				21 H 5
169	一里塚石塔群	大分 野塚	江戸	一里塚(一里塚)の石塔群がある。				21 H 5
170	足立家墓石塔群	大分 野塚	江戸	足立家(足立家)の墓(墓)の石塔群がある。				21 H 5
171	野塚北町公民館 五輪塚群	大分 野塚	江戸	野塚(野塚)の五輪塚(五輪塚)群がある。				21 H 5
172	西宮寺跡堂印塔	大分 野塚	江戸	西宮寺(西宮寺)の跡(跡)の堂印塔(堂印塔)がある。				21 H 5
173	光寺石塔群	大分 野塚	江戸	光寺(光寺)の石塔群がある。				21 H 5
174	赤石家五輪塚	大分 赤石	江戸	赤石家(赤石家)の五輪塚(五輪塚)がある。				21 H 5
175	赤多宮宝印塔	大分 赤多	江戸	赤多宮(赤多宮)の宝印塔(宝印塔)がある。				21 H 5
176	熊鷹寺丸屋敷東墓 地五輪塚群	大分 赤多	江戸	熊鷹寺(熊鷹寺)の丸屋敷(丸屋敷)東墓(東墓)地五輪塚(五輪塚)群がある。				21 H 5
177	熊鷹家墓石 五輪塚群	大分 赤多	江戸	熊鷹家(熊鷹家)の墓(墓)石五輪塚(五輪塚)群がある。				21 H 5
178	野江野石塔群	大分 野江	江戸	野江(野江)の野石塔(野石塔)群がある。				21 H 5
179	熊鷹家横六輪塚群	大分 赤多	江戸	熊鷹家(熊鷹家)の横六輪塚(横六輪塚)群がある。				21 H 5
180	赤多氏法石塔群	大分 赤多	江戸～戦国	赤多氏(赤多氏)の法石塔(法石塔)群がある。				21 G 6
181	井筒家公民館 熊鷹塚群	大分 赤多	江戸	井筒家(井筒家)の公民館(公民館)熊鷹塚(熊鷹塚)群がある。				21 G 6
182	熊鷹寺石塔群	大分 赤多	江戸～ 江戸後期	熊鷹寺(熊鷹寺)の石塔群がある。				21 G 6
183	熊鷹家墓石 五輪塚群	大分 赤多	江戸～戦国	熊鷹家(熊鷹家)の墓(墓)石五輪塚(五輪塚)群がある。				21 G 6
184	赤多城石塔群	大分 赤多	江戸	赤多城(赤多城)の石塔群がある。				21 G 6
185	赤多城北墓 地五輪塚	大分 赤多	江戸	赤多城(赤多城)北墓(北墓)地五輪塚(五輪塚)群がある。				21 G 6
186	下熊鷹八輪石塔群	大分 赤多	江戸～戦国	下熊鷹(下熊鷹)八輪石塔(八輪石塔)群がある。				21 G 6
187	浄寺石塔群	大分 赤多	江戸～戦国	浄寺(浄寺)の石塔群がある。				21 G 6
188	口ノ尾石塔群	大分 赤多	江戸～戦国	口ノ尾(口ノ尾)の石塔群がある。				21 G 6



番号	名称	所在地	造立時期	概 要	登録資料 の番号	指定 区分	参考 文獻	掲載 地図 番号
189	甲斐家台地 築城跡	山手町 スル	戦国	伊藤氏、内1番は石垣、土1は土のラット式、中央部は土垣。				27 5-4
190	安部家玉縁石	山手町 久木 の森 築城跡	室町	河野家の築城に玉縁石が用いられている。				27 5-5
191	宇都宮家五輪石	1番町 久木 の森 築城跡 土1 山手町 久木 の森 築城跡 土1	戦国	宇都宮家の築城に五輪石が用いられている。				27 5-5
192	浄土寺五輪石	1番町 久木 の森 築城跡 土1	室町	浄土寺の築城に五輪石が用いられている。				27 A-9
193	金富家南石垣	1番町 久木 の森 築城跡 土1	戦国	築城の際に、石垣の石垣ととも五輪石が用いられた。土1が用いられている。				27 A-5
194	飯倉寺石垣	山手町 上町	南北朝	飯倉寺の築城の際に、土1ととも五輪石が用いられた。土1が用いられている。築城の際に、土1ととも五輪石が用いられた。土1が用いられている。	本館4 (1594)	41		27 B-6
195	伊田五輪石	1番町 久木 の森 築城跡 土1	戦国	土1が用いられた。五輪石が用いられている。				27 A-6
196	西中尾五輪石印 / 標	山手町 野保	戦国-江戸	西中尾五輪石印。五輪石が用いられている。五輪石が用いられている。	本館3 (1373)	本館	5	27 A-6
197	丹ヶ尾北山法橋 石垣	山手町 高橋	戦国	丹ヶ尾北山法橋。五輪石が用いられている。				28 A-3
198	丹ヶ尾北山法橋 石垣	山手町 高橋	室町-戦国	丹ヶ尾北山法橋。五輪石が用いられている。				28 A-3
199	丹ヶ尾北山法橋 石垣	山手町 高橋	室町-戦国	丹ヶ尾北山法橋。五輪石が用いられている。				28 A-3
200	五輪石五輪石	八坂 生島	室町	五輪石が用いられている。				28 A-5
201	生島寺五輪石 五輪石	八坂 生島	鎌倉-室町	生島寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-5
202	生島寺五輪石 五輪石	八坂 生島	戦国	生島寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-5
203	西岡河内石垣	八坂 飯丸	室町-戦国	西岡河内石垣。五輪石が用いられている。				28 A-6
204	奥家西石垣	八坂 飯丸	戦国	奥家西石垣。五輪石が用いられている。				28 A-6
205	中野寺五輪石 石垣	八坂 飯丸	戦国	中野寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-6
206	大座寺石垣	八坂 飯丸	戦国	大座寺石垣。五輪石が用いられている。				28 A-6
207	大座寺北側 石垣	八坂 飯丸	戦国-江戸	大座寺北側石垣。五輪石が用いられている。				28 A-6
208	天神山石垣	中 北山	室町-戦国	天神山石垣。五輪石が用いられている。				28 B-6
209	松ヶ尾池東側 五輪石	中 松尾	戦国	松ヶ尾池東側五輪石。五輪石が用いられている。				28 B-7
210	丸尾池北側 五輪石	中 松尾	戦国	丸尾池北側五輪石。五輪石が用いられている。				28 B-7
211	高松家南石垣	中 松尾	室町-戦国	高松家南石垣。五輪石が用いられている。				28 B-7
212	天祥五輪石	中 松尾	戦国	天祥五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-6
213	上本村五輪石 五輪石	中 松尾	戦国	上本村五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-6
214	大座寺五輪石	中 松尾	戦国	大座寺五輪石。五輪石が用いられている。	本館3 (1577)			28 A-7
215	下光寺五輪石	中 松尾	戦国	下光寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
216	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
217	八井堂五輪石	中 松尾	戦国	八井堂五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
218	八井堂五輪石	中 松尾	戦国	八井堂五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
219	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
220	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
221	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
222	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
223	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
224	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
225	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
226	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
227	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7
228	成松寺五輪石	中 松尾	戦国	成松寺五輪石。五輪石が用いられている。				28 A-7

塔形及び係数																			
五輪形				宝篋印塔				宝塔				圓庫塔	板碑	一石五輪塔	無蓋塔	角柱塔婆	石燈	石殿	その他の塔形
先存	堂前輪	火輪	水輪	地輪	先存	相輪	笠	塔身	基壇	先存	相輪								
				4															
		2																	
		2																	
1																			
		2																	
	3	2				2	4	3		1	3	1							
															1				
				1										1					
		3	2												2				
1		1	1								2								
2		2	1	2															
				1															
10															1				
1	3	2																	
1	4	4	5																
1	2	1																	
	5	1																	
	1			1															
1						1		1	1										
																			1
1	2	1																	
		1																	
9	2	9	2												3		1		
		2																	
		3																	
2	2		2																自然石塔婆1
1	1																		
1	2		1														1		
																			自然石塔婆1
										1									
	2	2		2															
	2	2	2																
	1	5	2																
	4	3	3	4	2												1		
		1																	
								2	1										
	1	3																	
2																			

番号	名 称	所在地	造立時期	概 要	記録簿 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
229	東谷池東端地 五輪塔	宮内 赤	戦国	東谷池から200m程の場所に中津藩の「石工番所」がある。				28 A-3
230	浜田家墓地五輪塔	浜田 赤	戦国	中津藩が築いた墓地で、五輪塔が数基存在している。				28 A-8
231	日野園地蔵	日野 白川	寛永初～享和	日野は福島の領に属していた。主家渡から日野に入ってきたと云われる。日野の地蔵は、日野の地蔵と、日野の地蔵と云われる。				28 B-7
232	新江島海上往津 湯の石塔	山形 赤	江戸～明治	新江島藩の石塔で、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				28 B-8
233	工藤家墓地五輪塔	日野 赤	戦国	工藤家の墓地で、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				28 B-8
234	利益寺石塔群	宮内 三川	戦国	利益寺(宮内)の境内にあり、自然石を石塔に用いた。江戸時代の地蔵と五輪塔が数基あり、その他に江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。	寛永10 (1633)			28 B-8
235	利益寺墓地石塔	宮内 三川	戦国	利益寺の墓地にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				28 B-8
236	淨観寺石塔群	日野 三川	室町	浄観寺の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				28 B-8
237	蓮辺家北五輪塔群	日野 赤	江戸	蓮辺家の墓地にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				28 C-6
238	熊野石塔群	宮内 赤	江戸～明治	熊野の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				28 D-5
239	宮内寺石塔群	宮内 赤	江戸～明治	宮内寺の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。		5		28 D-8
240	片野地蔵堂石塔群	日野 赤	戦国	片野の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 A-7
241	湯崎千人塚	日野 赤	戦国	湯崎の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 A-7
242	高浜五輪塔群	日野 赤	戦国	高浜の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 B-1
243	高浜新堂石塔群	日野 赤	江戸～明治	高浜の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 B-1
244	阿部家墓地石塔群	宮内 赤	江戸～明治	阿部家の墓地にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 C-1
245	熊野御堂石塔群	宮内 赤	江戸	熊野の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 D-1
246	原野御堂五輪塔群	宮内 赤	江戸	原野の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 D-1
247	阿部家墓地 五輪塔	宮内 赤	江戸	阿部家の墓地にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 D-1
248	キヤノン西側墓地 石塔群	宮内 赤	江戸	キヤノンの境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 E-1
249	加賀地蔵五輪塔	宮内 赤	戦国	加賀の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 E-1
250	雲谷地蔵五輪塔群	宮内 赤	戦国	雲谷の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 E-1
251	長巻家古墓石塔群	宮内 赤	戦国	長巻家の墓地にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 F-2
252	加賀東端地 五輪塔群	宮内 赤	戦国	加賀の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 F-2
253	熊野石塔群 宗廟印塔	宮内 赤	江戸	熊野の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 G-2
254	伊野田墓地 五輪塔群	宮内 赤	江戸	伊野田の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 G-2
255	見家寺五輪塔群	宮内 赤	戦国	見家寺の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 F-2
256	見家寺墓地 五輪塔群	宮内 赤	戦国	見家寺の墓地にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 F-2
257	城山石塔群	宮内 赤	戦国	城山の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。				29 A-1
258	宮内山園地蔵	宮内 赤	江戸	宮内山の境内にあり、江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。江戸時代を通じて日野の地蔵が置かれていた。五輪塔は明治の地蔵と、江戸時代の地蔵と云われる。	貞享3 (1686)			29 B-5

塔形及び個体数																					
五輪塔				宝篋印塔					宝塔				圓頂塔	板塔	一毛五輪塔	無縁塔	舟柱塔	石塔	石塔	その他の塔形	
完存	空圓輪	火輪	水輪	地輪	完存	相輪	空	石身	基礎	基壇	完存	相輪									空
	5		1																		
		1		1			1														
																	1				
	3						1														244毛彫り込透り基、 因幡塔1枚
		2	2	1	1																
	1	3		1																	
	10	6	1	5								1									
							1									2					
	2	4	2														1				一毛台座10枚
	1	1																			
600																					
																					1
		2	6	4														1			
		2		1																	
	4	1																			
	1	1																			
1	2																				
	1																				
		2	2	1													2				
	3	4	3									1									
	60	29	2	62																	
		3	3	10														1			
			1	5	1																
1000							5									6		2			

番号	名称	所在地	消立時期	概 要	在籍資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
1	上川久保宝印塚	保原 上ノ久保	室町	宝印の跡がいくつかある。跡の西に一石室がある。石室の内部には土器の破片が散らばっている。これは古墳時代の遺物と考えられる。宝印の跡は現在、市営公園として整備されている。				20 F-1
2	高平郷地石塔群	保原 高平	河庄	高平郷の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 F-10
3	三連堂地石塔五輪塔	高平 保原	河庄	高平郷の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 C-5
4	中山家宝印塚	高平 保原	河庄	宝印の跡が数基ある。石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 G-6
5	大智寺石塔群	高平 保原	河庄	大智寺の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 G-6
6	目黒大塚古石塔群	高平 保原	河庄	目黒大塚の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 G-6
7	目黒石塔と五輪塔	高平 保原	河庄	目黒大塚の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 C-E
8	海門寺石塔群	高平 保原	河庄	海門寺の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 G-6
9	小塚家五輪塔	高平 保原	河庄	小塚家の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 G-6
10	福徳社五輪塔	高平 保原	河庄	福徳社の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				27 G-6
11	法華寺宝印塚	高平 保原	河庄	法華寺の境内にあり、宝印の跡が数基ある。宝印の跡には土器の破片が散らばっている。				27 D-E
12	深野丸石塔五輪塔	高平 保原	河庄	深野丸の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
13	竹下・阿部家墓地石塔群	高平 保原	河庄	竹下・阿部家の墓地にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
14	大山津社・夢洲石塔群	高平 保原	河庄	大山津社・夢洲の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
15	幸松家五輪塔	高平 保原	河庄	幸松家の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
16	工藤家墓石塔五輪塔	高平 保原	河庄	工藤家の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
17	熊野寺石塔群	高平 保原	河庄	熊野寺の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
18	藤ノ後石塔	高平 保原	河庄	藤ノ後の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
19	八幡神社境内の宝印塚	高平 保原	河庄	八幡神社の境内にあり、宝印の跡が数基ある。宝印の跡には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
20	影の平石塔五輪塔	高平 保原	河庄	影の平の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
21	一宮家古石塔群	高平 保原	河庄	一宮家の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
22	上東木五輪塔	高平 保原	河庄	上東木の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
23	比呂原地石塔群	高平 保原	河庄	比呂原の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
24	鎌倉寺石塔群	高平 保原	河庄	鎌倉寺の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
25	足立地蔵尊五輪塔	高平 保原	河庄	足立の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
26	足立妙尊五輪塔	高平 保原	河庄	足立の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
27	北家神社五輪塔	高平 保原	河庄	北家神社の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
28	上仁王地石塔群	高平 保原	河庄	上仁王の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
29	松原寺石塔群	高平 保原	河庄	松原寺の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
30	日出蓮石下家墓石塔群	高平 保原	河庄	日出蓮石下の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
31	虎岡地蔵印塚	高平 保原	河庄	虎岡の境内にあり、宝印の跡が数基ある。宝印の跡には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
32	寅堂寺石塔群	高平 保原	河庄	寅堂寺の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
33	清水家宝印塚	高平 保原	河庄	清水家の境内にあり、宝印の跡が数基ある。宝印の跡には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
34	二宮家墓地石塔群	高平 保原	河庄	二宮家の墓地にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
35	藤成地蔵石塔群	高平 保原	河庄	藤成の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
36	下川久保宝印塚	高平 保原	河庄	下川久保の境内にあり、宝印の跡が数基ある。宝印の跡には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
37	大津地蔵石塔群	高平 保原	河庄	大津の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
38	前大津清水五輪塔	高平 保原	河庄	前大津清水の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
39	藤の辻五輪塔	高平 保原	河庄	藤の辻の境内にあり、五輪塔の跡が数基ある。五輪塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1
40	藤原小塚古墳墓地石塔群	高平 保原	河庄	藤原小塚の境内にあり、石塔の跡が数基ある。石塔の基部には土器の破片が散らばっている。				28 F-1





番号	名称	所在地	造立時期	概 要	登録資料 の番号	指定 区分	参考文献	地図 番号
41	笠原稲荷社五輪塔	笠原 稲荷	戦国	稲荷社の奥へに五輪塔が1つある。				26 C-4
42	新道堂石塔群	新道 保内	戦二	新道堂前二輪塔(道の案内の一)「流石シノブ」や五輪塔が4つ並んでいる。 道の右に「長久寺跡」も7つある。				26 C-4
43	安養寺五輪塔群	清原 安養寺	戦一～ 江戸初期	奥の塔に一つ五輪塔や五輪塔基壇がある。奥のやや人が五輪塔を3つ並べた。				26 C-4
44	赤原有治公院兼 五輪塔	伊原 赤原	戦末	塚口御台の奥に「工納塔」が建てられている。				26 C-4
45	成田原観音堂 五輪塔五輪塔	原田 成田原	戦二	観音堂の裏手に2基の五輪塔に五輪塔基壇あり。水輪がある。				26 C-5
46	上杉陣地五輪塔	花柳	戦一～ 江戸初期	上杉軍の本陣跡に立つ。				26 C-5
47	知泉水神五輪塔群	原田 知泉	戦二	知泉寺の本堂の奥に五輪塔五輪塔1、六輪1、七輪塔2がある。				26 D-3
48	日の出曹洞様 五輪塔群	伊原 知泉	平野一戦末	日の出曹洞の境内。一石五輪塔1、五輪塔基壇2、六輪1、水輪4、五輪塔と七輪を 3つ並べた五輪塔がある。				26 F-3
49	妙光寺石塔群	玉出 妙光	江戸時代初期	妙光寺の境内に五輪塔五輪塔あり。1石五輪塔、水輪、また、五輪塔の裏に、五輪 塔の五輪塔があるといわれている。寺の裏の塔が、妙光寺の塔といわれている。				26 F-3
50	手満堂横石塔群	川上 手満	平野一戦末	11日横石塔の境内に、五輪塔の境内に五輪塔五輪塔ありとされている。				26 F-3
51	竹光堂五輪塔	川上 竹光	戦二	竹光堂の境内にある竹光堂前二輪塔1、五輪塔1がある。				26 F-4
52	成行庵地五輪塔群	川上 成行	戦国	成行庵の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-4
53	明次庵五輪塔	川上 明次	戦国	明次庵の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-4
54	明次庵五輪塔	川上 明次	平野一戦国	明次庵の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-3
55	日出原五輪塔 石塔群	玉出 妙光	江戸時代初期	日出原の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-1
56	生目神社五輪塔	川上 生目	戦国	生目神社の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-4
57	丸尾五輪塔	川上 丸尾	江戸時代初期	丸尾の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-3
58	雲谷神社石塔群	水神 雲谷	戦国	雲谷神社の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 G-5
59	常照寺石塔群	水神 常照	江戸時代初期	常照寺の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 C-5
60	朝日寺五輪塔群	川上 朝日	戦国	朝日寺の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-4
61	大塚堂五輪塔群	川上 大塚	江戸時代初期	大塚堂の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-5
62	多良原五輪塔	川上 多良原	平野一戦国	多良原の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-5
63	吉良五輪塔	川上 吉良	戦国	吉良の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-3
64	中村御堂石塔群	川上 中村	戦国	中村の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-5
65	石松城石塔群	水神 石松	江戸時代初期	石松城の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-5
66	ゴンバイ石塔群	水神 ゴンバイ	江戸時代初期	ゴンバイの境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-5
67	常楽寺石塔群	水神 常楽	戦国	常楽寺の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-5
68	大神大原野家 五輪塔	水神 大神	平野一戦国	大神の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-6
69	大神大原野家 五輪塔	水神 大神	戦二	大神の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-6
70	大神大原野家 五輪塔	水神 大神	戦二	大神の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-6
71	大神大原野家 五輪塔	水神 大神	平野一戦国	大神の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-6
72	淨徳神社五輪塔	水神 淨徳	戦一～ 江戸時代初期	淨徳神社の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-7
73	眞形井邊家五輪塔	水神 眞形	戦二	眞形井邊家の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-7
74	眞形井邊家五輪塔	水神 眞形	江戸時代初期	眞形井邊家の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-7
75	眞形井邊家五輪塔	水神 眞形	戦二	眞形井邊家の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-7
76	浄々地蔵 西原五輪塔	水神 浄々	戦二	浄々地蔵の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 D-7
77	印宝寺西原五輪塔	水神 印宝	戦二	印宝寺の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 D-6
78	印宝寺西原五輪塔	水神 印宝	戦二	印宝寺の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-6
79	印宝寺五輪塔	水神 印宝	戦一～戦二	印宝寺の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-6
80	政府五輪塔	水神 政府	戦一～戦二	政府の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 F-7
81	深江神社五輪塔	水神 深江	戦国	深江神社の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 E-6
82	中山五輪塔	水神 中山	戦一～戦二	中山の境内に五輪塔五輪塔あり。五輪塔五輪塔あり。				26 G-7



## 別府市

番号	名称	所在地	築立時期	概 要	国統資料 の年号	指定 区分	参考文献	掲載 地図 番号
1	天照石塔	大塚5区	昭和11年	石塔の形は六角形石造り立、五角形塔を冠してあり、塔の裏面に刻まれている。				27 1-3
2	正覚寺堂前石塔	元石5区	不詳	形が重葺材の塔である。上部等は石塔に木造であったといわれ、その高は350cm(約11m)以上のものと思われる。				27 1-3
3	大所御堂石塔群	大所2区	築山	大所(大)の東山頂上、正覚寺の塔が築かれていた。				27 1-7
4	大所五輪塔群	大所2区	築山	大所の東尾の米畑に、御堂の五輪塔が築かれていた。				27 C-7
5	小坂御堂石塔	小坂1区	不詳	小坂の西の尾、御堂の塔が石塔に築かれたといわれ、その高は約10m(約30m)の塔である。				27 1-7
6	小坂御堂石塔群	小坂5区	築山	御堂の塔の東の尾、五輪塔の塔が築かれていた。その中心より南西に石塔を築いたといわれる。				27 1-5
7	小坂戸口堂五輪塔	小坂5区	築山	戸口堂の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-5
8	小坂加藤堂五輪塔	小坂5区	築山	五輪塔の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-5
9	小坂平川堂五輪塔	小坂5区	築山	五輪塔の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-5
10	小坂野井堂五輪塔	小坂5区	築山	五輪塔の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-5
11	小坂池地五輪塔群	小坂5区	築山	五輪塔の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-5
12	都田家一石五輪塔	小坂5区	築山	五輪塔の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-5
13	天照真堂石塔	大塚5区	築山	五輪塔の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-3
14	御堂御堂石塔	御堂	築山	御堂の御堂石塔に、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				27 1-3
15	安楽寺石塔群	向 3区	築山	安楽寺の石塔群、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-5
16	高名寺石塔群	向 3区	築山	高名寺の石塔群、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 8
17	内蔵権佐堂石塔	向 3区	築山	内蔵権佐堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 7
18	内蔵天満入口石塔	向 3区	築山	内蔵天満入口の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 8
19	龍門寺五輪塔	向 3区	築山	龍門寺の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 8
20	和華苑真堂石塔	向 3区	築山	和華苑真堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 B 7
21	北原浄土寺北堂五輪塔	北原5区	築山	北原浄土寺の北堂五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 B 7
22	高山御堂五輪塔	向 3区	築山	高山御堂の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 8
23	大所御堂五輪塔	大所2区	築山	大所御堂の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 5
24	亀川中央御堂五輪塔	亀川5区	築山	亀川中央御堂の五輪塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 A 5
25	龍門寺真堂石塔	向 3区	築山	龍門寺真堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-6
26	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-6
27	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
28	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
29	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
30	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
31	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
32	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
33	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
34	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
35	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
36	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3
37	御堂寺御堂石塔	向 3区	築山	御堂寺御堂の石塔、大塚1区、小塚1区、御堂の塔が築かれていた。				26 1-3



別府市

番号	名称	所在地	建立時期	概要	建築資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
38	やすらき霊堂 五輪塔	赤坂5-12-2	明治	やすらき霊堂の父老に五輪塔の再興、修理がなされている。				35 C-6
39	船場と忠孝	小浜	寛政一 二二五塔	船場の築地に舟形を象徴として、船形塔の一種と推定されている。台座は八宝文の彫刻が施され、舟形を象徴している。舟形塔の一種と推定されている。				35 C-6
40	火薬大師堂 火薬大師堂 宝篋印塔	火薬師1 火薬 火薬寺	徳川期	寛政の時代に、同定の古塔をたて直されて、スズノテラサの形に改修された。舟形を象徴している。舟形塔の一種と推定されている。				35 C-7
41	古戦場橋 - 古戦石塔群	古戦場の2 竹ノ内	江戸	戦場跡の地味に、舟形の塔、五輪塔群が建てられている。		TPH A-30		35 C-7 35 D-7
42	竹の内五輪塔群	竹の内5-5-10	明治	石を積み上げた、舟の形に作られている。舟形塔の一種と推定されている。				35 D-7
43	大平山小学校南 墓地五輪塔	竹の内5-6-1	昭和	舟形塔、五輪塔の一種と推定されている。				35 D-7
44	大平山霊堂 五輪塔群	竹の内5-6-2	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-7
45	建台寺石塔群	竹の内5-6-3	江戸～明治	大平山小学校の北側に、舟形塔、五輪塔群が建てられている。舟形塔の一種と推定されている。				35 C-7
46	火薬大師堂 宝篋印塔所在地	北中	江戸	舟形塔の一種と推定されている。				35 C-7
47	大黒石塔群	大黒1-1	明治～戦国	大黒石塔の一種と推定されている。舟形塔の一種と推定されている。				35 C-7
48	御生寺五輪塔	御生寺1-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 C-9
49	中津元町霊堂 石塔群	中津1-1-17	明治～昭和	舟形塔の一種と推定されている。				35 C-9
50	中津元町小堂 石塔群	中津1-1-18	明治～昭和	舟形塔の一種と推定されている。				35 C-9
51	実相寺山王塔群	高橋	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
52	山東霊堂 五輪塔群	高橋の丁	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
53	旧東寺石塔群	東寺	江戸～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
54	日蓮宗地蔵 五輪塔群	東寺南4-4	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
55	南無彌陀 五輪塔群	南無彌陀の2	明治～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
56	美奈堂前石塔群	石塔5-1-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
57	谷本寺 石塔群	石塔5-1-2	江戸～明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
58	千足ビル西石塔群	高橋の丁1	明治～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
59	富家霊堂石塔群	富ヶ工	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
60	美城五輪塔	美城5-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 D-8
61	東江霊堂地蔵石塔群	東江	明治～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
62	万松寺五輪塔群	万松3-1	明治～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
63	堀田石塔群	堀田4-1	江戸～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
64	堀田3輪塔地 五輪塔群	堀田3-1	江戸～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
65	堀田組五輪塔	堀田3-2	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
66	西尾霊堂五輪塔群	西尾3-1-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
67	宗像神前塔	宗像3-1-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
68	生田町霊堂石塔群	生田町4-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
69	平光寺石塔群	平光寺1-1	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
70	新川五輪塔 回廊塔	新川	明治～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
71	新川五輪塔群	新川	江戸～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
72	新川霊堂	新川の橋	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
73	吉祥寺石塔群	元町	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
74	淨光寺石塔群	浄光寺1	明治～戦国	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8
75	朝見2丁目霊堂 石塔群	朝見2丁目	明治	舟形塔の一種と推定されている。				35 E-8



番号	名称	所在地	建立時期	概 要	右数資料 の番号	指定 区分	参考文献	掲載 地図 番号
76	観音大仏種子石塔	花巻3丁目	安永	大仏様の胎土であるが、塔に高さがある。胎土が塔を包む。胎土の厚さ約10cmほどある。	1-55 (1399)	有形	29	35 G-6
77	徳見墓地石塔群	花巻2丁目	寛文～徳川	古い墓石の群。五輪塔群が点在している。上の塔が多い。				35 G-8
78	法華寺塔石塔群	藤1丁目 法華寺(南)	前室町を中心 とする塔群	法華寺の境内にあり、前室町を中心とする塔群が点在している。安永～徳川にかけての塔が多い。				35 I-6
79	山王社聖王五輪塔	藤山10丁目	寛文	1670年(寛文10年)に建立された聖王の五輪塔。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。	文庫3 (1269)	有形 無形	29	35 I-8
80	別府市美術館 石塔群	1-10-10	明治～ 江戸前期	明治時代の建築資料として、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。	文庫3 (1269)	有形 無形	29	35 C-1
81	延命地藏五輪塔	坂町2丁目	徳川	五輪塔の中心に延命地藏の御姿が彫られている。				36 I-1
82	海門寺御乳所 五輪塔	北沢2丁目	徳川	海門寺の境内にあり、上段の御乳所と下段の五輪塔が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 I-1
83	辰佐寺石塔群	辰佐1丁目	寛政～徳川	辰佐寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 I-1
84	朝野1丁目墓地 石塔群	朝野1丁目	寛文	朝野1丁目墓地の中心に、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
85	宝来寺下層地 石塔群	西1丁目	徳川	宝来寺の下層地にあり、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
86	浜崎中学校校 石塔群	浜崎	寛文～ 江戸前期	浜崎中学校の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
87	崇徳寺石塔群	辰佐2丁目	徳川	崇徳寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
88	寒別所釈迦堂石塔群	山崎2丁目	徳川	寒別所釈迦堂の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
89	手塚家墓地石塔群	山崎1丁目	寛文～徳川	手塚家の墓地にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
90	山崎家墓石塔群	山崎10番地1	寛文	山崎家の墓地にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-1
91	岡部清造碑	町田	文政	岡部清造の墓石。文政時代のもの。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-2
92	田の口墓地五輪塔	田の口	寛文	田の口墓地の中心に、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-2
93	河内原藤氏宅前 墓石塔	河内原	寛文	河内原藤氏の墓石。寛文時代のもの。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-2
94	河内原藤氏宅西 側石塔群	河内原	寛文～徳川	河内原藤氏の墓石。寛文～徳川時代のもの。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 G-2
95	鳥越石塔群	鳥越2丁目	寛文～徳川	鳥越の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 H-1
96	八坂寺宝塔群	鳥越2丁目	徳川	八坂寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				36 H-1
97	松倉寺石塔群	中松	南朝～徳川	松倉寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。	文庫3 (1575) 文庫3 (1577) 文庫3 (1582)	有形		36 H-1
98	赤松石塔と 五輪塔群	赤松	徳川	赤松の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。	文庫3 (1582)	有形		36 H-2
99	山の口墓地石塔群	山の口	江戸前期	山の口墓地の中心に、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 A-3
100	矢野家五輪塔	1丁目	寛文	矢野家の境内にあり、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 B-4
101	徳富堂印塔	高井字地	徳川	徳富堂の境内にあり、印塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 A-3
102	大井家墓地 五輪塔群	大井	寛文～徳川	大井家の墓地にあり、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。	文庫3 (1582)	有形		43 B-5
103	藤公園北墓地 五輪塔	藤公園	寛文	藤公園の北墓地にあり、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 B-5
104	石城寺石塔群	内城	寛文～徳川	石城寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 A-7
105	内城藤原寺 石塔群	内城	寛政	内城藤原寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 B-7
106	内城藤原寺 五輪塔群	内城	寛文	内城藤原寺の境内にあり、五輪塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 B-7
107	内城光寺石塔群	内城	寛文～徳川	内城光寺の境内にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 B-8
108	園町家墓地石塔群	園町	寛文～ 江戸前期	園町家の墓地にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 B-7
109	いがい竹屋 家墓石塔群	内城	寛文	いがい竹屋家の墓地にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 C-8
110	生野家栗山墓 地石塔群	栗山	江戸前期	生野家の栗山墓地にあり、石塔の群が点在している。塔の中心に聖王の御姿が彫られている。				43 C-8



番号	名称	所在地	遺立時期	概 要	在籍調査 の年月	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
1	田の深心洞群	聖の洞	縄文	3層の板敷瓦が出土、奥の3層、奥壁の土層は白く塗られている。3層の壁の下部は、塗られていない。	大分3 (1934)			36 H-3 31 3
2	門の浅瀬 石塔群	千の瀬 川水辺	南之郷一帯	南之郷一帯				37 4-5
3	大村浅瀬地 石塔群	二座 大村	縄文	石塔の群集として、遺物が豊富な群集が知られている。				41 A-5
4	龍宮寺石塔群	白川 龍宮寺	南北朝一 帯	六角形の石塔が2つあり、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 A-5
5	大山寺石塔群	山崎 下川 山崎	南北朝一 帯	六角形の石塔が2つあり、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。	大分5 (1935) 大分6 (1935) 大分12 (1939)			44 B-6
6	地蔵院石塔群	香取寺 地蔵院	南北朝一帯	地蔵院の境内に石塔が2つあり、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 C-4
7	観音堂石塔群	笠原 笠原寺	南北朝一帯	観音堂の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 C-5
8	観音堂石塔群	八尾 観音堂	南北朝一帯	八尾の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 C-4
9	日宮神社 石塔群	日宮 日宮神社	南北朝一帯	日宮神社の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 C-3
10	長野寺地 石塔群	長野 長野寺	南北朝一帯	長野寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。	大分10 (1933)			44 D-3
11	喜良庵地蔵 石塔群	戸野 喜良庵	南北朝一帯	喜良庵の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
12	上宮新石塔群	上宮 上宮新	南北朝一帯	上宮新の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				47 2-3
13	安楽堂石塔群	安楽 安楽堂	南北朝一帯	安楽堂の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。	大分10 (1942)			44 D-3
14	千代丸志保寺 石塔群	志保 千代丸志保寺	南北朝一帯	千代丸志保寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
15	佐藤家石塔群	佐藤 佐藤家	南北朝一帯	佐藤家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
16	志保石塔群	志保 志保	南北朝一帯	志保の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
17	小野家石塔群	小野 小野家	南北朝一帯	小野家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。	大分3 (1933)	36-40		44 D-3
18	中村石塔群	中村 中村	南北朝一帯	中村の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-4
19	高野公民館 石塔群	高野 高野公民館	南北朝一帯	高野公民館の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-4
20	西原寺石塔群	西原 西原寺	南北朝一帯	西原寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-4
21	妙楽寺石塔群	妙楽 妙楽寺	南北朝一帯	妙楽寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-4
22	藤原家石塔群	藤原 藤原家	南北朝一帯	藤原家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
23	吉野石塔群	吉野 吉野	南北朝一帯	吉野の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
24	三ツ房浅瀬地 石塔群	三ツ房 三ツ房浅瀬地	南北朝一帯	三ツ房浅瀬地の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-3
25	中尾公民館 石塔群	中尾 中尾公民館	南北朝一帯	中尾公民館の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 E-1
26	中尾石塔群	中尾 中尾	南北朝一帯	中尾の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 E-1
27	上方公民館 石塔群	上方 上方公民館	南北朝一帯	上方公民館の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 D-5
28	園分公民館 石塔群	園分 園分公民館	南北朝一帯	園分公民館の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。	昭和9 (1937)			44 F-4
29	豊後寺石塔群	豊後 豊後寺	南北朝一帯	豊後寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。			5	44 F-4
30	藤原寺石塔群	藤原 藤原寺	南北朝一帯	藤原寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 F-5
31	尾崎石塔群	尾崎 尾崎	南北朝一帯	尾崎の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 F-3
32	麻生家石塔群	麻生 麻生家	南北朝一帯	麻生家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 F-3
33	上藤原石塔群	上藤原 上藤原	南北朝一帯	上藤原の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 C-3
34	佐藤家石塔群	佐藤 佐藤家	南北朝一帯	佐藤家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 G-3
35	三ツ房浅瀬地 石塔群	三ツ房 三ツ房浅瀬地	南北朝一帯	三ツ房浅瀬地の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 G-3
36	大塚寺石塔群	大塚 大塚寺	南北朝一帯	大塚寺の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 G-3
37	二宮家石塔群	二宮 二宮家	南北朝一帯	二宮家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 G-3
38	印田家地蔵 石塔群	印田 印田家	南北朝一帯	印田家の境内に、石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。石塔の群集として知られている。				44 G-3

場形及び係数																							
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				その他											
元帝	李開輪	火輪	水輪	地輪	元帝	相輪	梵	基	基	基	元帝	相輪	笠	扉	基	位	板	一石五輪塔	舟柱塔婆	石輪	石殿	その他の塔形	
		3																	3				
2	3	2				1																	
1	1		1																				
1	3	6	7				1				2	5	3	5			1						境内に塔碑を3基有った塔堂が1基あり。
	30	26	25	50	2	8	3	6					15	8									
	5	6	10	10														2					
										2													
	8	6	7	12		5	6	5															
	2	2	3			1	3	2															
	4	5	9	13		6	3	2															
	1																						
5																							
	1		1																1				
	1		1																				
						1	2																
	3	2	2																				
	1	2				1		1															
	3																						
	1							1			2	1											
	12	5	6			3	2																
	22	19	19	35			2																
		1	2																				
	2	3		1																			
	2		3			2	1		3														
																			1				
		3																					
	2	3	3			3	2	4															
	3	2				1																	
	2	3	3			1		1															
		1	1																				
	1											1											
	6	0	7																				
	20	14	16	6			4	2			0	7							2				
	3	3				1					6	2	2	2									
			1																				
	2	3	3	3							1												





番号	名称	所在地	造立時期	概 要	在籍資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
79	津江石塔群	津江 津江	戦国	津江の社に下町に築かれていたが、その跡を石塔として保存し、				77 3-5
80	唐石仏	唐 唐	平安～鎌倉	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。また、唐石の層状構造を呈している。また、唐石の層状構造を呈している。	享和5	5-20	41 E-8	
81	唐石石塔	唐 唐	鎌倉～	鎌倉時代の唐石製石塔である。唐石の層状構造を呈している。			47 E-5	
82	吉住寺石塔群	大分 津江	鎌倉～南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-7	
83	護国公民館石塔群	大分 津江	明治～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-6	
84	下原石塔群	大分 下原	鎌倉～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-7	
85	センジツウ寺跡 石塔群	大分 津江	戦国～平安	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-7	
86	富岡宇陀	大分 津江	戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-7	
87	大友鎌倉塔	大分 津江	鎌倉 戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 H-6	
88	不動堂石塔	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 I-7	
89	常楽寺石塔	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 I-6	
90	岡川石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。	享和2 (1493)		44 I-6	
91	薬師石仏	大分 津江	平安	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 I-6	
92	福徳寺石塔群	大分 津江	鎌倉～南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 I-6	
93	清浄寺石塔群	大分 津江	鎌倉～南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 G-8	
94	船戸石仏	大分 津江	鎌倉～南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 C-8	
95	清光寺石塔群	大分 津江	鎌倉～南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 G-8	
96	留原公民館 石塔群	大分 津江	鎌倉～南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-5	
97	西光寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 D-2	
98	妙徳寺石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。	享和2 (1493)		44 D-2	
99	高城園石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 B-2	
100	大分堂石塔	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。	享和2 (1493)	5-40	44 D-1	
101	具光寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 D-1	
102	長崎寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 A-4	
103	安楽寺地蔵石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 A-4	
104	黒木公民館 石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 C-7	
105	黒木石塔群	大分 津江	戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 D-4	
106	常持寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。	享和2 (1493)		44 D-4	
107	法華寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。	享和2 (1493)		44 E-4	
108	向原石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-4	
109	内野石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 C-8	
110	長興寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 G-3	
111	長興寺石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-2	
112	浄光寺石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 F-3	
113	法華寺石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 I-3	
114	留原寺地蔵堂石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。	享和2 (1493)		44 A-5	
115	黒木園	大分 津江	戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 B-5	
116	常持寺地蔵石塔群	大分 津江	南北朝～戦国	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 B-5	
117	留原堂石塔群	大分 津江	南北朝	石塔の中心部が、唐石製入り層の多量使用が特徴である。唐石の入り層は、唐石の層状構造を呈している。			44 A-6	

塔形及び台体数																										
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				その他														
完存	空風残	火焼	水腫	地盤	完存	相輪	笠	塔身	基壇	基壇	完存	相輪	笠	塔身	基壇	基壇	国庫	相輪	一五	五輪塔	無縁塔	舟形塔	石佛	石殿	その他の塔形	
	4	1	4	2								1														
																										塔形
	9	7	8	6																						
			3	3																						
		1	3																							
	3	2	3																							
	7				2																					
												1	2													
	1	2	2	2		1																				
	4	3	3			1												3								
	2		3	1																						塔形
		3	2	3																						
	9	1	11	15		3	1		1																	塔形・異形塔形
	2	1	2	1																						
	9	2	4			1												1	1				1			
	10	9	9	2																	2					
					1	1																				
											1															
						1	1							1												
	1					1																				
	1	1																								
	1	2	4	3																						
		4			2				1																	
	1	2	2	2							1	2														
			1				1																			
	0	2	5			4																				
							1		1																	
	6	7	6	5							1	2	2	3						7						塔形
				1										1												
			1																							
	7																									
		1	1	2																						

番号	名称	所在地	遺立時期	概 要	在位資料 の品目	指定 区分	参考 文献	掲載 順番号
118	角子原石塔群	角子原	縄文	コングリートの小型の石塔が3つ並んで並んでいる。				40-A-6
119	丹生家前石塔群	岡崎 二区	縄文	石塔群に石塔群が並んでいる。				40-B-2
120	藤原アノト横 五輪塔	赤江 藤原	縄文	石塔群に五輪塔が並んでいる。				40-C-5
121	神保家墓地石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。石塔の一つには人名が刻まれている。				40-D-5
122	常山寺山崎石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-E-5
123	忠勝寺家前墓地 石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-F-5
124	中山家前石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-G-5
125	青藤家前墓地石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-H-5
126	安藤家前墓地石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-I-5
127	手羽堂高部墓地 石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-J-5
128	藤氏宅前墓地石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-K-5
129	高田家前墓地石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-L-5
130	福野寺石塔群	赤江 藤原	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				40-M-5
131	三善野家前墓地 五輪塔	下徳丸	縄文	コングリートの石塔が並んでいる。				45-E-1
132	下徳丸公民館北 墓地石塔群	下徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-E-5
133	別家前墓地石塔群	下徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-F-5
134	海井家前墓地石塔群	下徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-G-5
135	池丸家前墓地石塔群	下徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-H-5
136	中村家前墓地五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-I-5
137	得丸家前墓地五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-J-5
138	岡松家前墓地五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-K-5
139	得丸家前墓地石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-L-5
140	高甲公民館南墓地 五輪塔群	丸島	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-M-5
141	小籠家前墓地石塔群	丸島	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-F-1
142	御手洗家宝篋	丸島	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-E-8
143	蓮華寺前墓地石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-G-5
144	百武家前石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-H-5
145	智徳地神社参道 石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-I-5
146	阿蘇神社五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-J-5
147	皇鼓寺前石五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-K-5
148	中野家前墓地石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-L-5
149	今宮石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-M-5
150	太田家前墓地五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-N-5
151	笠石石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-O-5
152	下久所石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-P-5
153	下久所前田家石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-Q-5
154	伊々木家前墓地 五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-R-5
155	上久所宝篋	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-S-5
156	尾崎寺石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-T-5
157	延命寺公民館前石塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-U-5
158	延命寺公民館前 五輪塔群	丸島 上徳丸	縄文	石塔群の中に並んでいる石塔群である。				45-V-5





番号	名称	所在地	発立時期	概 要	発掘資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
159	田野家墓地区石塔群	礼野 礼儀	戦国末～ 15世紀末	墓区南の隅に生薬寺ととりも、五輪塔の石塔が並んでいる。				4b E-6
160	釘岡家横石輪塔	礼野 礼正	戦国	右側の隅に生薬院土塔が並んでいる。				4b E-6
161	杉原家墓池	礼野 礼正	戦国末	新田村北の池の一角、石塔が並んでいる。				4b E-9
162	出雲寺墓地区石塔群	礼正 礼正	戦国末	田舎に石塔群が並んでいる。				75 U-8
163	横岡家墓地区石塔群	礼正 礼正	戦国末	田舎、田舎の隅に石塔が並んでいる。石塔群の隅に生薬院土塔が並んでいる。横岡家の墓池がある。				46 E-6
164	足守寺墓地区五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	横岡家の墓池の一角に五輪塔がある。				46 E-2
165	水佐上東墓池	礼正 礼正	戦国末	水佐上、池の隅に石塔が並んでいる。				46 C-4
166	佐藤家墓地区五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	石塔群の隅に生薬院土塔がある。				46 C-7
167	宝蔵寺五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	宝蔵寺、五輪塔群が並んでいる。				46 C-4
168	河内五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	河内、五輪塔群が並んでいる。				46 B-4
169	赤原寺石塔群	礼正 礼正	戦国末	赤原寺、石塔群が並んでいる。				46 C-6
170	大原家石塔群	礼正 礼正	戦国末	大原家、石塔群が並んでいる。				46 B-6
171	正徳寺石塔群	礼正 礼正	戦国末	正徳寺、石塔群が並んでいる。				46 B-6
172	志生木五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	志生木、五輪塔群が並んでいる。				46 A-7
173	志生木実質印塔	礼正 礼正	戦国末	志生木、実質印塔が並んでいる。				46 C-6
174	東新寺五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	東新寺、五輪塔群が並んでいる。				46 A-6
175	定見堂(仏門寺跡)石塔群	礼正 礼正	戦国末	定見堂、石塔群が並んでいる。				46 A-6
176	古吉石塔群	礼正 礼正	戦国末	古吉、石塔群が並んでいる。				46 A-9
177	法華堂石塔群	礼正 礼正	戦国末	法華堂、石塔群が並んでいる。				46 F-8
178	経江寺墓地区石塔群	礼正 礼正	戦国末	経江寺、石塔群が並んでいる。				47 E-1
179	地蔵寺墓地区石塔群	礼正 礼正	戦国末	地蔵寺、石塔群が並んでいる。				47 F-1
180	福江寺墓地区五輪塔	礼正 礼正	戦国末	福江寺、五輪塔が並んでいる。				47 E-1
181	清原寺石塔群	礼正 礼正	戦国末	清原寺、石塔群が並んでいる。				47 E-1
182	玉井家墓地区五輪塔	礼正 礼正	戦国末	玉井家、五輪塔が並んでいる。				47 E-1
183	地蔵寺定見堂と 実質印塔	礼正 礼正	戦国末	地蔵寺、定見堂と実質印塔が並んでいる。				47 E-1
184	鎌倉堂塔	礼正 礼正	戦国末	鎌倉堂、塔が並んでいる。				47 E-1
185	小野家石塔群	礼正 礼正	戦国末	小野家、石塔群が並んでいる。				47 E-1
186	新田家墓地区石塔群	礼正 礼正	戦国末	新田家、石塔群が並んでいる。				47 E-1
187	石塔と 実質印塔	礼正 礼正	戦国末	石塔と実質印塔が並んでいる。				47 E-1
188	石塔五輪塔	礼正 礼正	戦国末	石塔と五輪塔が並んでいる。				47 E-1
189	石塔五輪塔	礼正 礼正	戦国末	石塔と五輪塔が並んでいる。				47 E-1
190	秋吉家墓地区石塔群	礼正 礼正	戦国末	秋吉家、石塔群が並んでいる。				47 E-1
191	石白公館下石塔群	礼正 礼正	戦国末	石白公館下、石塔群が並んでいる。				47 E-1
192	佐藤家石塔五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	佐藤家、石塔五輪塔群が並んでいる。				47 E-1
193	佐藤家石塔五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	佐藤家、石塔五輪塔群が並んでいる。				47 E-1
194	藤原神社石塔群	礼正 礼正	戦国末	藤原神社、石塔群が並んでいる。				47 E-1
195	阿波家石塔群	礼正 礼正	戦国末	阿波家、石塔群が並んでいる。				47 E-1
196	佐藤家内蔵石塔群	礼正 礼正	戦国末	佐藤家内蔵、石塔群が並んでいる。				47 E-1
197	佐藤家石塔五輪塔群	礼正 礼正	戦国末	佐藤家石塔五輪塔群が並んでいる。				47 E-1
198	彦野家五輪塔	礼正 礼正	戦国末	彦野家五輪塔が並んでいる。				47 E-1
199	岡平石塔	礼正 礼正	戦国末	岡平石塔が並んでいる。				47 E-1

塔形及び備体数																			
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国庫塔	塔碑	一毛五輪塔	無縁塔	角柱塔婆	石輪	石殿	その他の塔形
完存	空塔跡	火輪	水輪	地輪	完存	相輪	笠	塔身	基礎	礎礎	完存								
3	1	1	1																
	1																		
2	1	3					1												
2	4	5	6			2	5	3	2										
	3	2																	
2	3	2	3																
5		1																	
	4	3																	
			1		1														
1																			
1	2				1							2							
15	14	1	3																
1	2	2																	
							1												
14	16	9	7			1	1												
1		1																	
	4	5									2	1							ラントウ1
	5																		ラントウ1、尖塔を数 葉1
			1																
1						1													
1																			
3	7	2	b								2	2	2						
													1	1					
		2																	
1																			遺塔
	1	1																	1
											2								
	1	5	5			1	1	4					3						1
						2					1								
5	7	7	5																
1											1								
35	37	36	29	1															1
																			1

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	生跡資料の年月	指定区分	参考文献	掲載番号
200	三浦家墓地石塔群	竹久 大東	明国へ～ 近代前期	江戸時代建つ一石五輪塔が並んで立っている。				54-B-2
201	竹ノ内神社石塔群	竹久 北ノ内	寛文前期～ 明国頃	石塔群から西側が石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-B-3
202	田原家石塔群	竹久 北ノ内	明国	長年放置で土塔が崩壊している。田原家の墓石が並んで立っているが平石の崩壊が著しい。				54-B-4
203	立川家墓地石塔群	竹久 北ノ内	明国へ～ 近代前期	主要な石塔の中に並ぶ石塔の中古の石塔が並んでいる。				54-B-5
204	宝珠庵石塔群	竹久 山田	寛文前期～ 明治初期	石塔群から西側が石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-1
205	河野家墓地五輪塔	竹久 山田	明国頃～ 近代前期	五輪塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-D-1
206	原村五輪塔群	竹久 原村	明国へ～ 近代前期	五輪塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-D-2
207	原村宝篋印塔	竹久 原村	近代前期	宝篋印塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-D-3
208	原村石塔	竹久 原村	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。		竹久		54-D-4
209	後藤家墓地宝篋	竹久 原村	近代前期	宝篋印塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-D-5
210	原村石塔群	竹久 原村	近代前期	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-D-6
211	福城寺石塔・宝篋 と周辺石塔群	野津原 本町	明国頃	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。	1944(昭和19)	国指定 重要文化財		54-A-1
212	取崎りよの地蔵 石塔群	野津原 本町	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-2
213	西福寺宝篋印塔と 周辺石塔群	野津原 本町	近代前期	宝篋印塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。	1944(昭和19)	国指定 重要文化財		54-A-3
214	恵良石塔群	野津原 本町	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-4
215	恵良宝篋印塔	野津原 本町	明国	宝篋印塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-5
216	恵良一石五輪塔	野津原 本町	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-6
217	熊鷹野石塔群	熊鷹野	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-7
218	瀧野石塔群	尾崎村 瀧野	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-8
219	入瀬五輪塔群	入瀬	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-P-3
220	平瀬家先祖墓	入瀬	近代前期	平瀬家の墓石が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-B-3
221	三ヶ尻家墓地 石塔群	入瀬 下笠	明国～ 近代前期	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-9
222	三ヶ尻家石塔群	入瀬 下笠	近代前期	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-B-4
223	大塚家石塔群	入瀬 一本	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-B-5
224	東光寺石塔群	八上 701号	南北朝～戦国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-10
225	小野家墓地石塔群	川原 1号	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-B-2
226	上村石塔	比治 比治	戦国～ 近代前期	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-2
227	比良神社五輪塔	川原 1号	近代前期	五輪塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-3
228	比良神社五輪塔	比治 比治	明国	五輪塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-4
229	福城寺鐘石塔群	比治 比治	明国	鐘石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-5
230	川田家五輪塔	入瀬 西側	明国	五輪塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-6
231	小野家石塔群	入瀬 西側	近代前期	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-7
232	法興寺石塔群	入瀬 西側	近代前期	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-8
233	山の川宅家・宝篋 印塔と周辺石塔群	入瀬 比治	明国～戦国	宝篋印塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。	1944(昭和19)	国指定 重要文化財		54-C-9
234	榎本家墓地石塔群	入瀬 比治	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-C-10
235	羽沖石塔群	入瀬 比治	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-D-7
236	日方石塔群	入瀬 日方	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-E-2
237	赤田宝篋印塔と 周辺石塔群	赤田 本町	明国～戦国	宝篋印塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。	1944(昭和19)	国指定 重要文化財		54-B-1
238	本宗家石塔群	入瀬 本町	明国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-B-1
239	霊山寺石塔群	入瀬 本町	明国～戦国	石塔の中に石塔が並ぶが、柱の八割が折れており、特に東側第一石塔の崩壊が著しい。また、土塔が並んで立っている。				54-A-11



番号	名称	所在地	造立時期	備 考	石造建物の 年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
240	海軍義士松澤	上戸町 大井	戦後	海軍の戦没将官の忠告を顕彰されている。				54 A-8
241	大塚滝跡石塔群	上戸町 大塚	戦三	大塚の滝の跡に中興の石塔が建てられている。				54 A-8
242	櫻野神社石塔群	流石町 桜野	戦三	神社の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。石塔は本基の石ではなく、中興の石である。				54 B-9
243	可立五輪塔	河原町 可立	戦三	可立の八幡宮の境内に建てられた五輪塔が建てられている。石塔の石が埋まっている。				54 B-9
244	平原町金堂石塔群	河原町 平原	明治第一～戦三	明治第一の石塔群が建てられている。石塔の石が埋まっている。石塔の石が埋まっている。				54 B-7
245	古原南石塔群	流石町 古原	戦三	流石町の古原に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				54 B-7
246	高瀬分校跡石塔群	河原町 大津	戦三	高瀬分校跡に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				54 E-8
247	津礼門院之塔	上戸町 大井	戦三	津礼門院に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-1
248	庄原町麻呂田石塔群	庄原町 麻呂田	戦三	庄原町の麻呂田に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-1
249	安芸郡麻呂田石塔群	庄原町 麻呂田	戦三	安芸郡の麻呂田に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-3
250	広瀬家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	広瀬家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-3
251	首藤家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	首藤家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-3
252	川原南石塔群	庄原町 庄原	戦三	川原南の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-3
253	橋本家石塔	庄原町 庄原	戦三	橋本家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-3
254	橋本生五輪塔	庄原町 庄原	戦三	橋本家の境内に建てられた五輪塔が複数あり、中には五輪塔の石が埋まっている。				55 A-3
255	大内公民館石塔群	庄原町 庄原	戦三	大内公民館の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-3
256	阿曾家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	阿曾家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-4
257	けやき台下石塔群	庄原町 庄原	戦三	けやき台下の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-4
258	玉井家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	玉井家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-5
259	上内内石塔群	庄原町 庄原	戦三	上内内の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 A-5
260	専念寺石塔群	庄原町 庄原	戦三	専念寺の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 B-1
261	生善寺佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	生善寺の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 B-1
262	廣行寺墓地宝塔	庄原町 庄原	戦三	廣行寺の境内に建てられた宝塔が複数あり、中には宝塔の石が埋まっている。				55 B-1
263	般若寺石塔群	庄原町 庄原	戦三	般若寺の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 B-3
264	新藤家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	新藤家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 B-3
265	那須清流岩窟石塔群	庄原町 庄原	戦三	那須家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 B-4
266	江藤家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	江藤家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-3
267	東浦神社石塔群	庄原町 庄原	戦三	東浦神社の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-3
268	大神社石塔群	庄原町 庄原	戦三	大神社の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-3
269	上戸次石塔群	庄原町 庄原	戦三	上戸次の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-4
270	八幡神社南石塔群	庄原町 庄原	戦三	八幡神社の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-4
271	玉泉寺石塔群	庄原町 庄原	戦三	玉泉寺の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-4
272	真経家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	真経家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-2
273	由布家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	由布家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 C-2
274	勝光寺石塔群	庄原町 庄原	戦三	勝光寺の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 J-3
275	竹中公民館石塔群	庄原町 庄原	戦三	竹中公民館の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 J-3
276	齊藤家石塔群	庄原町 庄原	戦三	齊藤家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 J-3
277	成実寺石塔群	庄原町 庄原	戦三	成実寺の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 J-3
278	熊田家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	熊田家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 J-3
279	佐藤家佛石塔群	庄原町 庄原	戦三	佐藤家の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 J-3
280	五辻神社石塔群	庄原町 庄原	戦三	五辻神社の境内に建てられた石塔が複数あり、中には石塔の石が埋まっている。				55 G-1

病形及び個体数																					
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国史形	板碑	一石五輪塔	無縁塔	舟柱塔婆	石礎	石段	その他の塔形		
完存	空廃形	火輪	水輪	地輪	完存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇	完存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇					
		1																			
		8	5	1	0																
		1																			
		1	1	1								4		1							
		4	5	2	3							1									
		5	3														1				
			3	8	2																
		1															1				
		1	3	3																	
		9	2	4							2		4								
										2											
																					風神
			2																		
		2																			
		4	1	2																	
		2	4	5	3								1								
			1										1								
			1			2	3		1												
		1																			17
		7	2	3																	3
		1	2	2		1															
		1	2										1								
			1																		2
		1				1	1														
		10	5	2	1		1														3
		3											1	1							
		6	7	2	7					1											
			1	4																	
		4	1	2		1															
		4	2	3			2		2		1	1					1		1		
		2																			
		4		5	1			1													1
				2			1						3								
				4																	
			3	5	2																

番号	名称	所在地	建造時期	概 要	登録資料 の番号	指定 区分	準 文 献	掲載 地図 番号
281	源ノ家墓石石塔群	武田 寺ノ木	12世紀初	源ノ家墓石群。石塔・石塔の墓石あり。その一は石塔。石塔は石塔の石塔をとりまわっている。その石塔は石塔の石塔である。	66-9 (1642)			55 H-1 59 H-2
282	伊東宗寺院石塔群	新宮 大野	鎌倉～徳川	石塔の石塔群。石塔の石塔群である。				55 H-2
283	上ノ原千人塚石塔群	佐藤 藤原	戦国	千人塚の石塔群。石塔の石塔群である。				55 H-2
284	鳥居石塔群	新宮 紅葉	戦国	鳥居の石塔群。石塔の石塔群である。	66-9 (1585)			55 D-1
285	一乃庄墓地石塔群	新宮 伊予松	戦国	一乃庄の墓地の石塔群。石塔の石塔群である。				55 4-1
286	安楽堂菩提石塔群	上ノ原 上ノ原	戦国	安楽堂の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-2
287	高崎家菩提石塔群	上ノ原 新ノ木	戦国	高崎家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-2
288	安楽堂菩提石塔群	上ノ原 新ノ木	戦国	安楽堂の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-2
289	新ノ木公民館石塔群	上ノ原 新ノ木	戦国	新ノ木公民館の石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-2
290	川原石塔群	上ノ原 川原	寛政～明治	川原の石塔群。石塔の石塔群である。				55 H-1
291	三宅家墓地石塔群	上ノ原 川原	戦国	三宅家の墓地の石塔群。石塔の石塔群である。				55 H-2
292	河原石塔群	上ノ原 川原	戦国	河原の石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-1
293	川原石塔群	上ノ原 川原	戦国	川原の石塔群。石塔の石塔群である。				55 H-2
294	波津石塔群	新宮 波津	鎌倉～戦国	波津の石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-4
295	油布家菩提石塔群	新宮 波津	南北朝～戦国	油布家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-4
296	平山家菩提石塔群	新宮 波津	戦国	平山家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-4
297	三浦家菩提石塔群	新宮 波津	戦国	三浦家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-4
298	飯尾家菩提石塔群	新宮 波津	戦国	飯尾家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-4
299	新宮家菩提石塔群	新宮 波津	戦国	新宮家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-4
300	竹尾家菩提石塔群	志津川 新宮	戦国	竹尾家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 G-4
301	釜山石塔群	新宮 釜山	寛政～明治	釜山の石塔群。石塔の石塔群である。	66-4 (1307)	5-45		55 F-5
302	飯尾石塔群	新宮 飯尾	戦国	飯尾家の石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-5
303	小黒堂菩提石塔群	新宮 小黒	戦国	小黒堂の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-5
304	寺殿	新宮 寺殿	戦国	寺殿の石塔群。石塔の石塔群である。				55 G-9
305	寺石塔	新宮 寺殿	戦国	寺の石塔群。石塔の石塔群である。				55 G-9
306	安位石塔群	新宮 安位	戦国	安位の石塔群。石塔の石塔群である。				55 G-2
307	源形川石塔群	新宮 源形	戦国	源形川の石塔群。石塔の石塔群である。				55 G-2
308	中野石塔	新宮 中野	戦国	中野の石塔群。石塔の石塔群である。				55 G-2
309	上志津堂五輪塔	新宮 上志津	戦国	上志津堂の五輪塔群。石塔の石塔群である。	66-6 (1359)	歴文2		55 D-5
310	志津川石塔群	新宮 志津川	戦国	志津川の石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-5
311	海布家菩提	新宮 海布	戦国	海布家の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-5
312	安楽堂菩提石塔群	新宮 安楽	戦国	安楽堂の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-5
313	南原石塔群	新宮 南原	戦国	南原の石塔群。石塔の石塔群である。				55 F-5
314	海野五輪塔群	新宮 海野	戦国	海野の五輪塔群。石塔の石塔群である。				55 F-5
315	高野菩提石塔群	新宮 高野	戦国	高野の菩提石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-8
316	地蔵堂石塔群	新宮 地蔵	戦国	地蔵堂の石塔群。石塔の石塔群である。	66-31 (1424) 1567 (1571)			55 D-6
317	光澤堂石塔群	新宮 光澤	戦国	光澤堂の石塔群。石塔の石塔群である。				55 D-6
318	門通寺石塔群	新宮 門通	戦国	門通寺の石塔群。石塔の石塔群である。				55 A-7
319	川原石塔群	新宮 川原	戦国	川原の石塔群。石塔の石塔群である。	66-21 (1644)			55 A-4













番号	名称	所在地	建立時期	備 考	存続資料 の年号	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
76	下瀬池及び石巻地 石巻群	白杵 石巻	南北朝-徳義	石巻の古名に「石巻」とあり、古くは古の白杵として呼ばれていた。キリシタン 宣教師の日記にも記述されている。入道に集積されている。				64 D-4
77	大友宮跡と周辺 石巻群	白杵 石巻	戦国	大友宗麟と宗麟夫人の墓の跡。宗麟の墓が、墓の西側に残されている。国 史跡に指定されている。	天正10 (1582)	国史 跡指定		64 D-5
78	寺小南園墓石庫ス	白杵 石巻	戦国	大友宗麟と宗麟夫人の墓の跡。宗麟の墓が、墓の西側に残されている。国 史跡に指定されている。				64 D-6
79	熊野神社石巻群	白杵 石巻	南北朝-徳義	熊野神社の跡。熊野神社の跡と見られる。熊野神社の跡と見られる。				64 D-5
80	大西典馬墓	白杵 石巻	江戸時代	大西典馬の墓。大西典馬の墓と見られる。大西典馬の墓と見られる。				64 D-5
81	妙宗寺跡石巻群	白杵 石巻	南北朝-徳義	妙宗寺の跡。妙宗寺の跡と見られる。妙宗寺の跡と見られる。				64 D-5
82	豊原山崎馬場	白杵 石巻	戦国	豊原山崎馬場の跡。豊原山崎馬場の跡と見られる。豊原山崎馬場の跡と見られる。				64 D-5
83	寺内馬場跡	白杵 石巻	戦国	寺内馬場の跡。寺内馬場の跡と見られる。寺内馬場の跡と見られる。				64 D-5
84	武山宮跡	白杵 石巻	戦国	武山宮の跡。武山宮の跡と見られる。武山宮の跡と見られる。				64 D-5
85	生野原石巻群	白杵 石巻	戦国	生野原の跡。生野原の跡と見られる。生野原の跡と見られる。				64 D-5
86	笠野原石巻群	白杵 石巻	戦国	笠野原の跡。笠野原の跡と見られる。笠野原の跡と見られる。				64 D-5
87	芝野原跡	白杵 石巻	戦国	芝野原の跡。芝野原の跡と見られる。芝野原の跡と見られる。				64 D-5
88	柱石石巻群	白杵 石巻	戦国	柱石の跡。柱石の跡と見られる。柱石の跡と見られる。				64 D-5
89	定屋一乗坊一刀 石巻群	白杵 石巻	戦国	定屋一乗坊の跡。定屋一乗坊の跡と見られる。定屋一乗坊の跡と見られる。				64 D-5
90	定屋跡石巻石巻群	白杵 石巻	戦国	定屋の跡。定屋の跡と見られる。定屋の跡と見られる。				64 D-5
91	定屋跡石巻石巻群	白杵 石巻	戦国	定屋の跡。定屋の跡と見られる。定屋の跡と見られる。				64 D-5
92	花巻石巻群	白杵 石巻	戦国	花巻の跡。花巻の跡と見られる。花巻の跡と見られる。				64 D-5
93	赤松花巻石巻群 と周辺石巻群	白杵 石巻	戦国	赤松の跡。赤松の跡と見られる。赤松の跡と見られる。				64 D-5
94	掛止神社跡	白杵 石巻	戦国	掛止神社の跡。掛止神社の跡と見られる。掛止神社の跡と見られる。				64 D-5
95	中山石巻群	白杵 石巻	戦国	中山の跡。中山の跡と見られる。中山の跡と見られる。				64 D-5
96	浪石石巻群	白杵 石巻	戦国	浪石の跡。浪石の跡と見られる。浪石の跡と見られる。				64 D-5
97	日平御上と周辺 石巻群	白杵 石巻	戦国	日平御上の跡。日平御上の跡と見られる。日平御上の跡と見られる。				64 D-5
98	名塚石巻群	白杵 石巻	戦国	名塚の跡。名塚の跡と見られる。名塚の跡と見られる。				64 D-5
99	名塚石巻群 と周辺石巻群	白杵 石巻	戦国	名塚の跡。名塚の跡と見られる。名塚の跡と見られる。				64 D-5
100	名塚石巻群 と周辺石巻群	白杵 石巻	戦国	名塚の跡。名塚の跡と見られる。名塚の跡と見られる。				64 D-5
101	一石五輪石巻群	白杵 石巻	戦国	一石五輪の跡。一石五輪の跡と見られる。一石五輪の跡と見られる。				64 D-5
102	橋後尾石巻群	白杵 石巻	戦国	橋後尾の跡。橋後尾の跡と見られる。橋後尾の跡と見られる。				64 D-5
103	小畑石巻群	白杵 石巻	戦国	小畑の跡。小畑の跡と見られる。小畑の跡と見られる。				64 D-5
104	熊野神社石巻群	白杵 石巻	戦国	熊野神社の跡。熊野神社の跡と見られる。熊野神社の跡と見られる。				64 D-5
105	八坂神社石巻群	白杵 石巻	戦国	八坂神社の跡。八坂神社の跡と見られる。八坂神社の跡と見られる。				64 D-5
106	松原宮跡と周辺 石巻群	白杵 石巻	戦国	松原宮の跡。松原宮の跡と見られる。松原宮の跡と見られる。				64 D-5
107	松原宮跡と周辺 石巻群	白杵 石巻	戦国	松原宮の跡。松原宮の跡と見られる。松原宮の跡と見られる。				64 D-5
108	門倉石巻群	白杵 石巻	戦国	門倉の跡。門倉の跡と見られる。門倉の跡と見られる。				64 D-5
109	富新如來五輪石 巻群	白杵 石巻	戦国	富新如來五輪石巻群の跡。富新如來五輪石巻群の跡と見られる。富新如來五輪石巻群の跡と見られる。				64 D-5
110	穴地九輪石巻群	白杵 石巻	戦国	穴地九輪の跡。穴地九輪の跡と見られる。穴地九輪の跡と見られる。				64 D-5
111	穴地九輪石巻群 と周辺石巻群	白杵 石巻	戦国	穴地九輪の跡。穴地九輪の跡と見られる。穴地九輪の跡と見られる。				64 D-5
112	徳楽寺跡石巻群	白杵 石巻	戦国	徳楽寺の跡。徳楽寺の跡と見られる。徳楽寺の跡と見られる。				64 D-5
113	千手寺跡石巻群	白杵 石巻	戦国	千手寺の跡。千手寺の跡と見られる。千手寺の跡と見られる。				64 D-5
114	一ツ木石巻群	白杵 石巻	戦国	一ツ木の跡。一ツ木の跡と見られる。一ツ木の跡と見られる。				64 D-5



番号	名称	所在地	建立時期	概 要	登録資料 の番号	指定 区分	非農 文庫	掲載 地図 番号
115	千手観音石塔群	青野町 中田	市之岡一組	本宮鎮に千手以願の古仏・石塔ととも、中世の石塔群が遺存している。				64 1-2
116	南庭小野御堂仏と 周辺石塔群	赤野町 林山	西本一有九郎	室に鎮座する御堂の境内に古くある五塔の群。その中心塔であるため、平石の 基が認められる。この御堂の歴史は古く、室町・徳川時代の寺の中心であった こと、江戸時代中期に大火と被害を受けたこと、境内に石塔群が遺存している。	赤33 (133)	非農文 庫		64 1-2
117	天手板碑	赤野町 林山	西本一有九郎	石塔の遺構が遺存されており、大正11年の調査から認められる。江戸時代中期の ものと考えられる。	赤33 (135)	非農文 庫	36	64 1-1
118	天手石塔群	赤野町 林山	南上院一組	室町時代に石塔が築かれた。ここからさらに100メートルに入ったところに、近年、石 塔も発見されている。				64 1-1
119	風磨御堂	赤野町 内田	赤野一組	室町時代に建てられた。境内に、山形が大きな石塔がある。修復されて いるが、石塔も発見されている。	赤33 (136)	非農文 庫	36	64 1-1
120	長小野石塔群	赤野町 長小野	西田	人間の骨の骨盤一に穴あきの石塔の遺構が認められる。その他にも中世の石塔の 遺構が認められる。				64 1-3
121	大仏堂石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-2
122	ツルツカ石塔と 周辺石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
123	オムレ石塔と周辺 石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
124	成徳寺石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
125	高野庵石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
126	風磨御堂	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
127	熊土三郎と周辺 石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
128	白山庵神社石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
129	飯前庵石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				64 1-3
130	弘川石塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
131	乙見石塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
132	上宮本五輪塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
133	高野庵地五輪塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
134	熊野神社石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
135	上宮本五輪塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
136	西神宮石塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
137	竹岡石塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
138	川川石塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
139	細井石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
140	ウサイゼン坊跡 宝篋印塔・五輪塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
141	経教堂宝篋印塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
142	熊野石塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
143	熊野石塔と周辺 石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
144	熊野石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
145	山岡石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
146	白岩石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
147	戸原平石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
148	熊野神社五輪塔	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
149	日吉神社石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
150	堤内五輪塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
151	熊野神社宝篋印塔 と周辺石塔群	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1
152	熊野平板碑	赤野町 赤野	赤野一組	石塔の遺構が認められる。石塔の高さは10mほど、石塔の遺構が認められる。近年、石塔は 発見されている。近年、石塔は発見されている。				65 1-1





番号	名称	所在地	建立時期	概要	記録資料の 題名	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
1	仁保玉皇宮印塔	大野町 大野 仁保	戦国	玉皇宮印塔(1棟)入子(15810)の紀年銘ありが確認できる。寺境内には別の印塔が 存在する。	天・9 (1581)			5/ C-1
2	小川野鹿鹿伝仏	小野町 小川	戦国	鹿鹿伝仏が確認できる。小川野鹿鹿伝仏(内)の印塔である。天保7(1824) の紀年銘が確認できる。当該印塔は1棟あり確認できる。	天・9 (1824)	鹿鹿 伝仏	32	62 A-5
3	室本石堂及び石塔群	大野町 室本 小川	戦国	石堂1・室本石堂1・石塔1組(石塔1)ありが確認できる。11基の石塔のうち、 1棟は室本石堂の境内にあり確認できる。石堂は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	石堂 石塔	32	62 A-5
4	蘇小の神社境内 五輪塔水輪	大野町 蘇小	戦国	五輪塔1・水輪1ありが確認できる。水輪は天保10(1839)の紀年銘あり。蘇 小の神社境内にあり確認できる。	天・9 (1839)			62 C-4
5	神角寺北ノ坊跡 宝篋印塔五輪塔 及び石塔群	大野町 神角 北ノ坊	南北朝～戦国	宝篋印塔1・五輪塔1組(五輪塔1)ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839) の紀年銘あり。五輪塔は天保10(1839)の紀年銘あり。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。五輪塔は天保10(1839)の紀年銘あり。石塔は天保10(1839) の紀年銘あり。	天・9 (1839)	宝篋 印塔 五輪 塔 石塔	32	62 C-6
6	神角寺本堂跡の宝篋 印塔・主権定宝印塔	大野町 神角 北ノ坊	戦国	宝篋印塔1・主権定宝印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839) の紀年銘あり。主権定宝印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)			52 D-6
7	平良平宝篋印塔	大野町 平良 平	戦国	宝篋印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 D-3
8	城ノ久保石塔及び 石塔群	大野町 城ノ 久保	戦国	石塔1(天保10)・石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	石塔	32	62 C-4
9	唐川五輪塔地輪	大野町 唐川	戦国	五輪塔1ありが確認できる。五輪塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)			62 F-2
10	唐川地輪宝篋印塔 及び石塔群	大野町 唐川	戦国	宝篋印塔1・石塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	宝篋 印塔 石塔	36	62 F-3
11	西瀬寺宝篋印塔	大野町 西瀬 寺	戦国	宝篋印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 F-4
12	ササノ木堂跡 及び石塔群	大野町 ササノ 木	戦国	石塔1(天保10)・石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	石塔	32	62 F-5
13	鹿ノ元石塔	大野町 鹿ノ 元	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 F-6
14	池田石塔	大野町 池田	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		28	62 F-6
15	御蔵様の石塔	大野町 御蔵 様	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 G-5
16	瀬川町の石塔	大野町 瀬川 町	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		36	62 G-6
17	一瀬氏一族 墓所跡の石塔	大野町 一瀬 氏	戦国～戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 G-6
18	大野寺玉皇宮印塔 (跡地)及び石塔群	大野町 大野 寺	戦国	玉皇宮印塔1ありが確認できる。玉皇宮印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	玉皇 宮印 塔 石塔	36	62 H-1
19	平井相模守康平公 墓所跡及び石塔群	大野町 平井 相模	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		36	62 H-6
20	戸崎石塔	大野町 戸崎	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		28	62 G-7
21	新庄豊地石塔群	大野町 新庄 豊地	戦国～江戸	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		52 H-7	
22	深山八幡石鳥居群	大野町 深山 八幡	戦国	石鳥居1ありが確認できる。石鳥居は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 H-7
23	和泉の大日堂 宝篋印塔石塔 及び石塔群	大野町 和泉 大日	戦国～戦国	宝篋印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	宝篋 印塔 石塔	32	62 I-1
24	和泉公家墓所跡	大野町 和泉 公家	戦国～戦国	墓所1ありが確認できる。墓所は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)			62 I-7
25	神原寺宝篋印塔 五輪塔	大野町 神原 寺	戦国	宝篋印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 五輪塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	宝篋 印塔 五輪 塔	32	62 I-7
26	神原寺石塔五輪 塔及び石塔群	大野町 神原 寺	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 G-5
27	深木町宮古山系 五輪塔	大野町 深木 町	戦国	五輪塔1ありが確認できる。五輪塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 I-5
28	鏡筒寺宝篋印塔群	大野町 鏡筒 寺	戦国	宝篋印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 I-5
29	道真神社 宝篋印塔・石塔	大野町 道真 神社	戦国	宝篋印塔1ありが確認できる。宝篋印塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	宝篋 印塔 石塔	32	62 I-8
30	若宮神社石塔群	大野町 若宮 神社	戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		32	62 E-8
31	常思寺境内 (五輪塔)及び 石塔群	大野町 常思 寺	戦国	五輪塔1ありが確認できる。五輪塔は天保10(1839)の紀年銘あり。 石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)	五輪 塔 石塔	32	62 D-1
32	藤光寺石塔群	大野町 藤光 寺	戦国～戦国	石塔1ありが確認できる。石塔は天保10(1839)の紀年銘あり。	天・9 (1839)		42	62 D-1











番号	名称	所在地	成立時期	概 要	在籍資料の 年号	指定 区分	参考文献	掲載 地図 番号
106	津生の宝篋印塔	千早町 下土	石田	平安朝後10年頃である。浄土宗東方の信仰の中心に在る。塔の基部は礎石で築かれている。			45	63 E-6
107	馬場の大室宮 五輪堂風爐・石塔	千早町 馬場	菅正	五輪堂風爐？ 水が湧出する。長十郎、長太郎の天孫皇孫御用ひに記が建てた。				63 D-7 63 E-7
108	可成山石塔	千早町 可成山	中山善	二重の石塔である。平安朝中期の石塔の中心にある。石塔には高さ2.2メートルの五輪堂風爐がある。	寛政2 (1750)	豊後市 指定？	29	63 D-7
109	神明石塔群	千早町 本宮	深谷一雄司	二重の石塔である。平安朝中期の石塔の中心にある。石塔には高さ2.2メートルの五輪堂風爐がある。				63 D-8
110	高屋五輪堂 五輪堂・火爐	千早町 高屋	新藤	五輪堂風爐？ 火？ 石塔？ が建てられている。五輪堂の風爐がある。				03 D-5
111	高屋藤原宗隆センター 五輪堂風爐・水塔	千早町 高屋	新藤	五輪堂風爐？ 水が湧出する。高屋藤原宗隆センターに建てられた。五輪堂の風爐がある。				63 D-6
112	大木五輪堂風 輪・火爐・水塔	千早町 下大木	新藤	五輪堂風輪？ 火？ 水塔？ が建てられている。大木五輪堂の風輪がある。火？ 水塔？ が建てられている。				63 D-6
113	大木公民館五輪堂 水塔	千早町 大木	新藤	五輪堂風輪？ 水塔？ が建てられている。大木公民館の五輪堂の風輪がある。水塔？ が建てられている。				63 F-7
114	上津原石塔及び 石塔群	千早町 上津原	菅正	石塔？ 五輪堂風輪？ が建てられている。上津原の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。		豊後市 指定？		63 -6
115	大木宮堂及び 石塔群	千早町 下大木	新藤	石塔？ 五輪堂風輪？ が建てられている。大木宮堂の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	明治36 年(1903) 昭和15 年(1940)	豊後市 指定？		63 F-6
116	富田伊弉諾	千早町 富田	新藤	伊弉諾？ 伊弉諾？ が建てられている。富田の伊弉諾の中心にある。伊弉諾の中心にある。	天正9 (1581)	豊後市 指定？		63 E-5
117	熊山公民館石塔群	千早町 熊山	菅正	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。熊山公民館の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。				63 -6
118	熊山八幡社舊の 石塔及び五輪堂	千早町 熊山	菅正	石塔？ 五輪堂風輪？ が建てられている。熊山八幡社の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。				63 F-8
119	熊山八幡社舊五 輪堂風爐	千早町 熊山	新藤	五輪堂風輪？ が建てられている。熊山八幡社の五輪堂の風輪がある。				63 E-8
120	熊山五輪堂及び石塔群	千早町 熊山	新藤	石塔？ 五輪堂風輪？ が建てられている。熊山五輪堂の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天正2 (1573)	豊後市 指定？	20	63 F-8
121	杉ノ塚宮堂	千早町 杉ノ塚	南十郎	宮堂？ 石塔？ が建てられている。杉ノ塚の宮堂の中心にある。石塔の中心にある。		豊後市 指定？		63 F-8
122	熊山公民館舊石塔	千早町 熊山	新藤	石塔？ 五輪堂風輪？ が建てられている。熊山公民館の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。				63 F-8
123	熊山一石五輪堂群	千早町 熊山	新藤	一石五輪堂？ 五輪堂風輪？ が建てられている。熊山一石五輪堂の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。				63 F-5
124	熊山五輪堂 風輪・水塔	千早町 熊山	南北誠	五輪堂風輪？ 水塔？ が建てられている。熊山五輪堂の風輪の中心にある。水塔の中心にある。				63 E-8
125	熊山五輪堂及び 石塔群	千早町 熊山	菅正	五輪堂風輪？ 石塔？ が建てられている。熊山五輪堂の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	永徳6 (1502)	豊後市 指定？		63 D-9
126	鹿田五輪堂及び 石塔群	千早町 鹿田	菅正	五輪堂風輪？ 石塔？ が建てられている。鹿田五輪堂の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天文3 (1534)	豊後市 指定？		63 E-8
127	藤原石塔	千早町 藤原	菅正	石塔？ が建てられている。藤原の石塔の中心にある。石塔の中心にある。	天正9 (1581)	豊後市 指定？		63 E-8
128	日向久五輪堂火 爐・水塔	千早町 日向久	菅正	五輪堂風輪？ 水塔？ が建てられている。日向久五輪堂の風輪の中心にある。水塔の中心にある。				63 F-5
129	新藤寺石塔群	千早町 新藤	遠野一哉夫	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。新藤寺の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天正9 (1581)	豊後市 指定？		63 D-6
130	新藤寺前五輪堂・ 五輪堂	千早町 新藤	菅正	五輪堂風輪？ 五輪堂？ が建てられている。新藤寺前五輪堂の五輪堂の中心にある。五輪堂の中心にある。				63 D-6
131	新藤寺北五輪堂	千早町 新藤	菅正	五輪堂風輪？ が建てられている。新藤寺北五輪堂の五輪堂の中心にある。五輪堂の中心にある。				63 C-9
132	福生寺東邊境内 五輪堂風爐及び五輪堂	千早町 福生	南十郎	五輪堂風輪？ 五輪堂？ が建てられている。福生寺東邊境内の五輪堂の風輪の中心にある。五輪堂の中心にある。	天正9 (1581)	豊後市 指定？	45	63 C-6
133	和行石塔	千早町 和行	菅正	石塔？ が建てられている。和行の石塔の中心にある。石塔の中心にある。				63 H-5
134	馬場石塔	千早町 馬場	菅正	石塔？ が建てられている。馬場の石塔の中心にある。石塔の中心にある。	天正5 (1576)	豊後市 指定？	29	63 E-6
135	黒木石塔	千早町 黒木	菅正	石塔？ が建てられている。黒木の石塔の中心にある。石塔の中心にある。				63 H-6
136	下津原石塔群 (家内(石塔)及び 石塔群)	千早町 下津原	菅正	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。下津原石塔群の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天文3 (1534) 天文5 (1536)	豊後市 指定？	36	63 D-9
137	上田原石塔 馬場	千早町 上田原	菅正	石塔？ 馬場？ が建てられている。上田原石塔の石塔の中心にある。馬場の中心にある。				63 E-8
138	円座寺前石塔群	千早町 円座	菅正	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。円座寺前石塔群の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天正2 (1573) 天正4 (1575)	豊後市 指定？		63 H-5
139	円座寺石塔及び石 塔群	千早町 円座	菅正	石塔？ 石塔群？ が建てられている。円座寺石塔の石塔の中心にある。石塔群の中心にある。	慶長3 (1618)	豊後市 指定？		63 H-7
140	廣徳神社石塔群	千早町 上津原	菅正	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。廣徳神社石塔群の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。				63 H-7
141	正徳寺天文宮堂印 塔及び石塔群	千早町 正徳	菅正	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。正徳寺天文宮堂印塔の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天正15 (1586)	豊後市 指定？	45	63 H-7
142	大辻山(石塔群)	千早町 大辻	菅正	石塔群？ 五輪堂風輪？ が建てられている。大辻山(石塔群)の石塔の中心にある。五輪堂の風輪がある。	天正15 (1586) 天正16 (1587) 天正17 (1588)	豊後市 指定？	36 47	63 D-9
143	又井五輪堂	千早町 又井	菅正	五輪堂風輪？ が建てられている。又井五輪堂の五輪堂の中心にある。五輪堂の中心にある。				63 H-7

所 形 及 び 個 体 数																			
五輪塔				宝篋印塔				字塔				区東石	板碑	一石五輪塔	無縁塔	舟柱塔婆	石椁	石段	その他の塔形
完存	空塔	火輪	水輪	地輪	完存	相輪	笠	塔身	蓋	基壇	完存								
					1														
2	2																		
9	6	7	2		1						2								心塔1
3	1						1												
1		4																	
		1	1																
			4																
																		1	
3	4	3								4				6					
																			圓塔1
1																			
1																		1	
1													1					1	
										1									
																		1	
	1	1													3				
1		1																	
1	1																		円塔1
							3												五輪塔1
															1				
	1																		
2	1	2	3		2						1	1							
	2	3	20	3		1						2							
	2	3										1							1
	2	3			1														
																			1
4	2	2	1		4					10				9					
	1																		
	3				3	1	5	1						2					
20																			
	15	15	15	15															塔地蔵1
26					4														
														1		20	1		
1	1			1															







番号	名称	所在地	建造時期	概要	文献資料 の年月	指定 区分	参考 書目	掲載 地図 番号
179	豊平乳玉権造墓誌	大野市 豊平 山	和暦	大野市豊平山に所蔵されている。資料作成がポンテ博士の調査によるものと見られる。				70 C-6
180	吉高玄徳正法寺・ 石造佛・五輪塔火葬	大野市 豊平山	和暦	五輪塔高さ1.1、石造佛1.1、五輪塔高さ2.0と推定される。高尾山麓の豊平山に所蔵されている。				70 D-5
181	吉高玄徳印石焼	大野市 豊平山	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 D-5
182	寺原の羅摩権造石塔	大野市 寺原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-4
183	寺原五輪塔 空堀輪・火輪・水輪	大野市 寺原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-4
184	山田神社宝篋印塔	大野市 豊平山	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-4
185	寺原宝篋印塔	大野市 寺原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-4
186	寺原五輪塔 空堀輪・火輪	大野市 寺原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-4
187	上野野の羅摩権造五輪 塔火輪・水輪	大野市 上野野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-4
188	江利野乙島水輪 空堀輪	大野市 乙島	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-5
189	熊野寺中ノ坊への 宝篋印塔	大野市 中ノ坊	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		26		70 F-5
190	久上知定墓所(塔婆・ 石造佛・五輪塔 空堀輪・火輪)	大野市 久上	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-6
191	別荘墓所(源次郎権 造権造)石塔	大野市 別荘	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-6
192	鎌方の直道石仏	大野市 鎌方	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		29		70 E-6
193	鎌方直道墓石仏	大野市 鎌方	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		20		70 D-6
194	鎌方直道墓石仏 火輪・水輪	大野市 鎌方	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 D-6
195	火ノ川五輪塔 空堀輪・水輪	大野市 火ノ川	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 D-6
196	三原権造	大野市 三原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		5-30		70 D-6
197	鎌方氏権造石塔	大野市 鎌方	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 D-6
198	上野野宝篋 印塔	大野市 上野野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 C-6
199	彦ノ川権造五輪塔 空堀輪	大野市 彦ノ川	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 C-6
200	下野に五輪塔水輪	大野市 下野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 C-6
201	千人塚遺跡五輪塔	大野市 千人塚	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 C-7
202	豊後大野市立 歴史資料館五輪塔	大野市 豊平山	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 C-7
203	小野権造	大野市 小野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		30		70 C-8
204	大津石造地蔵 菩薩像	大野市 大津	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		29		70 C-8
205	門前佛	大野市 門前	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 D-8
206	三寺石塔及び 五輪塔	大野市 三寺	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		29		70 B-8
207	城上石塔	大野市 城上	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 C-8
208	井上原印塔	大野市 井上原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 D-8
209	井上原印塔	大野市 井上原	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 D-8
210	原山寺の五輪塔 水輪	大野市 原山	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-7
211	小野五輪塔及び 宝篋印石塔	大野市 小野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 E-7
212	大野トウモロコシ 石塔	大野市 大野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-8
213	大化権造・五輪塔 火輪・水輪	大野市 大化	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-7
214	大化の山宝篋印塔	大野市 大化	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。				70 F-7
215	大野宝篋印塔及び 五輪塔	大野市 大野	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-7
216	加賀其権造五輪塔	大野市 加賀其	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-7
217	平石石塔	大野市 平石	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-7
218	五石石塔及び五輪塔	大野市 五石	和暦	五輪塔高さ1.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。五輪塔高さ2.0と推定される。		36		70 F-7

橋形及び個体数																			
五輪橋				宝篋印塔				宝塔				区界塔	板碑	一石 土輪塔	黒塚塔	尚ほ 塔婆	石塔	石段	その他の塔形
充存	空敷輪	火輪	水輪	地輪	充存	相輪	笠	塔身	基礎	塔頂	充存								
1																			
	2					1													
						1													
12	2				1	1													
4	2	2																	
					1														
1																			
		2	1																
					2						2								
2	4					1	1												
2	2											1							
																			塔碑0.3
																			塔碑0.5
1	1																		
							1												
														1					
2		3																	
					1						1								1
1																			
			1																
50																			
15																			
																			塔碑1
	1																		1
																			1
					2														
3						2													
	2		1																1
					1														
1						1	1				2								
					4		3	4											
																			2
1																			1

番号	名称	所在地	遺立時期	概 要	年代資料の番号	指定区分	参考文献	現地番号
219	八石遺 (いもがた)の 室跡石塔	豊後市 豊後町	概正	室跡1が確認できる。遺跡内から土器・土師器、瓦片等の出土品が出土していると見られる。紀平朝臣が確認されている。				70 F-8
220	足立の元石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1144年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。瓦片が出土している。	文政9 (1726)		36	70 F-9
221	小石ノ洞(豊後) 丸形石塔室跡	豊後市 豊後町	概正	石塔跡1が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。				70 F-9
222	高野堂室跡	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1 (寛永1133年) が確認できる。室跡跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政9 (1726)	一巻五 (室書)	36	70 F-8
223	馬場堂室跡印籠 及び石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1133年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。				70 F-8
224	小畑堂室跡印籠 及び石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1、石塔跡1 (寛永1144年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政9 (1726)		38	70 F-8
225	馬場石塔室跡	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。			45	70 F-8
226	平石大塚の石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1152年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。			38	70 F-8
227	足立家史跡及び 五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1、石塔基壇1、石塔跡1が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	寛政11 (1729-30)	豊後町 (石塔)	20	70 F-8
228	石塔寺石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。				70 F-8
229	妙見堂室跡	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔跡1 (寛永1152年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	延享2 (1785)	豊後町 (石塔)	45	71 A-1
230	新道堂室跡及び 石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
231	新道石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1144年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
232	新道石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1144年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
233	西白石石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
234	後藤家石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
235	高野堂石塔及び 五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
236	野村家石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
237	内平五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	五輪塔1 (寛永1145年) が確認できる。五輪塔跡に五輪塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
238	内平室跡印籠 及び石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
239	中野石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
240	宝生寺室跡印籠 及び石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
241	宝生寺石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
242	新井家石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
243	中村五輪塔遺跡	豊後市 豊後町	鎌倉	五輪塔1 (寛永1145年) が確認できる。五輪塔跡に五輪塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
244	宇田林石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
245	中ノ原石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
246	佐藤家石塔五輪塔 室跡印籠及び石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
247	藤原林五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	五輪塔1 (寛永1145年) が確認できる。五輪塔跡に五輪塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
248	林ノ木石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
249	佐藤家石塔及び 五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
250	大平石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
251	中野石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
252	藤原家石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
253	新井五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	五輪塔1 (寛永1145年) が確認できる。五輪塔跡に五輪塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
254	岩戸公民館石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
255	辻室跡及び五輪塔	豊後市 豊後町	鎌倉	室跡1 (寛永1145年) が確認できる。五輪塔跡に五輪塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
256	平野村石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
257	川辺石塔	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	
258	佐藤家石塔 (旧平野)	豊後市 豊後町	鎌倉	石塔1 (寛永1145年) が確認できる。石塔跡に石塔基壇1基の跡が確認される。	文政4 (1721)	豊後町 (石塔)	71 A-1	









番号	名称	所在地	建造時期	概 要	在籍調子の 車号	指定 区分	参考 文献	建設 地区 番号
296	明徳堂宝篋印塔及び石塔群	二宮町 大寺	内匠	宝篋印塔1・石塔群1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	行次10554	199	『大野市史』	71 E 7
297	石造五輪塔(下赤部五輪塔)及び石塔群	二宮町 高ノ尾(279)	鎌倉 室町期 安土桃華	石造五輪塔1・石塔群1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	F321・F322 F323・F324 F325・F326 F327・F328 F329・F330	29	『大野市史』	71 C 7
298	下赤部石塔及び石塔群	二宮町 高ノ尾(279)	鎌倉	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 C 7
299	藤原庵石塔及び石塔群	二宮町 小坂(3015)	鎌倉	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D-8
300	小坂川橋梁(上野田橋)・石塔	三宮町 小坂	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B-8
301	中ノ原石塔群	二宮町 中ノ原	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B 8
302	高野寺北五輪塔(宝篋印塔)・火輪・水輪	二宮町 高野	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 C-9
303	吉祥寺石塔群	三宮町 高野	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 C 8
304	瀬戸公民館	三宮町 高野	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 C-B
305	松原公民館(石塔群)	三宮町 高野	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D-8
306	中山石塔	二宮町 中山(1177)	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	29 72 B-2
307	神石石塔及び石塔群	二宮町 神石	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	47 72 B-1
308	中小坂五輪塔及び石塔群	二宮町 小坂	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 C 1
309	大石の五輪塔(宝篋印塔)・五輪塔	三宮町 大石	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B-2
310	大石の五輪塔(宝篋印塔)	三宮町 大石	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D-3
311	地蔵原石塔	三宮町 地蔵原	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	29 71 B 3
312	無量寺前石塔	三宮町 無量寺	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B 4
313	上畑の大村石塔群	三宮町 上畑	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D-4
314	粟村公民館(石塔群)	三宮町 粟村	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D-5
315	堂内宝塔	三宮町 堂内	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	36 71 B-5
316	小俣宝篋印塔及び石塔群	三宮町 小俣	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	36 71 B-5
317	畑王寺石塔群	三宮町 畑王	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B 5
318	上野原の神社石塔群	三宮町 上野原	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A 5
319	明王寺宝篋印塔及び石塔群	三宮町 明王寺	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	30 71 B-6
320	湯治の五輪塔及び石塔群	三宮町 湯治	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	28 71 B 6
321	ロン地石塔	三宮町 ロン	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B 7
322	橋本石塔群	三宮町 橋本	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B 8
323	長小野神社	三宮町 長小野	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A-7
324	松野寺仏前庭五輪塔(宝篋印塔)	三宮町 松野	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A 8
325	下田五輪塔	三宮町 下田	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A 8
326	石造五輪塔(白谷宝篋印塔)及び石塔群	三宮町 白谷	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D 1
327	久部神社及び石塔群	三宮町 久部	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B 3
328	久部五輪塔(宝篋印塔)・火輪・水輪	三宮町 久部	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 D-3
329	藤原山石塔群	三宮町 藤原山	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 C-3
330	白雲寺石塔及び石塔群	三宮町 白雲寺	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 B-4
331	内平石塔群	三宮町 内平	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A-3
332	井ノ原石塔群	三宮町 井ノ原	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A-6
333	井ノ原五輪塔(宝篋印塔)・火輪・水輪	三宮町 井ノ原	新田	石造五輪塔1(永徳10・1567年)。大徳寺境内に集積する。歴史的に、近所の寺の境内に、埋没した下層塔がある。1軒彫刻と法華堂中心。	同上		『大野市史』	71 A 6



番号	名称	所在地	建造時期	概 要	在籍史料 の番号	指定 区分	参考文献	掲載 順番号
1	高師寺家墓地	高師町	江戸初期	高師寺、宝暦16年の間に高師氏の墓所を中心とする石塔が建てられている。墓所が崩壊してその墓名のみ残されている。				56 1-7
2	海岸寺石塔群	高師 海岸	寛文5年-19世紀	海岸の真ん中に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、海岸に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				56 1-8
3	香香寺石塔群	高師 海岸	寛文5年-19世紀	海岸の真ん中に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、海岸に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				57 C-1
4	浦代石塔群	高師 海岸	寛文	浦代町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、浦代に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				57 G-1
5	村上神社宝篋印塔	川内町 村上	江戸-明治	川内町にあり、村上の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、村上に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	文庫6 (1449)	市制前 (指定)		65 A-5
6	二村家石塔群	上郷町 二村	明治	二村家の墓所に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、二村に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-5
7	畑津落墓地	川内町 畑津	明治-昭和初期	畑津町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、畑津に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-5
8	夕陽の塔	上郷町	明治	夕陽の塔の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、夕陽の塔に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-5
9	川内石塔群	川内町 川内	明治-昭和初期	川内町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、川内に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-5
10	舟泊石塔群	上郷町 舟泊	明治	舟泊町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、舟泊に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-5
11	五兵衛石塔群	川内町 小川	明治-昭和初期	五兵衛町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、五兵衛に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	寛文19 (1642)			65 B-5
12	川内落墓地石塔群	上郷町 川内	明治-昭和初期	川内町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、川内に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	文庫6 (1449)			65 B-5
13	川内石塔	川内町 宇目	明治	川内町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、川内に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-5
14	円明寺石塔群	上郷町 川内	明治	円明寺の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、円明寺に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。		市制前 (石塔)		65 B-5
15	津久見山上石塔群	上郷町 津久見	明治-昭和初期	津久見町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、津久見に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-5
16	石井家上皇地石塔群	上郷町	明治-昭和初期	石井家の墓所に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、石井に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	文庫18 (1590)			65 A-6
17	鬼丸石塔	上郷町 鬼丸	昭和初期	鬼丸町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、鬼丸に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	文庫10 (1524)	市制前 (石塔)	20	65 A-6
18	足尾庵石塔	上郷町 足尾	昭和初期	足尾町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、足尾に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-6
19	原屋地石塔群	上郷町 原屋	明治-昭和初期	原屋地の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、原屋地に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-6
20	鹿島石塔	上郷町 鹿島	明治	鹿島町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、鹿島に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-6
21	浦原石塔	川内町 浦原	明治	浦原町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、浦原に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	文庫9 (1477)	市制前 (石塔)		65 A-6
22	遊庵石塔群	上郷町 遊庵	昭和初期	遊庵町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、遊庵に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-6
23	八坂寺石塔群	上郷町 八坂	明治	八坂寺の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、八坂寺に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-7
24	地蔵堂石塔群	川内町 地蔵	明治-昭和初期	地蔵堂の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、地蔵堂に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 A-7
25	長泉寺墓地石塔群	上郷町 長泉	明治	長泉寺の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、長泉寺に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-8
26	解脫園寺石塔群	川内町 解脫	明治-昭和初期	解脫園の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、解脫園に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-7
27	成松家前石塔群	川内町 成松	明治	成松家の墓所に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、成松に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-7
28	大野家山上石塔群	川内町 大野	明治-昭和初期	大野家の墓所に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、大野に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-7
29	世尊寺五重塔	川内町 世尊	明治	世尊寺の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、世尊寺に五重塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-7
30	井田地石塔群	川内町 井田	明治-昭和初期	井田地の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、井田地に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-7
31	門前遺跡石塔群	上郷町 門前	明治-昭和初期	門前遺跡の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、門前遺跡に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 B-7
32	成守石塔群	津久見 成守	昭和-昭和初期	成守町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、成守に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 C-0
33	龍山無量庵	津久見 龍山	明治	龍山の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、龍山に無量庵が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。	文庫3 (1575) 文庫6 (1518)			65 C-8
34	寺岡家跡石塔群	津久見 寺岡	明治	寺岡家の墓所に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、寺岡に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 C-8
35	千姫石塔群	津久見 千姫	明治	千姫町の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、千姫に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 C-9
36	松木泊無量庵地石塔群	津久見 松木	明治	松木泊の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、松木泊に無量庵が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 C-8
37	原之川石塔群	津久見 原之川	明治	原之川の中心に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、原之川に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 C-8
38	山口家裏石塔群	津久見 山口	明治	山口家の墓所に高師村の墓所が残っている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。また、山口に石塔が建てられている。高師氏の墓所。あるが内容に詳しいものはない。				65 C-8

塔形及び個体数																			
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国東活	板碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔婆	石幢	石殿	その他の塔形
充存	空	火輪	水輪	地輪	充存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇	充存								
					3														
5	0	0	3	1											3				
7	3	30				1		1											
2	2	4																	
					1	1		2											
3	3	2	3																
	1											1							
1	2					1								1			1		
8	17	7	5																
1																			
7	3	1																	
8	5	6																	
22	13	18	7																
9	4	10	9																
21	34	23	26																地蔵五輪塔4
5	5		4																
4	1	1																	伊豫行28
5	2	4																	
7	5	10	1			1													
6																			
5	5	7	5																
4	6	2	2	2															
60	9	5	12								4	9							
3		3																	
4		4																	
		4	1																
1	2	5																	

番号	名称	所在地	遺立時期	概要	存在資料 の年月	指定区分	参考 文献	掲載 地図 番号
39	武蔵神社下石垣群	八幡 大村	戦国	武蔵神社に由来する瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				65 C-4
40	岡田家墓石地 五輪石群	二見 久保	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 E-1
41	千部石群	千部 新石川	室町～戦国	両津神と千部神の境内の平石、車道で用いられている。彫刻の石が欠損しているのことで知られている。現在は石に「津」と小さく刻まれているものであるが、現在は（1）石の下の平石が確認されている。				66 9-1
42	千部神/元宮稲印石	千部 新石川	室町～戦国	千部神と千部神の境内の平石、車道で用いられている。彫刻の石が欠損しているのことで知られている。現在は石に「津」と小さく刻まれているのであるが、現在は（1）石の下の平石が確認されている。				66 E-1
43	福徳寺石地五輪石群	白鳥 只見	室町～戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				65 E-2
44	日見堂東原墓地 五輪石	日見 上原	戦国	築造された瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 3-3
45	福徳寺石地五輪石	白鳥 只見	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 E-3
46	福徳寺石地五輪石	白鳥 只見	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 E-4
47	赤崎氏墓石五輪石	赤崎 赤崎	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				67 F-1
48	奉月寺跡石垣群	赤崎 赤崎	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 D-4
49	立法寺跡山石垣群	赤崎 赤崎	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 E-6
50	久保白石石と周辺 石垣群	白鳥 只見	戦国	宮内省の調査の結果、瓦葺物にコンクリートで固めた、向拝廻り等の石に内装が欠けたまま残存している。その後に「墓」跡を有する中に石材が混入して確認できる。				66 C-6
51	深良津集落墓地 石垣群	深良 深良	江戸～戦国	人家の石垣に使用されたものである。				65 C-7
52	深良津先石群	深良 深良	戦国	深良津集落の墓地に使用されたものである。				66 C-7
53	深良津石垣群	深良 深良	戦国	深良津集落の墓地に使用されたものである。				66 C-7
54	榑木観音堂石垣群	榑木 榑木	室町～戦国	榑木観音堂の境内に使用されたものである。				66 A-5
55	田ノ浦北野堂 石垣群	田ノ浦 口ノ浦	室町～戦国	田ノ浦北野堂の境内に使用されたものである。				66 A-8
56	七島大照神五輪石	七島 渡ノ河	室町	七島大照神の境内に使用されたものである。				66 F-8
57	本教寺石垣群	本教 渡ノ河	室町～戦国	本教寺の境内に使用されたものである。				66 E-5
58	本教寺上石垣群	本教 渡ノ河	室町～戦国	本教寺の境内に使用されたものである。				66 E-5
59	海徳寺石垣群	海徳 海徳	室町～戦国	海徳寺の境内に使用されたものである。				67 C-1
60	虎師御堂	虎師 津久見	中世	虎師御堂の境内に使用されたものである。				67 C-1
61	宗廟公置石垣群	津久見 只見	戦国	宗廟公置の境内に使用されたものである。				66 C-5

塔形及び個体数																							
五輪塔				宝篋印塔							坐塔				圓卓塔	板碑	一石五輪塔	無量塔	舟形塔婆	石槨	石殿	その他の塔形	
完存	瓦葺	火輪	水輪	地輪	完存	相輪	笠	塔身	基礎	基壇	完存	相輪	笠	塔身	基壇	草履							
			2	2																			
						1																	
		0																					
	1	2																					
	1	7																					
	3	2																					
	8	16	5	8																			
	16	26	21	2																			
	1		2																				1
	6	10	2									2											1
		3																					
		1																					
	8	15	6	12								1	1										
	15	22	6	15								1											4
		1																					
							1																1
	6	2	2	5																			
		3											2										1
	2																						
		1																					

番号	名 称	所 在 地	遺 立 時 期	備 考	右記資料の 年号	測定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
1	賀門庵五輪塔	宮川 宮本	中世	石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 1-9
2	尾尾尾石塔群	上青 尾尾尾 大字石	古墳一 群古墳群	水田の隅、水田が耕作停止する。				96 C-9
3	石井兼盛墓地五輪塔	石井 宮川	近世一組	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 C-5
4	千原庵五輪塔群	上青 宮本	近世一組	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 C-5
5	藤井五輪塔群	上青 宮本	近世一組	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 C-5
6	一輪寺五輪塔群	上青 宮本	近世一組	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 C-3
7	菅宮神社五輪塔群	上青 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
8	藤原庵五輪塔群	上青 宮本	近世一組	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
9	色島家伝石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
10	藤生堂五輪塔 五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
11	万寿院石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
12	中川原五輪塔 五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
13	伊賀原五輪塔 五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
14	指大角五輪塔石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
15	高尾庵五輪塔 五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
16	代後東家五輪塔 五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
17	海蔵庵五輪塔石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
18	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
19	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
20	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
21	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
22	河野家石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
23	一輪寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
24	井筒石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
25	上小島五輪塔石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
26	平井石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
27	山石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
28	浄土庵五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
29	白山神社五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
30	安政(赤坂)石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
31	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
32	指筒神社石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
33	天神石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
34	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
35	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
36	藤井寺石塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3
37	安政寺五輪塔群	石井 宮本	古墳一 群古墳群	石段の隅に石段の中央部に石段を築くことによる階段状の「踏石」がみられる。				96 F-3







塔形及び個体数																			
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				国東塔	板碑	一石五輪塔	無縁塔	角柱塔婆	石幢	石燈	その他の塔形
元存	宝篋塔	火輪	水輪	地輪	元存	相輪	五輪塔	基礎	基壇	元存	相輪								
	1	1																	塔婆
	5	4	4	5															
	10	4	16	12						1	2	2	1				1		
	2	2																	
	20	10	15	13															
		2				1											1		
	4		6																
	5	3	6	6															
			1							1									
											1								
																1			
	1		3													3			
	3		1							2									
	2	0	2	2												2			
	6	1	5	1															
	6	3	2																
										2									
	3	2	4																
	2		4																
			2																塔婆
	2		2	1															
	3															1			
			2																
										1									
	1	1																	
			2																
	1																		
	5																		
										1	1					2			
										6	13	10	10						
	2	3	6	2								1							
	1	3	3																塔婆
	1																		

番号	名称	所在地	建立時期	概 要	登録資料 の年月	指定 区分	参考文献	指定 地番
76	田原家歌守宝篋	佐伯市 山口町	戦国	享徳寺の境内の遺跡に宝篋が埋められている。		佐伯市 (指定)	78 H-6	76
77	伊都地区之集会所 心石群	佐伯市 心石町	戦国	おとけの集会所の境内に集会所の礎石が埋められている。				77 H-8
78	上津小野墓群	佐伯市 小野町	戦国～ 江戸時代	16世紀から19世紀にかけて、山形等の大名が墓がある。	天保6 (1835)	佐伯市 (指定)	79 C-1	78 C-1
79	上津小野石塔	佐伯市 小野町	戦国	墓群に金剛形石塔の石塔あり。遺跡は北緯度緯度六十度七十分あり。		佐伯市 (指定)	79 D-1	79 C-2
80	河内藤の墓跡石塔群	佐伯市 河内町	戦国	16世紀に河内が宮内省の所領であった。				79 C-3
81	酒刺墓群	佐伯市 酒刺町	江戸時代	酒刺集会所の境内に墓群が埋められている。墓の石塔が埋められている。				79 D-2
82	原田家墓群	佐伯市 原田町	戦国	原田家の墓群の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 F-2	
83	松河内石塔群	佐伯市 松河内町	戦国	松河内氏の墓群の境内に石塔が埋められている。石塔の石塔が埋められている。石塔の石塔が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 E-2	
84	河内石塔	佐伯市 河内町	戦国	河内氏の墓群の境内に石塔が埋められている。		佐伯市 (指定)	78 E-3	
85	神田馬場墓群	佐伯市 神田町	戦国	神田氏の墓群の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 E-5	
86	須川宮内守五郎墓	佐伯市 須川町	戦国	須川宮内守五郎の墓群の境内に墓群が埋められている。				79 E-6
87	東石塔群	佐伯市 東町	戦国	東氏の墓群の境内に墓群が埋められている。				79 E-7
88	須川宮内守五郎墓	佐伯市 須川町	戦国	須川宮内守五郎の墓群の境内に墓群が埋められている。	天保6 (1835)	佐伯市 (指定)	79 F-6	
89	上八土墓群	佐伯市 上八土町	戦国	上八土氏の墓群の境内に墓群が埋められている。				78 E-8
90	泉石塔群	佐伯市 泉町	戦国～ 江戸時代	泉氏の墓群の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 F-6	
91	大石墓群	佐伯市 大石町	戦国	大石氏の墓群の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 G-2	
92	豊原光石塔群	佐伯市 豊原町	戦国	豊原氏の墓群の境内に墓群が埋められている。				79 G-4
93	地蔵堂石塔群	佐伯市 地蔵堂町	戦国～江戸時代	地蔵堂の境内に墓群が埋められている。				79 G-5
94	入道堂墓群	佐伯市 入道堂町	戦国	入道堂の境内に墓群が埋められている。	天明6 (1826)	佐伯市 (指定)	79 C-5	
95	市街寺堂墓群	佐伯市 市街寺堂町	戦国	市街寺堂の境内に墓群が埋められている。	天保6 (1835)	佐伯市 (指定)	79 H-4	
96	長島寺墓群	佐伯市 長島寺町	戦国～ 江戸時代	長島寺の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 H-5	
97	神江道墓群	佐伯市 神江道町	戦国	神江道の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	79 H-7	
98	茶屋定宗堂石塔群	佐伯市 茶屋町	戦国	茶屋定宗堂の境内に墓群が埋められている。				79 H-7
99	西光寺石塔群	佐伯市 西光寺町	戦国～江戸時代	西光寺の境内に墓群が埋められている。				79 G-8
100	源の上石塔群	佐伯市 源の上町	戦国～江戸時代	源の上の境内に墓群が埋められている。				80 E-1
101	阿部宗家石塔群	佐伯市 阿部町	戦国	阿部宗家の境内に墓群が埋められている。				80 E-2
102	新川内石塔群	佐伯市 新川内町	戦国	新川内の境内に墓群が埋められている。	天保6 (1835)			80 F-1
103	神内御堂石塔と 周辺石塔群	佐伯市 神内町	戦国～江戸時代	神内御堂の境内に墓群が埋められている。	天保6 (1835)	佐伯市 (指定)	29 80 C-3	
104	桑木石塔群	佐伯市 桑木町	戦国	桑木の境内に墓群が埋められている。				80 C-3
105	岡村正助寺 石塔群	佐伯市 岡村町	戦国～ 江戸時代	岡村正助寺の境内に墓群が埋められている。	天保6 (1835)	佐伯市 (指定)	80 C-3	
106	市置堂石塔群	佐伯市 市置堂町	戦国～江戸時代	市置堂の境内に墓群が埋められている。				80 C-3
107	堂内寺光石塔群	佐伯市 堂内町	戦国～江戸時代	堂内寺の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	80 D-2	
108	野々内石塔群	佐伯市 野々内町	戦国	野々内の境内に墓群が埋められている。				80 D-3
109	功木地蔵石塔群	佐伯市 功木町	戦国～ 江戸時代	功木地蔵の境内に墓群が埋められている。				80 D-3
110	大山正助寺 石塔群	佐伯市 大山町	戦国	大山正助寺の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	80 D-3	
111	滝山山内寺 石塔群	佐伯市 滝山町	戦国～ 江戸時代	滝山山内寺の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	80 F-3	
112	歌原石塔群	佐伯市 歌原町	戦国～江戸時代	歌原の境内に墓群が埋められている。		佐伯市 (指定)	80 - 3	



番号	名称	所在地	遺立時期	概 要	在籍史料 の年代	指定区分	参考文献	遺跡 地図 番号
113	歌津油蔵考古遺跡	佐伯市 アサヒ	西・中世～戦国	所蔵遺物の種類から推定し、古墳時代から中世前期の遺物で構成されている。古墳時代から中世前期にかけての連続した遺物が見られる。また、中世前期の遺物も含まれている。	天守1 (1450)	市史第 2号 (表)	佐伯 市史 第2号	B- F-3
114	園石遺跡	佐伯市 上戸丸	戦国～ 江戸初期	水田跡の石造り。数ヶ所に散在している。				B- C-9
115	西戸崎石遺跡	佐伯市 西戸崎	戦国～ 江戸初期	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-6
116	高瀬遺跡(石遺跡)	佐伯市 高瀬	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-6
117	大川原遺跡	佐伯市 大川原	戦国～ 江戸初期	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守4 (1595)	36		B- E-8
118	府原遺跡(石遺跡)	佐伯市 府原	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- D-6
119	舟形石遺跡	佐伯市 舟形	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守17 (1549)			B- E-5
120	野野石遺跡	佐伯市 野野	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守10 (1549)			B- C-9
121	市瀬所石遺跡	佐伯市 市瀬所	鎌倉～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守13 (1545)			B- C-8
122	市瀬所2号石遺跡	佐伯市 市瀬所	戦国～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- C-8
123	小島原石遺跡	佐伯市 小島原	戦国～ 江戸初期	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- D-8
124	伏木1号石遺跡	佐伯市 伏木	戦国～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- D-8
125	岡ノ石遺跡	佐伯市 岡ノ石	江戸～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守7 (1630)			B- F-8
126	長野東山石遺跡	佐伯市 長野東山	鎌倉～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- F-8
127	肥後堂石遺跡	佐伯市 肥後堂	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- F-8
128	万石石遺跡	佐伯市 万石	戦国～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- E-8
129	阿波尾遺跡(石遺跡)	佐伯市 阿波尾	戦国～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- F-7
130	地蔵ノ水原石遺跡	佐伯市 地蔵ノ水原	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守4 (1575)	4号 (表)	36	B- A-1
131	長尾寺石遺跡	佐伯市 長尾寺	戦国～ 江戸初期	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	高瀬 (1639) 天守17 (1545)			B- A-1
132	奥野遺跡(石遺跡)	佐伯市 奥野	戦国～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-1
133	幸田石遺跡	佐伯市 幸田	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守1 (1574)	市史第 (1号)		B- E-1
134	長尾遺跡	佐伯市 長尾	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。	天守1 (1574)	36		B- E-1
135	鶴川石遺跡	佐伯市 鶴川	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- E-1
136	延喜庵遺跡(石遺跡)	佐伯市 延喜庵	戦国～ 江戸初期	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- E-1
137	山石遺跡	佐伯市 山石	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- E-1
138	佐伯中區前方遺跡 (石遺跡)	佐伯市 佐伯中區	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-4
139	地蔵堂遺跡	佐伯市 地蔵堂	戦国～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-4
140	佐伯中區前方遺跡 (石遺跡)	佐伯市 佐伯中區	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-4
141	成瀬遺跡	佐伯市 成瀬	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- C-5
142	田原遺跡	佐伯市 田原	江戸～戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-7
143	長尾遺跡(石遺跡)	佐伯市 長尾	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- C-1
144	近瀬遺跡(石遺跡)	佐伯市 近瀬	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- C-8
145	長尾遺跡(石遺跡)	佐伯市 長尾	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- A-8
146	高瀬遺跡(石遺跡)	佐伯市 高瀬	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- F-5
147	黒木石遺跡	佐伯市 黒木	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- G-5
148	深水庵石遺跡	佐伯市 深水庵	戦国～ 江戸初期	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- E-5
149	飯本遺跡	佐伯市 飯本	戦国	古墳時代の遺物が見られる。古墳跡と推定されている。				B- E-5

病形及び躯体数																			
五輪塔				宝篋印塔				宝塔											
完存	空	火	水	地	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪
完存	空	火	水	地	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪	輪
	7	3	4				6	1	1				1	3					
	4	6	7																
	7	1	1					1								4			
	2	2	3	1															
															6				
	1																		
	2									1									
			2																
	107	56	75	73			8	1	1				3	4	5				
		5	5	5															
																4			
	2		2																
										5									自然石塔等1
	21	5	16	1						1									
	2																		
	3	4	7	3															
	8	6	5	5									3						
																1			
	2	5	3										3	2	3	2			
	6	8	4	2															
																		1	
	6	22	15																
	1									2				1					
	4	1												1					
	5		1																
	29		1																
	2																		
																			1
	1		2																
			3													1			
	2		6	2									1						
	3	2	2	1															
																			1
	3	6	3										2	5					
	1																		

番号	名称	所在地	建立時期	概要	建造資料 の年表	指定 区分	参考 文献	掲載 地図 番号
150	橋本道五輪塔	高江 橋本橋	南北朝～室町	上りの高木小川河、高野寺の裏に建っている。築石は、花崗岩から作られたと見られる。				51 1-5
151	高野堂石塔群	高江 橋本橋	戦国	高野堂の裏の森に山行道から入っている洞窟があり、その中に作られた石塔群が祀られている。				51 1-4
152	高岡キリシタン墓	上江 高岡	江戸時代	高岡のキリシタン墓である。この墓群は江戸時代末に作られたものであり、築石は、花崗岩から作られたものである。ほとんどもとよしとあったが、高岡のキリシタン墓群が有名であり、築石が花崗岩の洞窟に建てられたものである。	元禄5 (1698)	高岡キリシタン墓	29	46 A-4
153	宇目屋宝印石塔	上江 高岡	江戸時代	宇目屋の境内に存在する。高岡に建てられているが、築石は花崗岩から作られている。				56 A-4
154	田村石塔群	中江 高岡	江戸時代	田村の境内に存在する築石が2基建てられている。				56 A-3
155	田野原屋伝石塔群	中江 高岡	江戸時代	田野原の境内に存在する築石が2基建てられている。				56 A-3
156	高野神社宝印石塔	高江 高野	戦国～江戸時代	高野神社の境内に存在する築石が2基建てられている。				57 1-8
157	浦ノ邊石塔群	高江 浦ノ邊	室町時代～戦国	浦ノ邊の境内に存在する築石が2基建てられている。				57 1-8
158	高野堂宝印塔	高江 高野	室町時代	高野堂の境内に存在する築石が2基建てられている。				57 1-8
159	西光庵石塔群	高江 高野	江戸時代	西光庵の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 C-1
160	段原庵石塔群	高江 高野	江戸時代	段原庵の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 C-1
161	高野神社石塔群	高江 高野	戦国～江戸時代	高野神社の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 C-2
162	西川家宝印石塔	高江 高野	江戸時代	西川家の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 C-2
163	香酒庵石塔群	高江 高野	戦国	香酒庵の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 D-3
164	宝光庵石塔群	高江 高野	戦国	宝光庵の境内に存在する築石が2基建てられている。		44		58 C-4
165	山後石塔群	高江 高野	戦国	山後の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 2-1
166	長光寺墓地	高江 高野	戦国～江戸時代	長光寺の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 D-4
167	長瀬家五輪塔	高江 高野	江戸時代	長瀬家の境内に存在する築石が2基建てられている。			14	58 1-5
168	梅本石塔群	高江 高野	江戸時代	梅本の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 1-5
169	高野寺五輪塔	高江 高野	江戸時代	高野寺の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 C-7
170	西野清庵No2 墓石	高江 高野	戦国～江戸時代	西野清庵の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 D-8
171	西野清庵No1 墓石	高江 高野	江戸時代	西野清庵の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 4-8
172	長江寺墓地石塔群	高江 高野	戦国	長江寺の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 1-5
173	長江寺墓地石塔群	高江 高野	戦国	長江寺の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 1-5
174	寺部石塔群	高江 高野	戦国	寺部の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 A-9
175	明正神社五輪塔	高江 高野	江戸時代	明正神社の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 A-9
176	王子神社五輪塔	高江 高野	戦国	王子神社の境内に存在する築石が2基建てられている。				58 A-8

塔形及び個体数																				
五輪塔				宝篋印塔				宝塔				宝篋塔	板碑	一石五輪塔	無縫塔	奥柱塔	石噴	石段	その他の塔形	
完存	空塔	火燬	水蝕	地蝕	完存	相輪	笠	経身	基礎	基礎	完存	相輪	笠	経身	基礎	基礎				
2																				
					2															
											2									
			1									1								
2	2											1								
10	7	5	5											1						
					2															
9	4	5																		
8	7	9	2	3							1	1	1							
2	3	2																		
					1															
1		1																		
		4	1																	
5	2	5											1							
		4	4	3																
																			2	
			1																	
2																				
6	6	1																		
1																				
20	9	10	4																	
		2	1									1								
1	6	1	2																	
			1																	



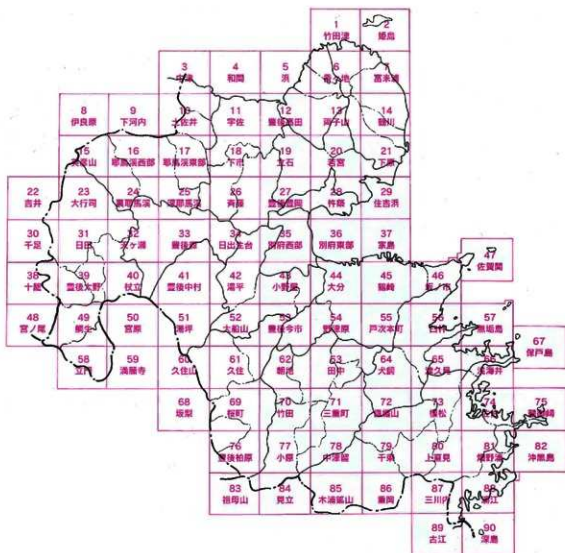
## 参考文献

- 1 緒方町「緒方町誌」1958
- 2 松本達郎・村川光雄・吉久三千年「日本地方地質誌 九州地方」創世書局 1962
- 3 朝地町史刊行会「朝地町史」1968
- 4 千歳村「千歳村誌」1974
- 5 露月友香「大分の石造美術」木耳社 1975
- 6 弥生文化財保護保存会「弥生町の文化財」1977
- 7 小沼富士雄「九州考古学専攻 歴史時代編」学生社 1977
- 8 犬飼町「大洲町誌」1978
- 9 常川村「常川村誌」1979
- 10 大分県大野町史刊行会「大分県大野町史」1980
- 11 野添原町「野添原町史」1980
- 12 野津町教育委員会「重要文化財 五輪塔保存修理工事報告書」1981
- 13 山香町誌刊行会「山香町誌」1982
- 14 瀬江町教育委員会「瀬江町の文化財」1982
- 15 鹿見町教育委員会「鹿見町の文化財」1984
- 16 野添町教育委員会「野添町の文化財」1985
- 17 津久見市誌編さん室「津久見市誌」1985
- 18 三宅町「三宅町誌」1987
- 19 佐伯市教育委員会「佐伯氏一族の興亡」1989
- 20 佐伯市教育委員会「佐伯市の文化財」1990
- 21 上鏡町教育委員会「上鏡町の文化財」1990
- 22 大分県教育委員会「大分県の文化財」1991
- 23 臼杵市史編さん室「臼杵市史」1992
- 24 野津町誌編さん室「野津町誌」1993
- 25 津久見市教育委員会「津久見市の文化財」1993
- 26 芳山孝牛・内藤克己・村上久和・社藤英一「大野郡野津町八世名徳定塔の調査」『二島の石造美術』第15号 大分石造美術研究会 1994
- 27 津久見町教育委員会「津久見町の文化財」1995
- 28 渡部幹雄・志野弘之・原田昭一「原田後園における『やぐら』の新例-大分県大野郡緒方町大字・香満寺跡『やぐら』について-」『古文化談義』第35号 九州古文化研究会 1995
- 29 大分県立宇佐鳳上記の歴史民俗資料館「石造文化財の保存対策のための概観調査」1996
- 30 弥生町誌編さん委員会「弥生町誌」1996
- 31 緒方町教育委員会「緒方町の文化財」1998
- 32 朝地町教育委員会「朝地町の文化財」(リーフレット)1998
- 33 大分県教育委員会「大分県道誌」2000
- 34 緒方町「地回りでたどるおがたの歴史」2001
- 35 緒方町「緒方町誌」(総論編・区誌編) 2001
- 36 原田昭一「板碑集成(その1、豊前・豊後)-豊前・豊後における紀年銘を有する整形板碑について-」『古文化談義』第48号 九州古文化研究会 2002
- 37 別府市「別府市誌」2003
- 38 原田昭一「板碑集成(その2、豊前)・豊前・豊後における紀年銘を有する整形板碑について」、『古文化談義』第49号 九州古文化研究会 2003
- 39 原田昭一「板碑集成(その3、豊後北部 瀬、糟道)・豊前・豊後における紀年銘を有する整形板碑について」『古文化談義』第50号 九州古文化研究会 2003
- 40 原田昭一「板碑変遷史-豊前・豊後における紀年銘板碑を通して-」『古文化談義』第51号 九州古文化研究会 2004
- 41 山香町教育委員会「山香町の文化財」2005
- 42 特産士「特産市誌本編」2005
- 43 特産市「特産市誌資料編」2005
- 44 瀬江町誌編さん委員会「瀬江町誌」2005
- 45 原田昭一「中世における石造物流通の一端-「玄正(玄寧)」銘宝篋印塔の流通を通して-」『日引』第7号 石造物研究会 2005
- 46 原田昭一「豊後府内から出土した新羅塔の新例-中世大友府内町跡9次調査区出土の無銘塔中台の検討-」『考古学に学ぶ(Ⅷ) 同志社大学考古学シリーズ 同志社大学考古学シリーズ刊行会 2007
- 47 原田昭一「角帯雲文鏡史-豊前・豊後における紀年銘資料を通して-」『石造文化研究』第27号 おおいた石造文化研究会 2009
- 48 藤田 高上「向竹城出土の角帯伏石塔」『石造文化研究』第27号 おおいた石造文化研究会 2009
- 49 黒川信彦・原田昭一「海を渡った石造物-愛媛県高知市神谷神社所蔵宝塔の紹介を通して-」『石造文化研究』第28号 おおいた石造文化研究会 2010
- 50 特産市「山香町誌総編」2011
- 51 原田昭一「大分から来た石造物-古村高野・黒川信彦・高嶋君二「石造物が語る中世の依田野半島」香川吉彦 2011
- 52 原田昭一「江利和幸」豊前・豊後における輸入された中世の花崗岩製石塔」
- 53 『朝野石製中世石造物の分布調査とその学理的調査-中四国・九州を中心に-』2008～2010年度科学研究費補助金基盤研究(C) 研究成果報告書 2011
- 54 大分県学文化財センター「緒方後遺跡」2012
- 54 原田昭一「九州(玄美印塔)・筑川集、松井一明編「中世石塔の考古学」 萬志書院 2012

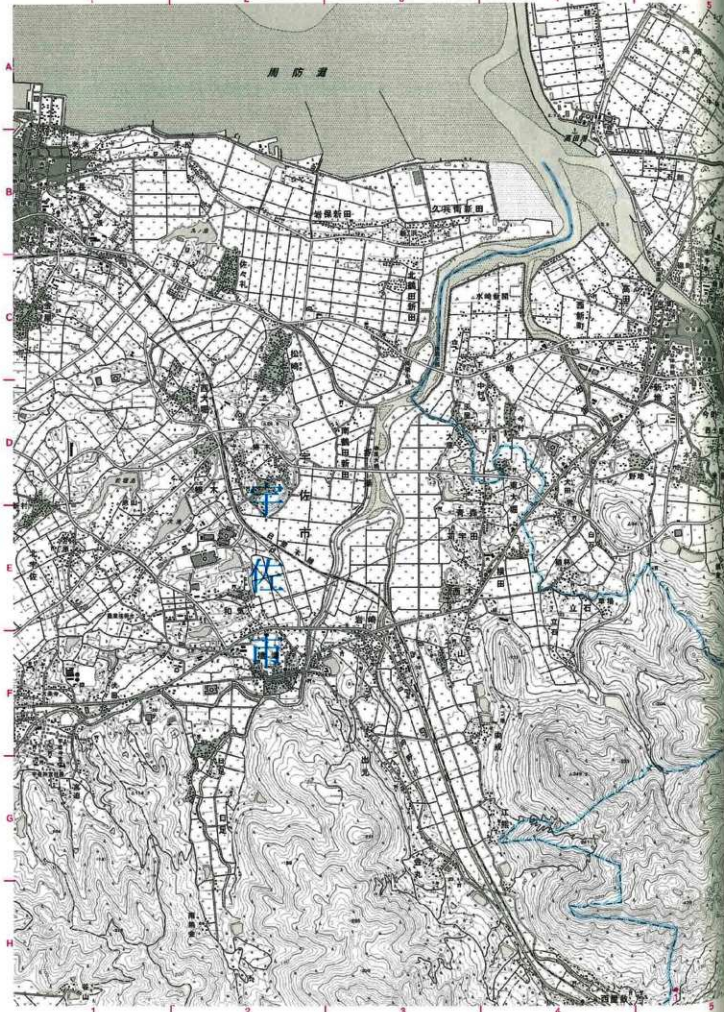
## 中世石造遺物分布図

1. 石造物の位置については、下記の記号及び実線による範囲で示した。なお、赤の記号を一般、青色の記号を指定物件として色分けした。

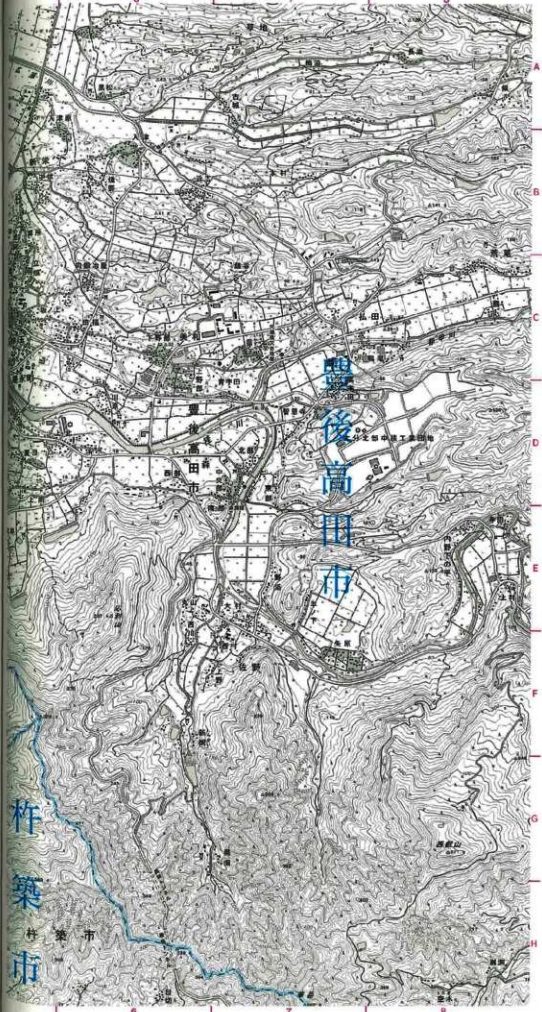
- 石塔所在地
- 石塔旧在地
- 石塔指定物件（有形文化財）をふくむ石塔所在地
- 石塔指定物件（史跡）をふくむ石塔所在地



分布地図配置図



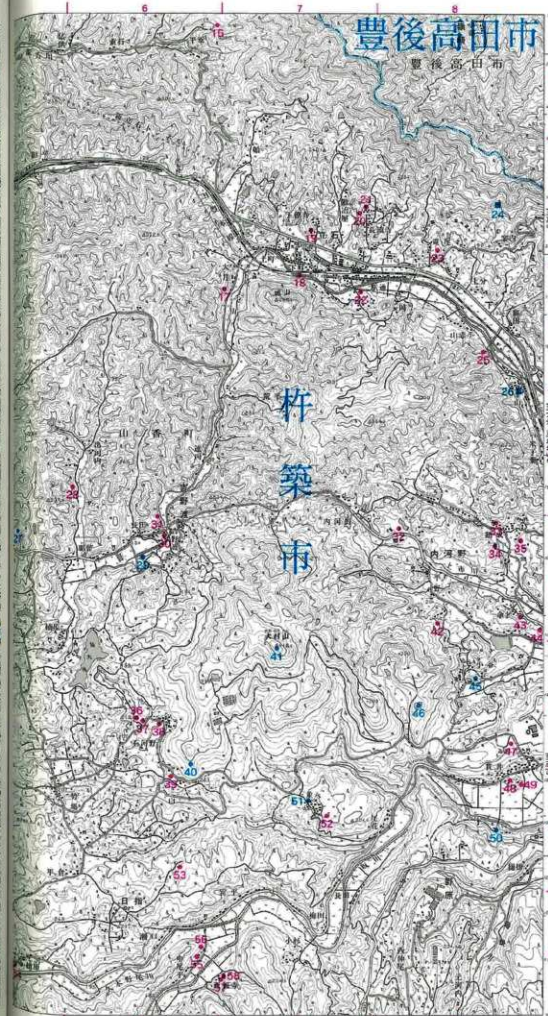
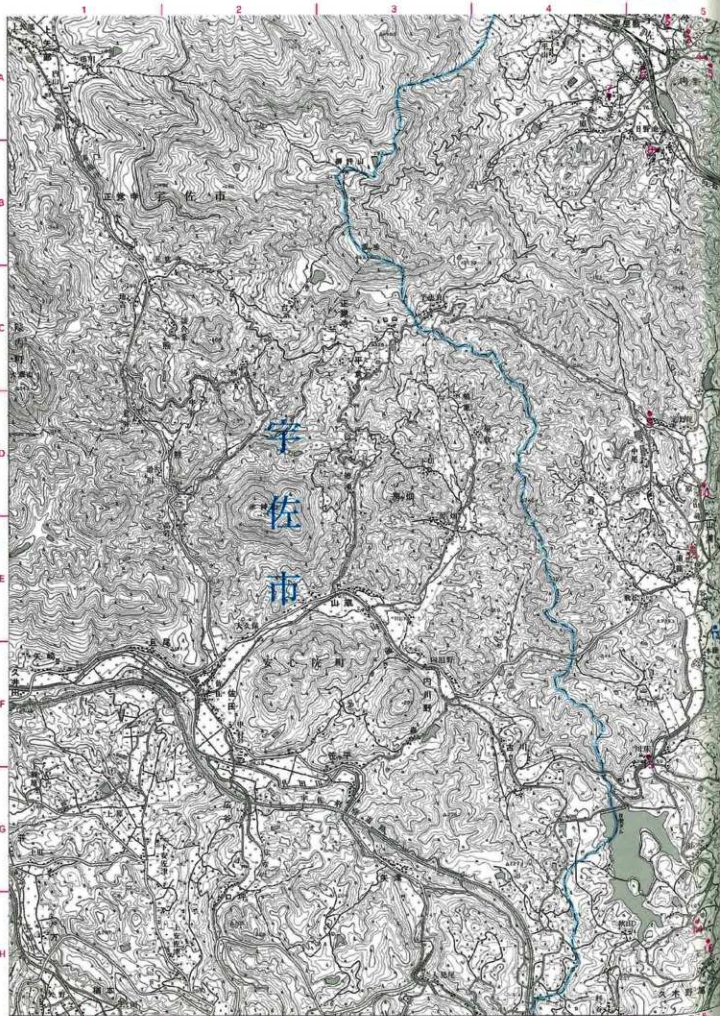
11 宇佐



杵築市

13 両子山

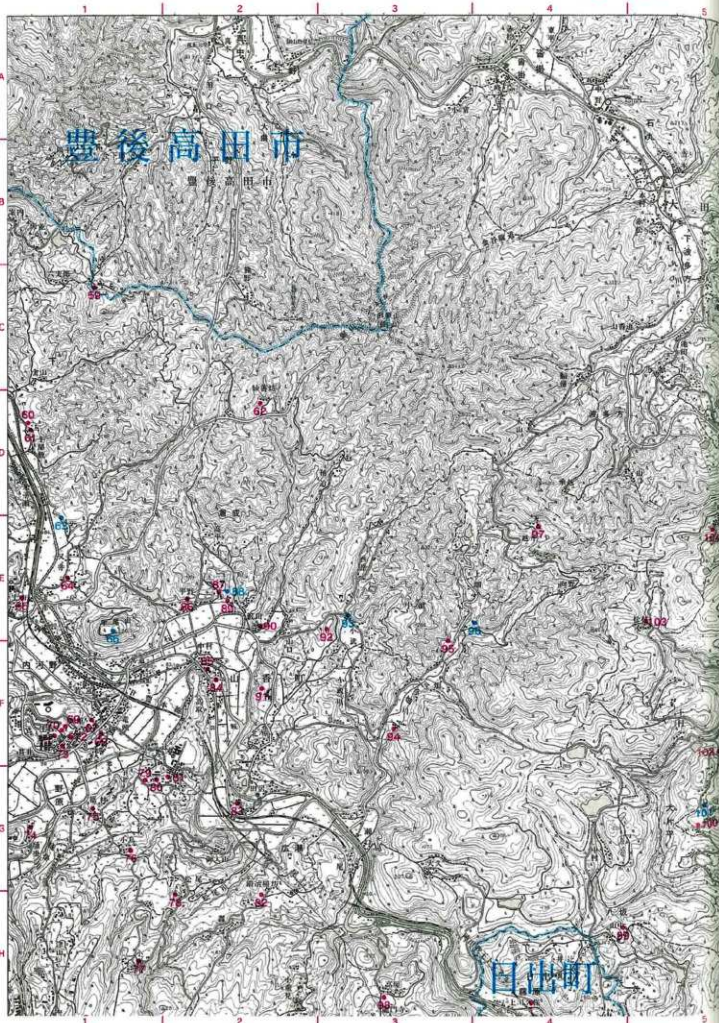




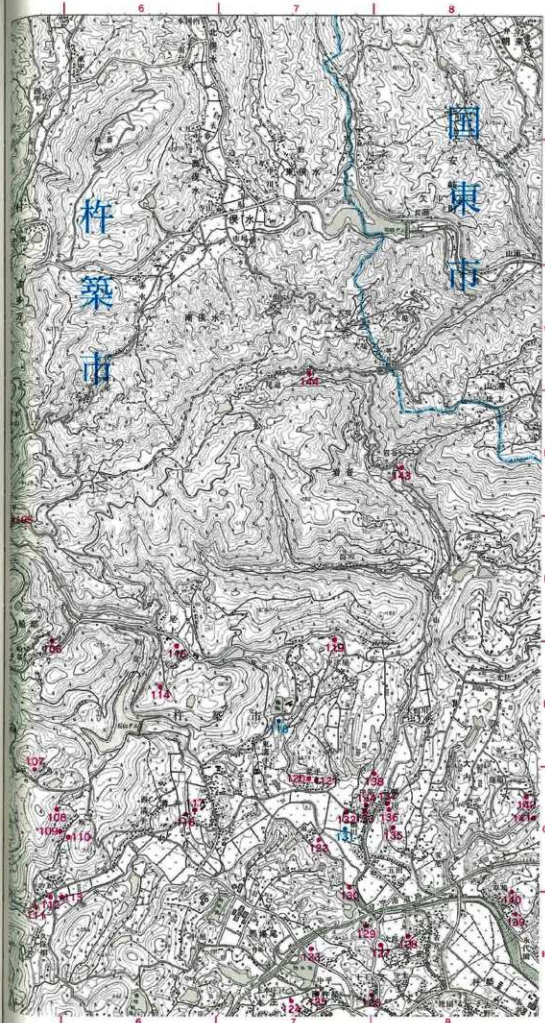
豊後高田市

杵築市



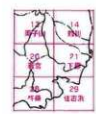
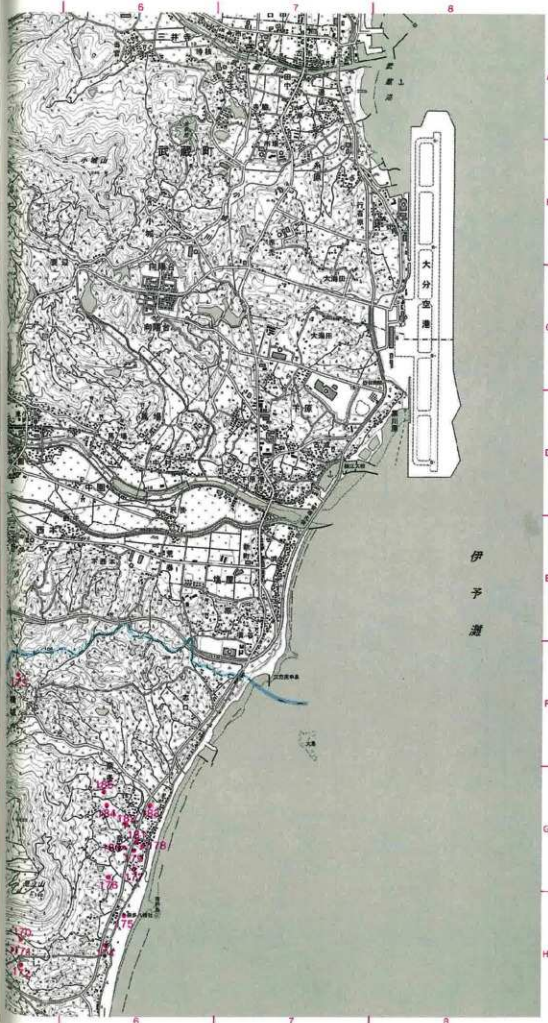
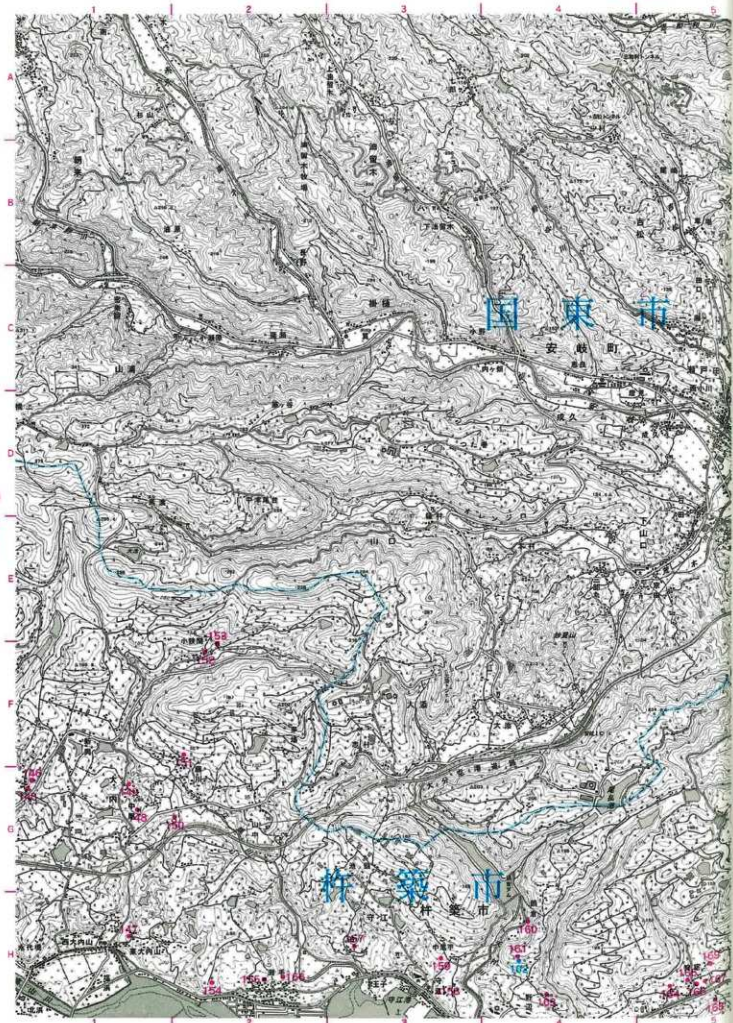


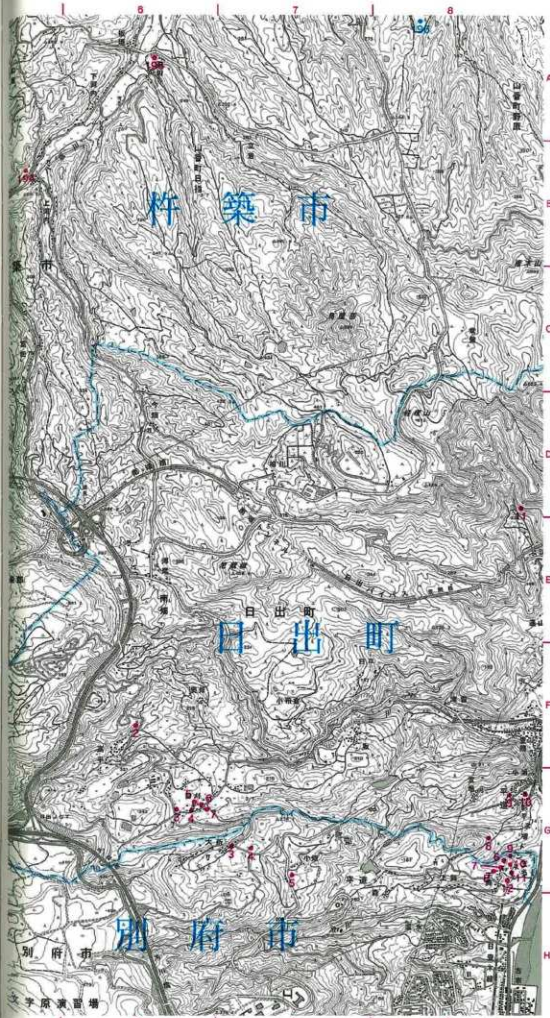
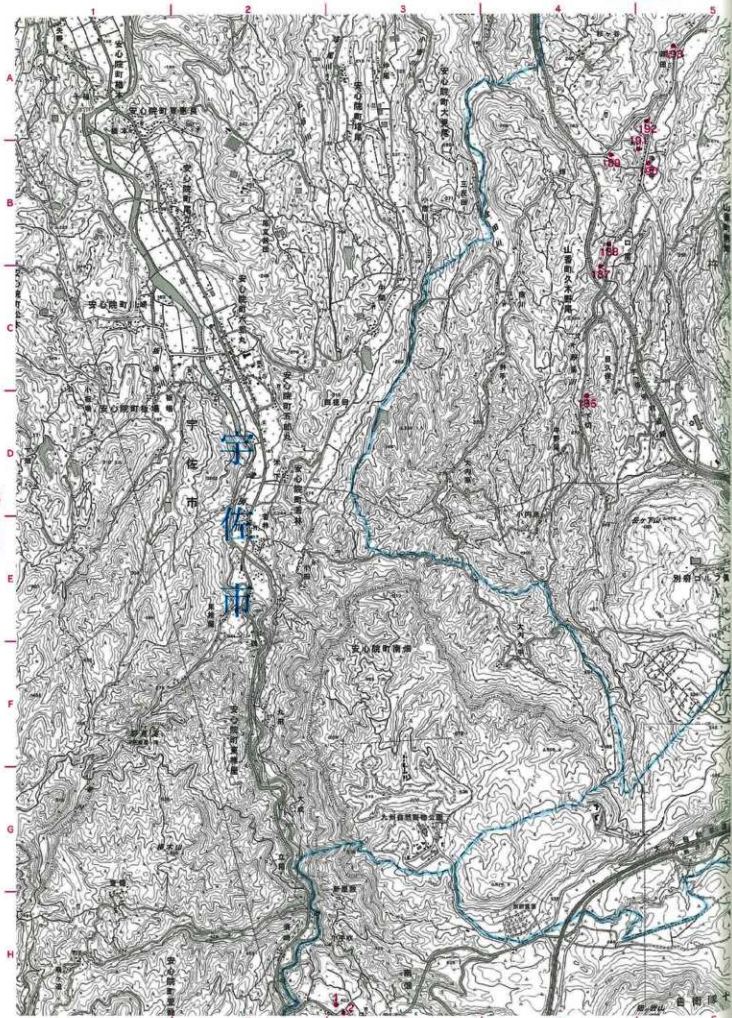
19 立石

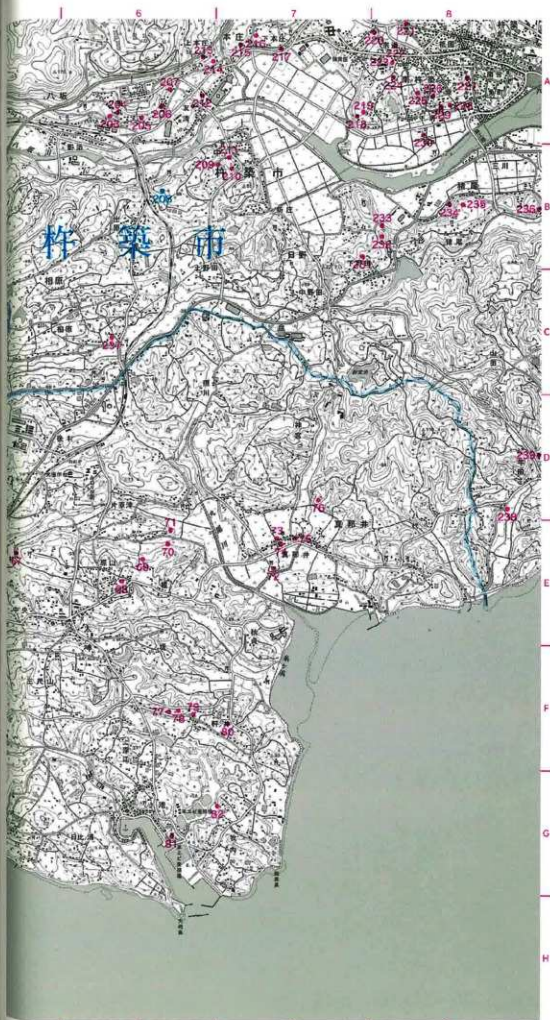
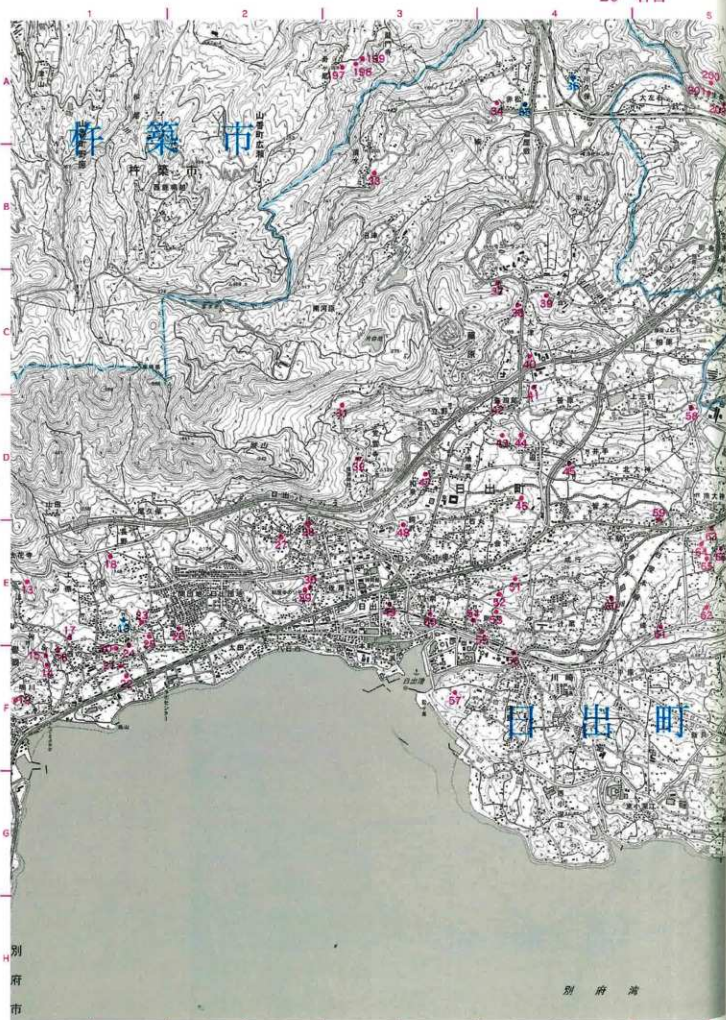


21 下原

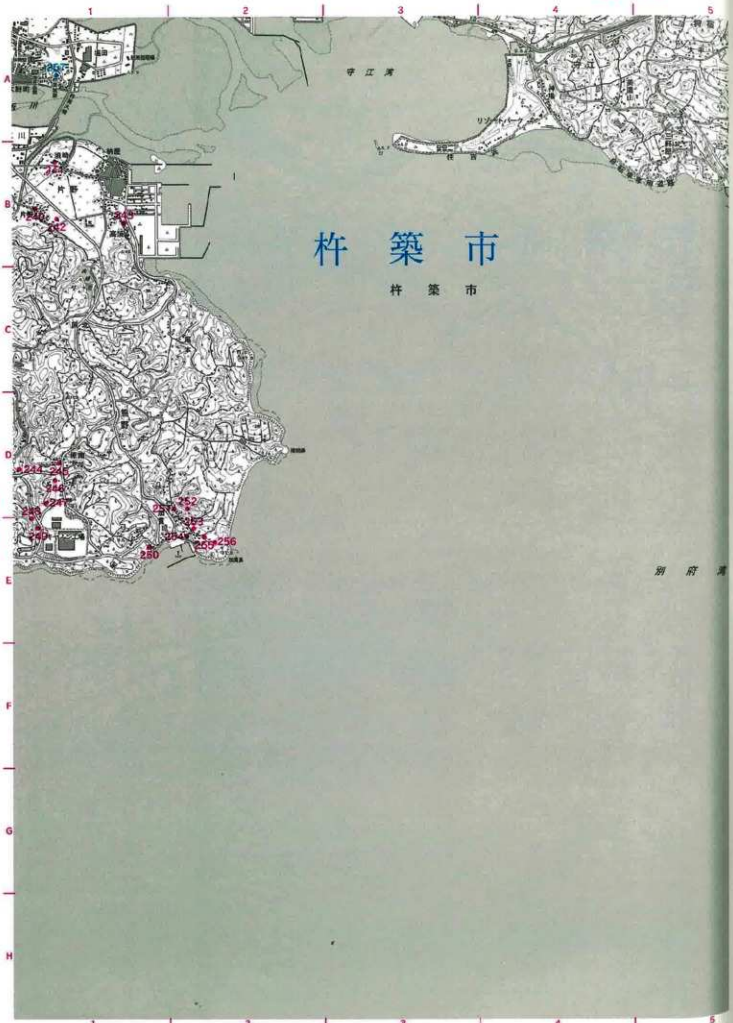




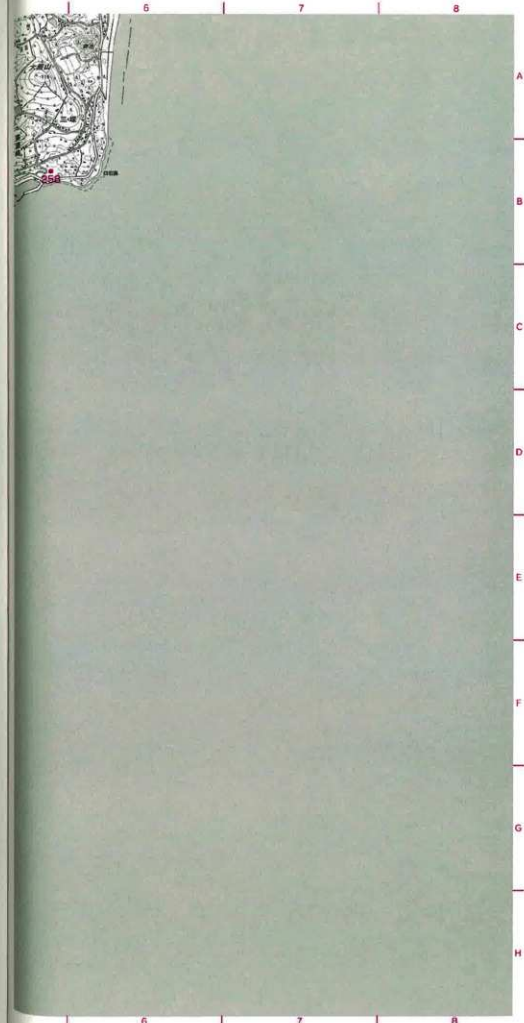


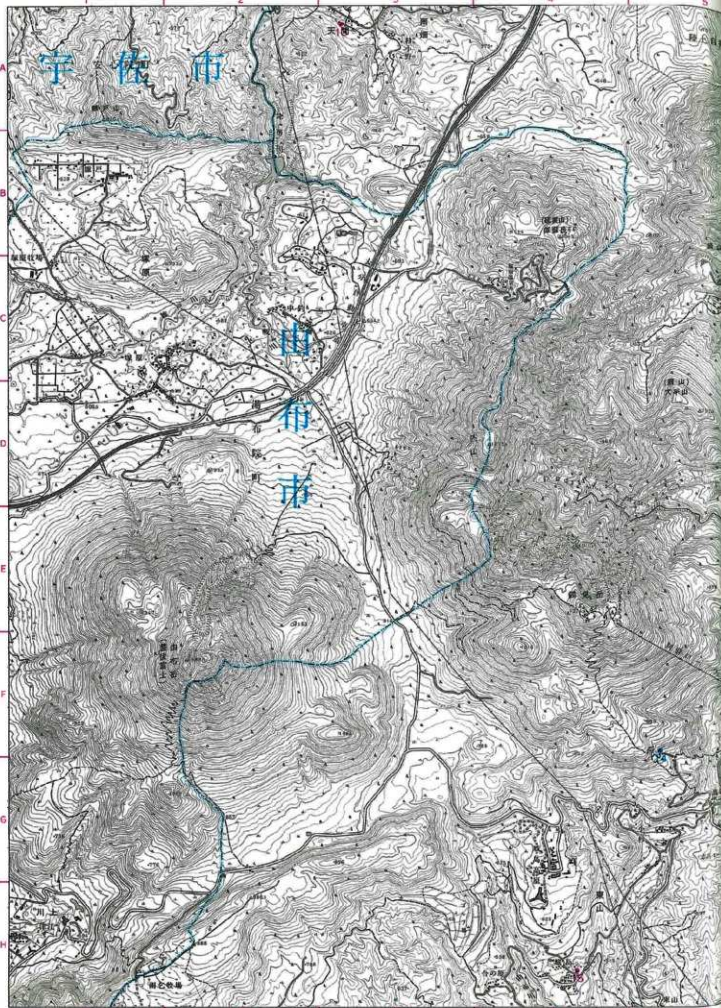




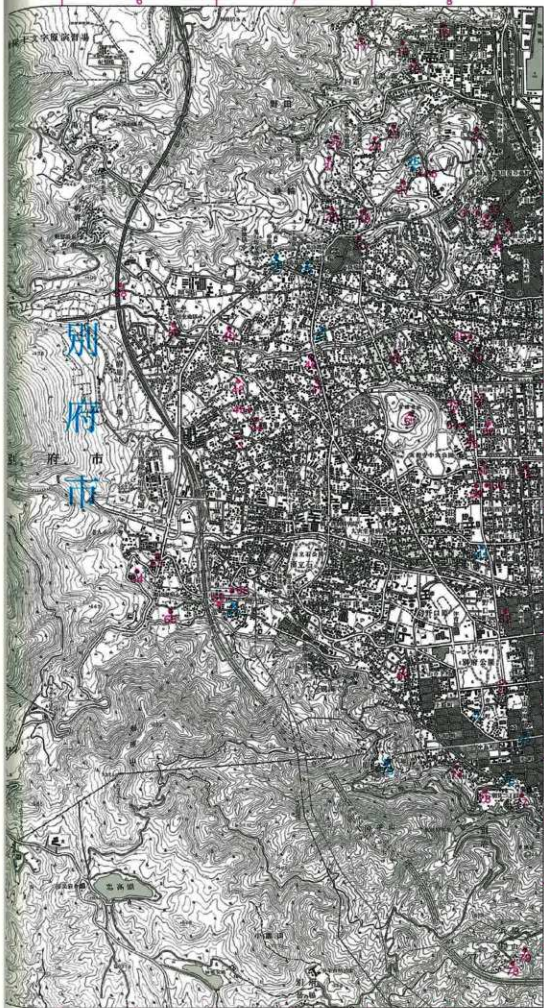


21 下原



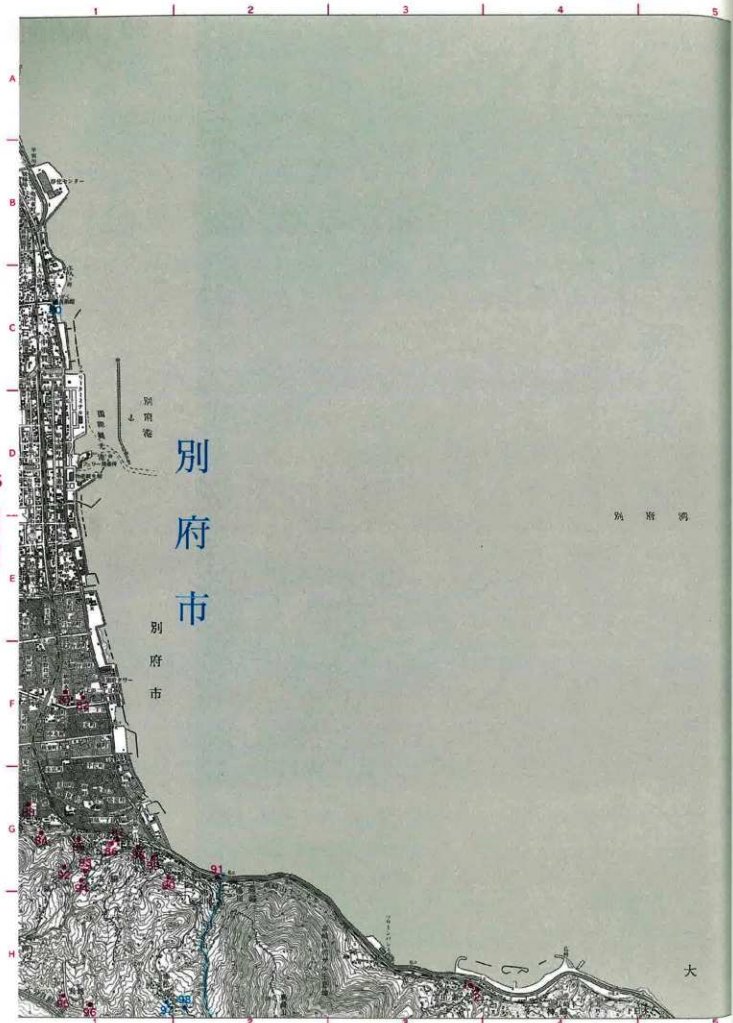


34 日出生台

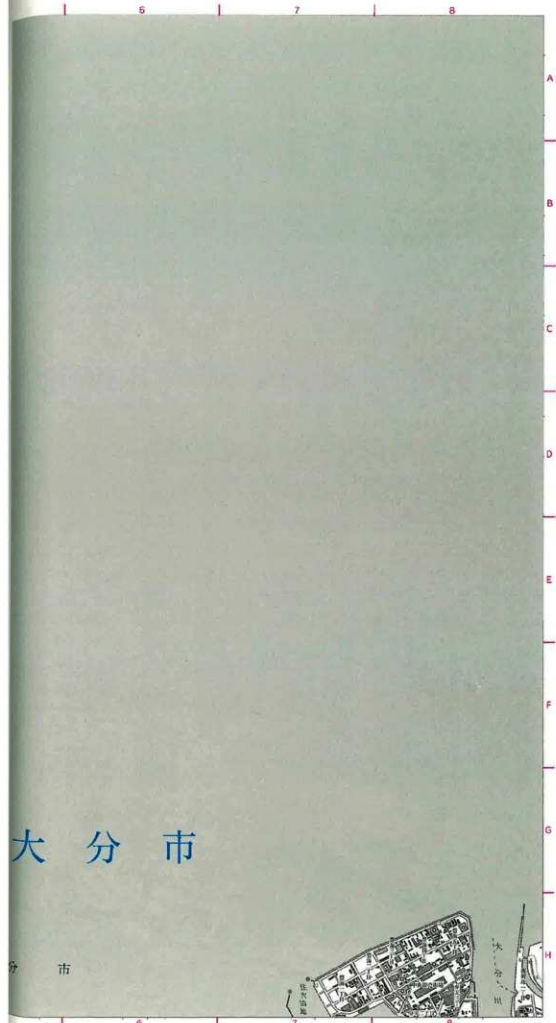


36 別府東部





35 別府西部

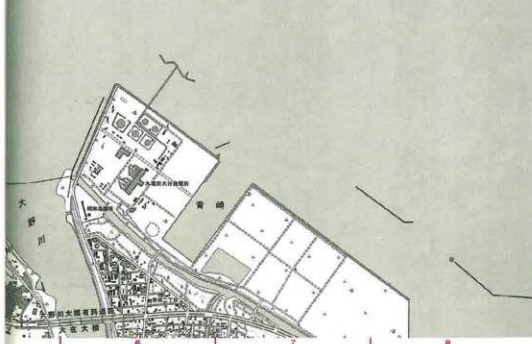
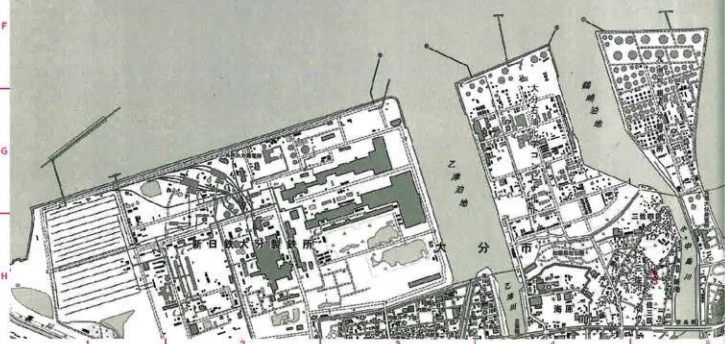


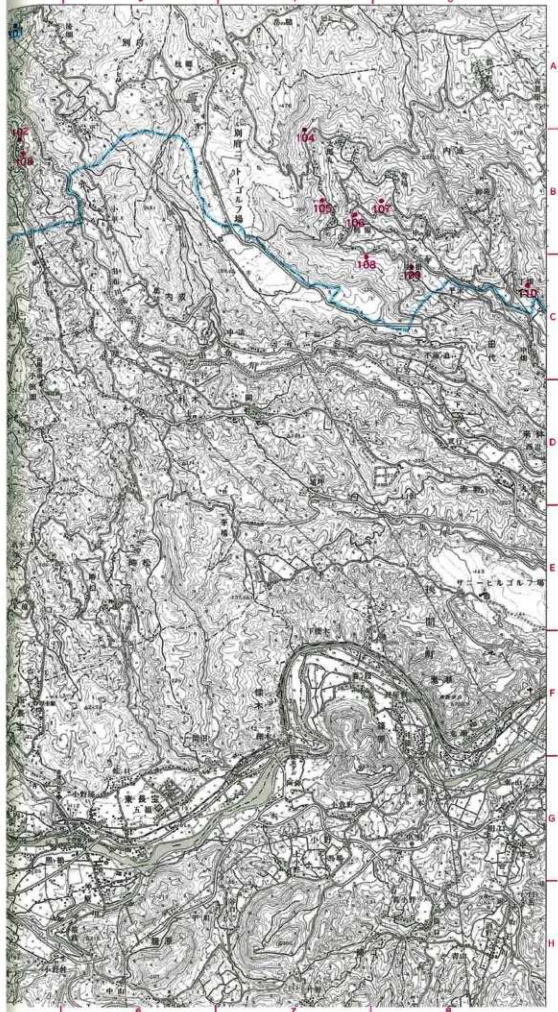
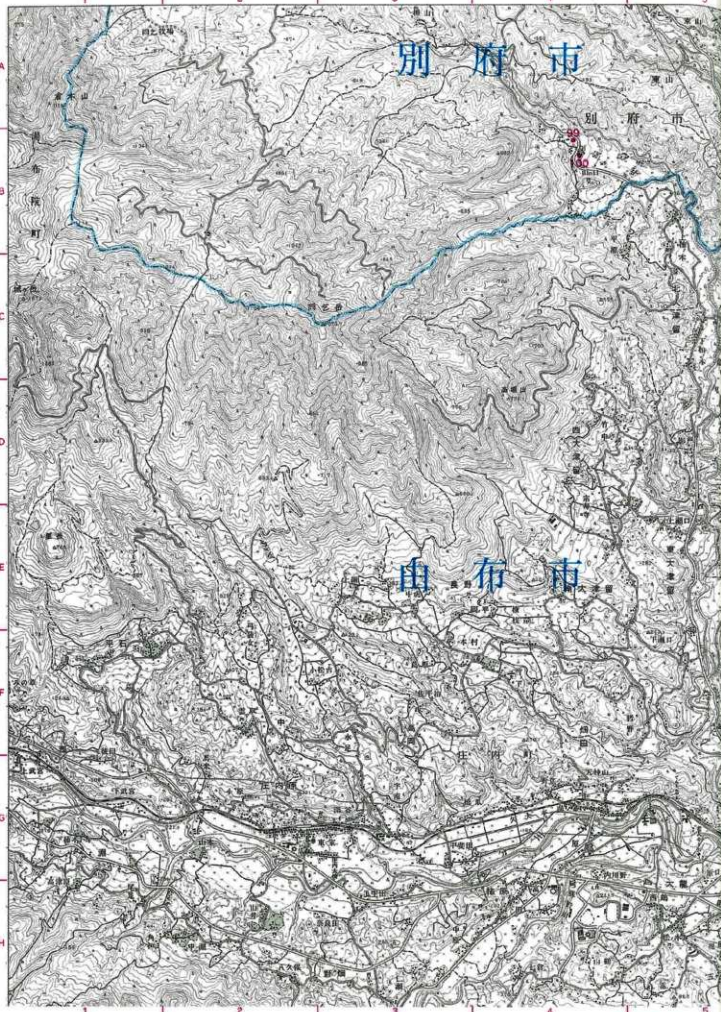
37 家島

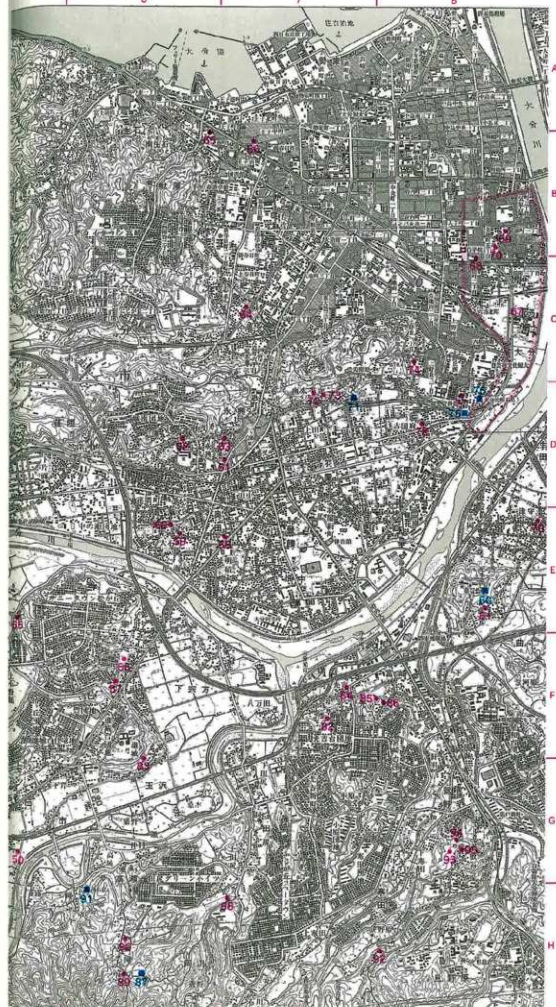
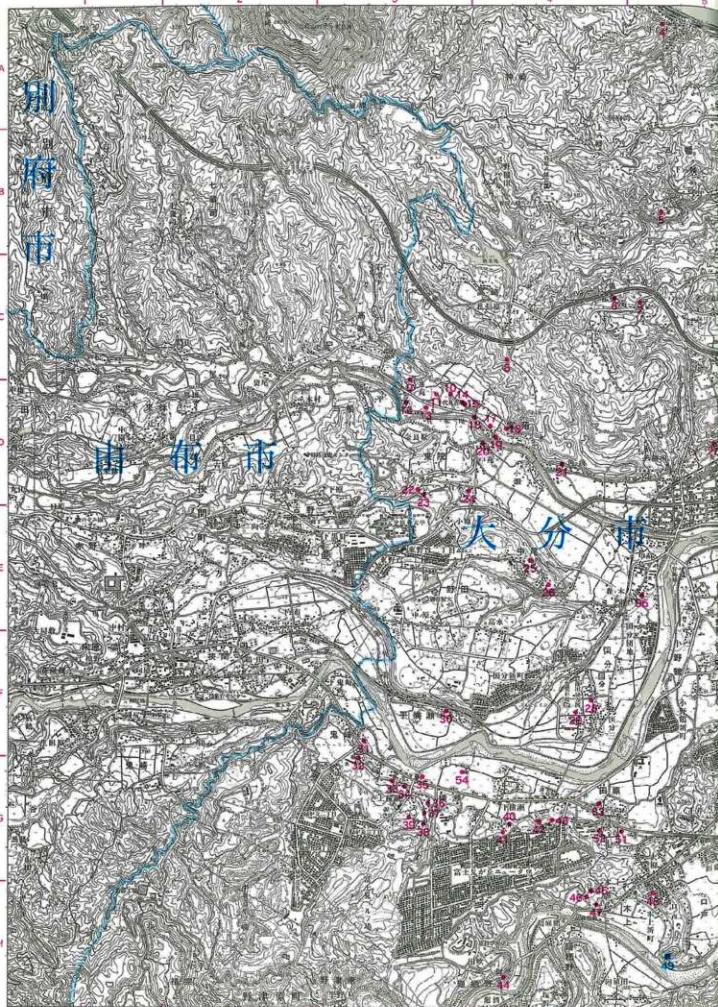


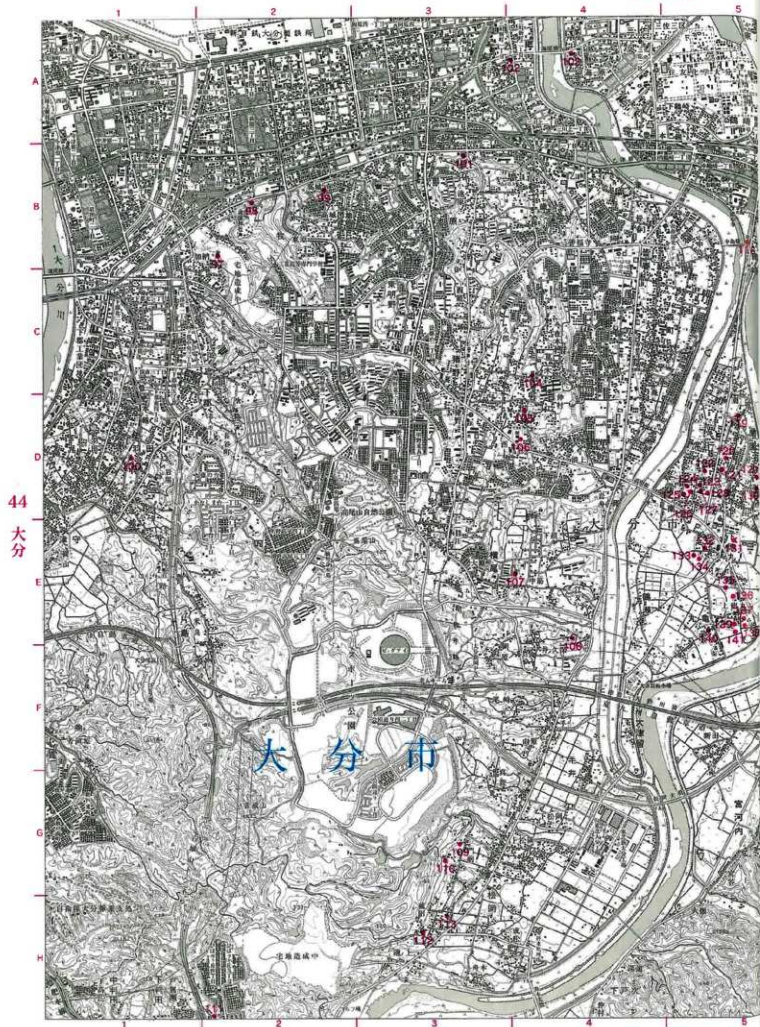
大分市

別府東部

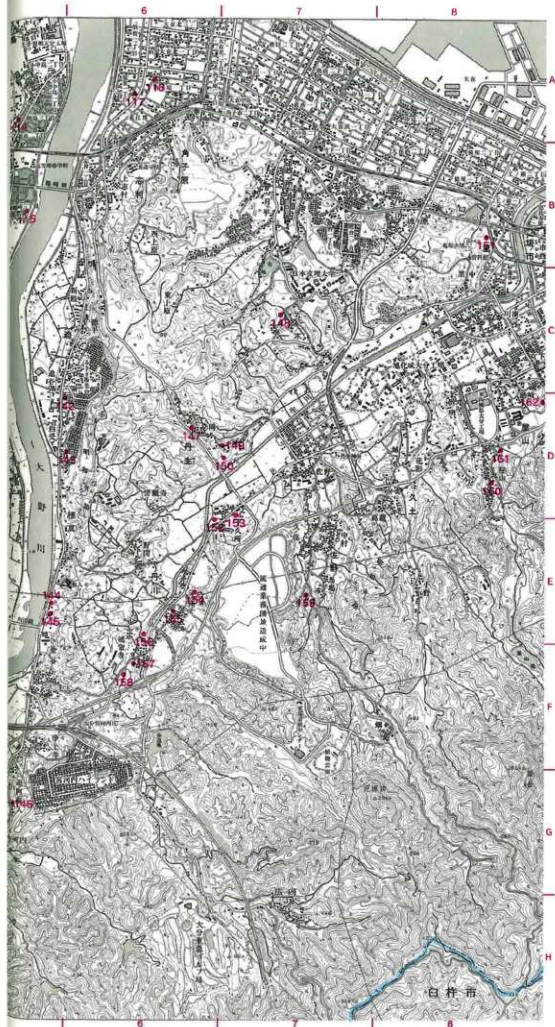






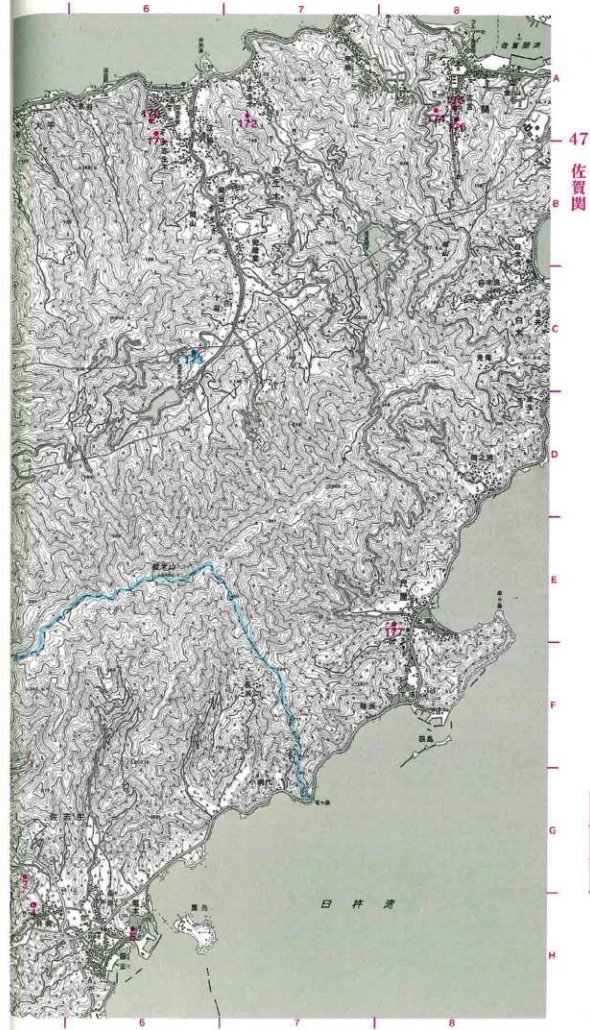
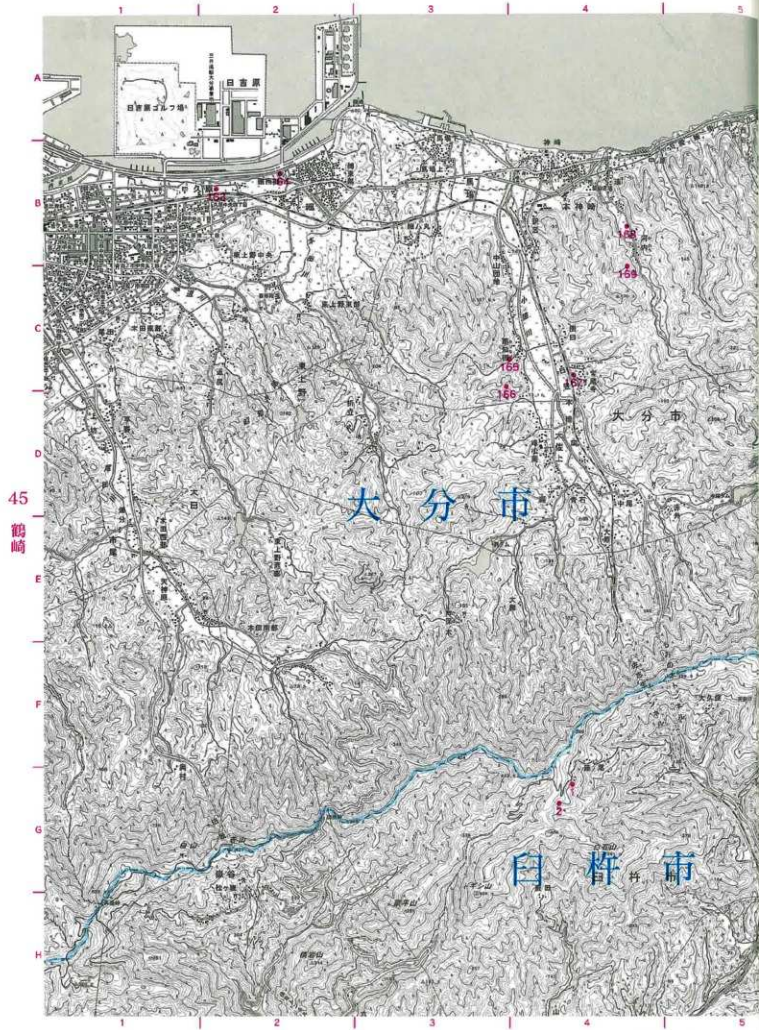


44 大分



46 坂ノ市

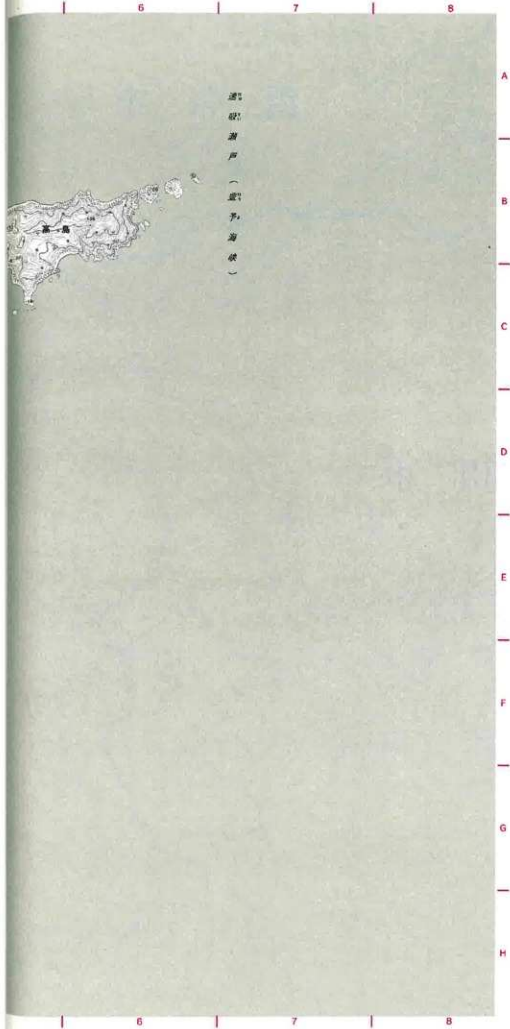








46  
坂ノ市

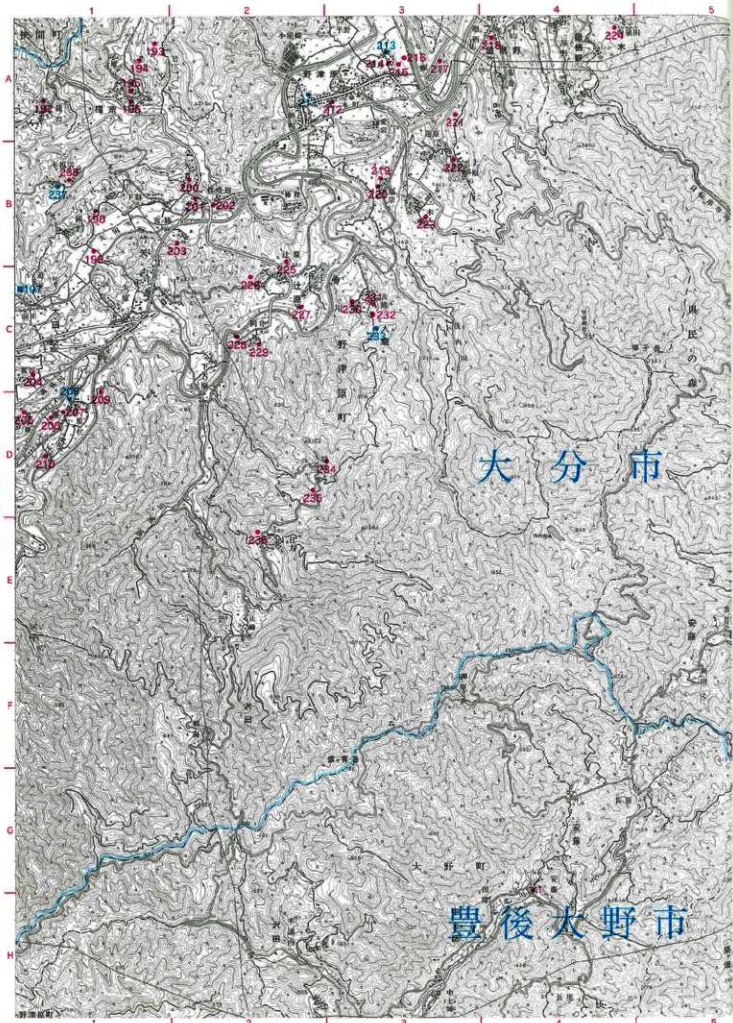


由布市

竹田市

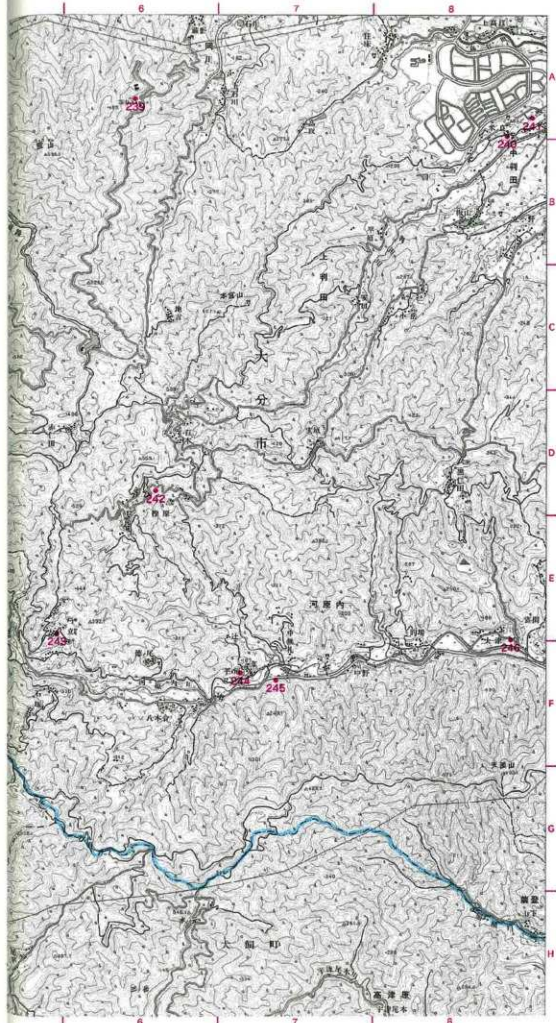
大分市

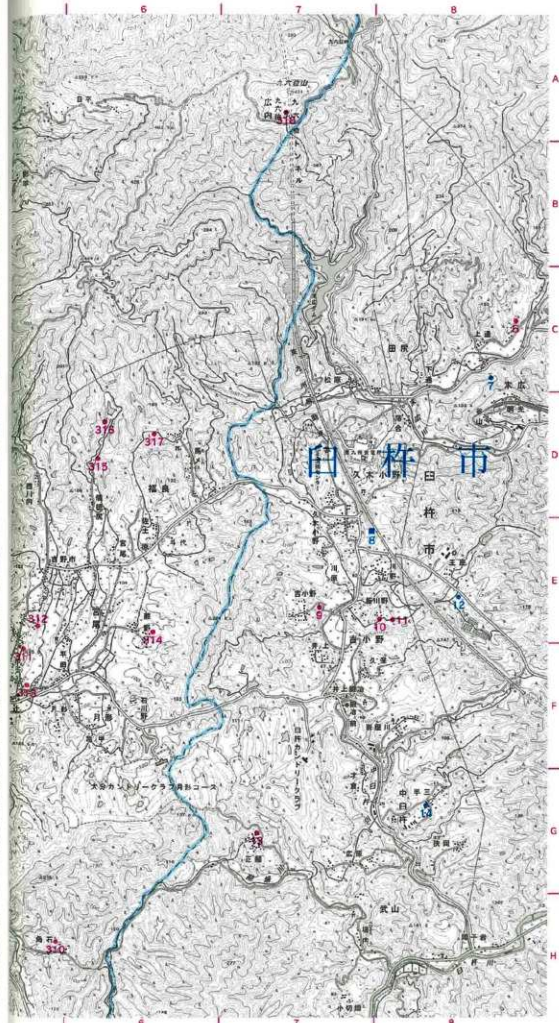
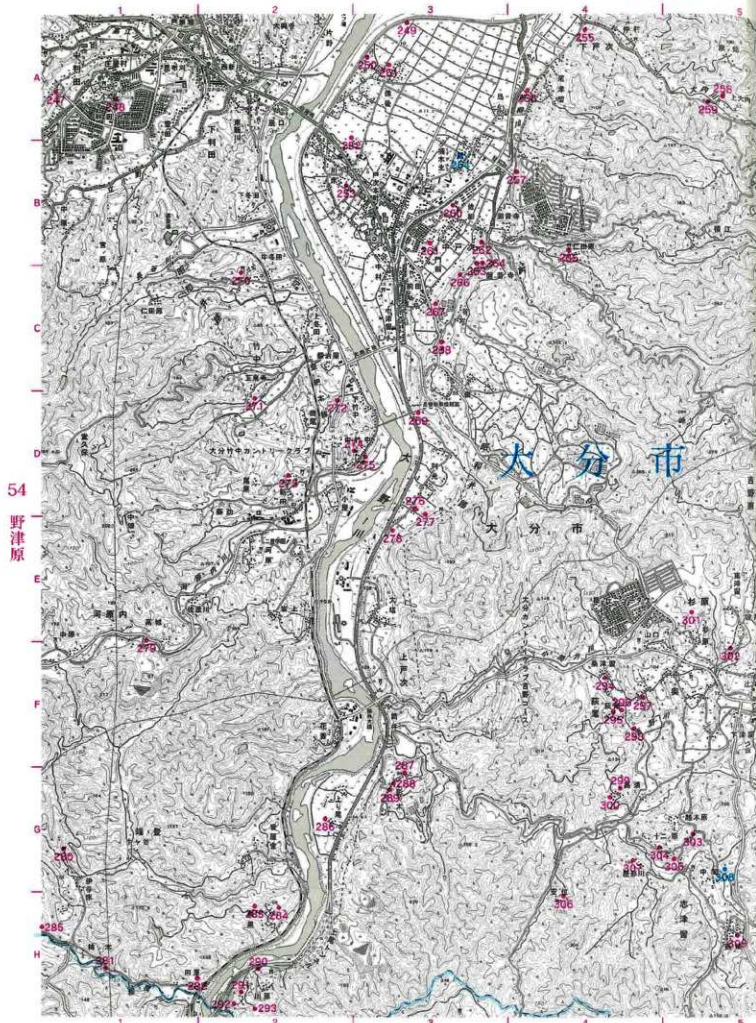


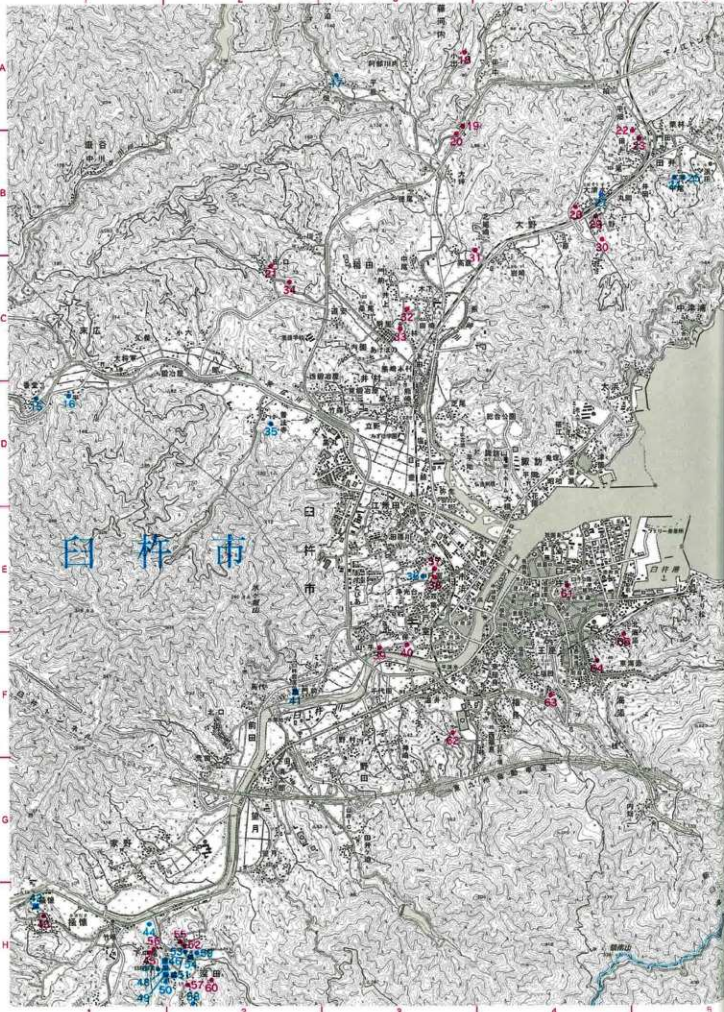


大分市

豊後大野市

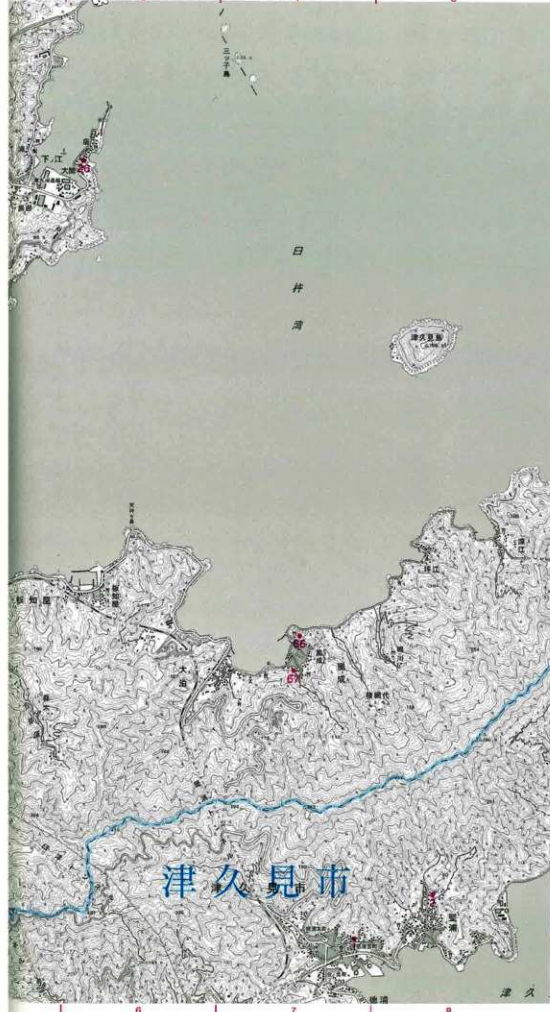






55 戸次本町

白杵市

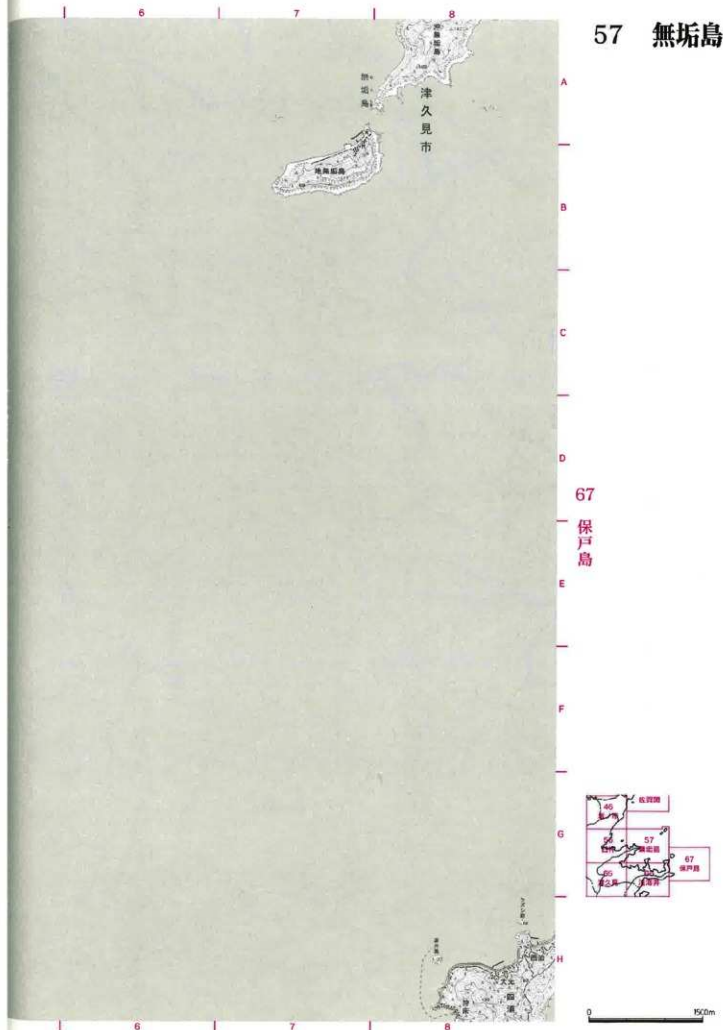
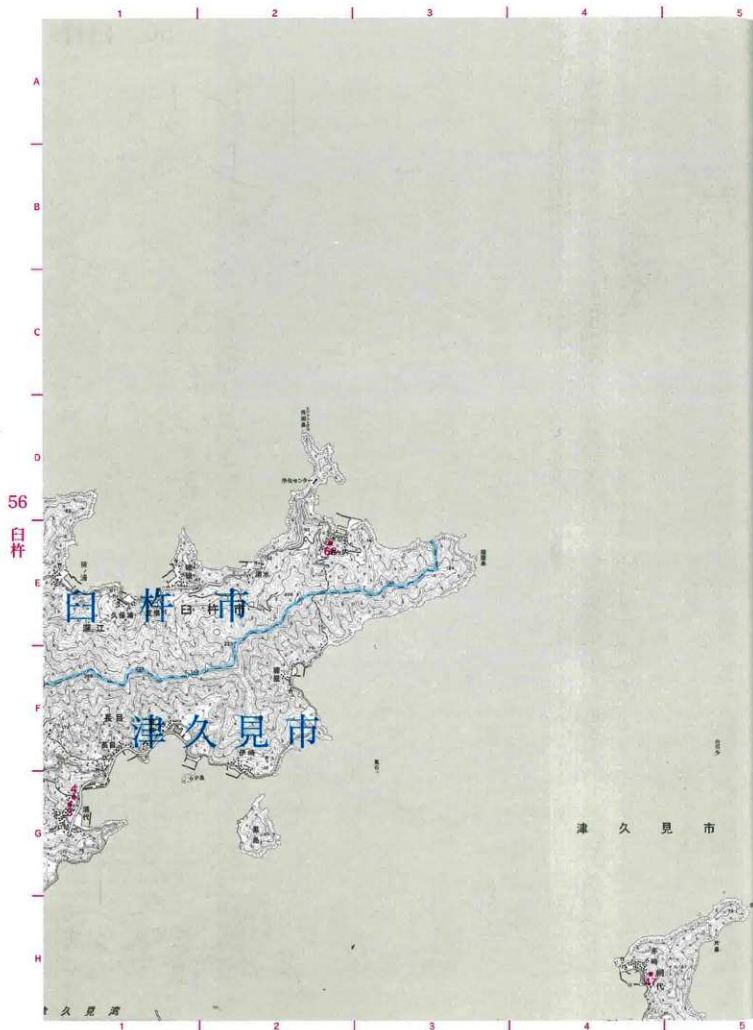


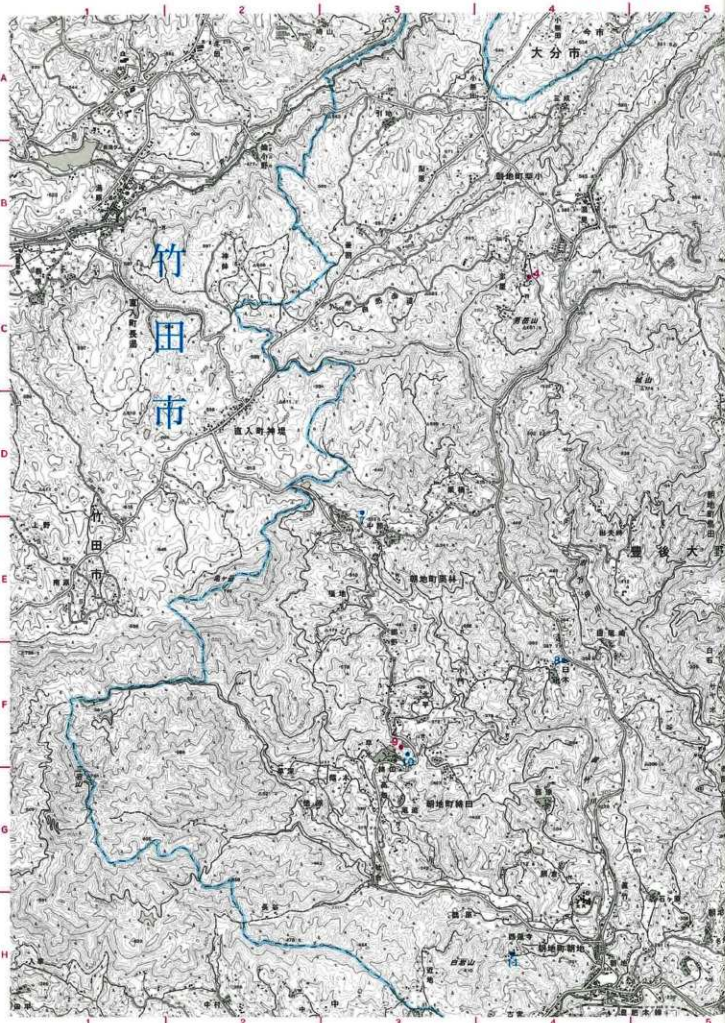
57 無垢島

津久見市



0 500m



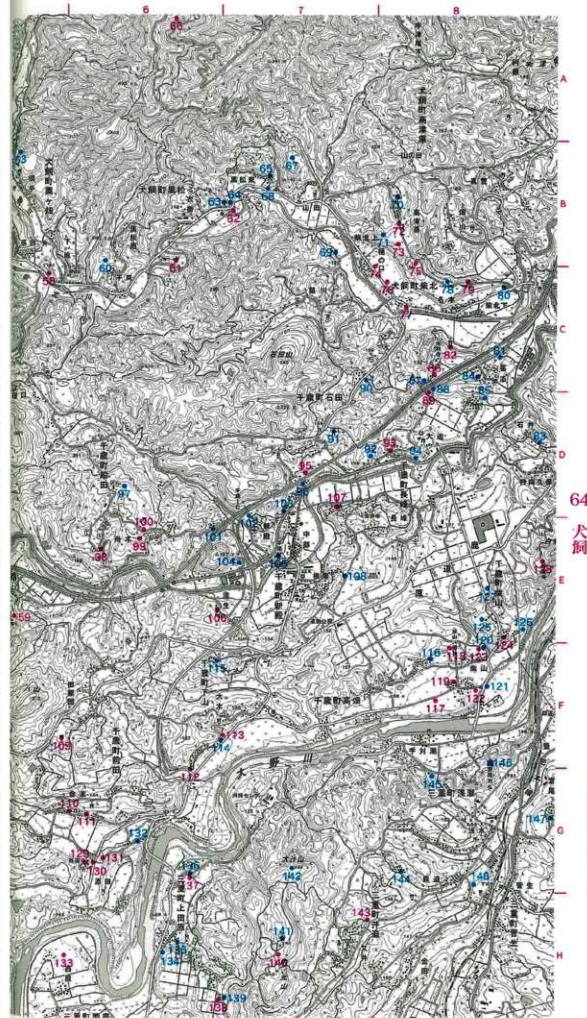
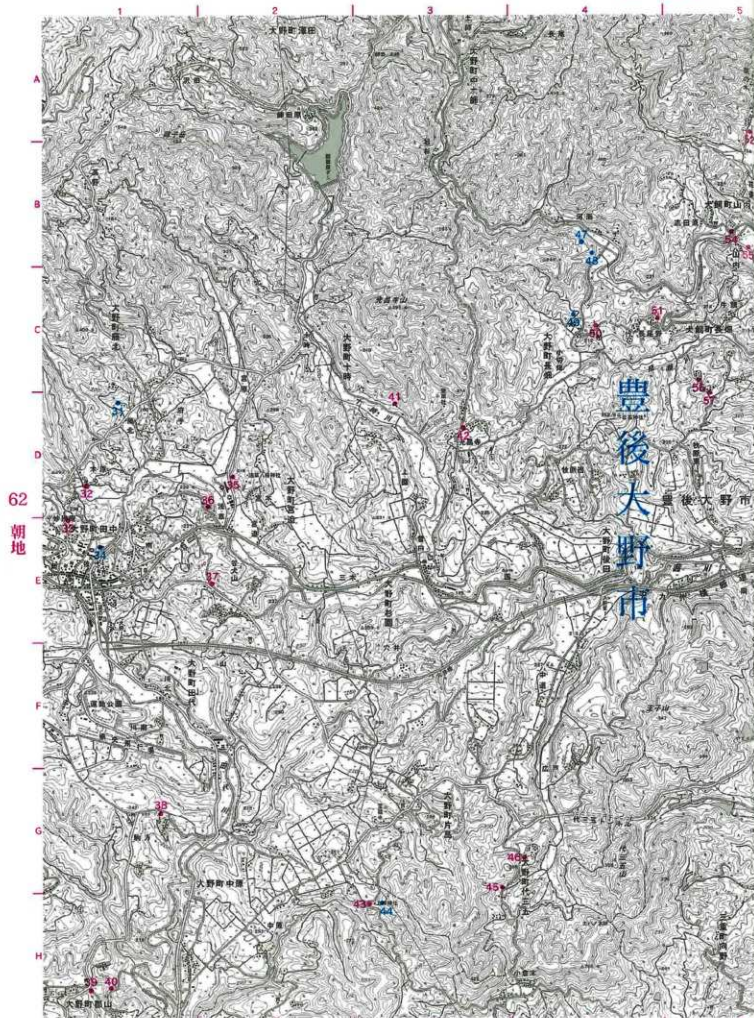


61 久住

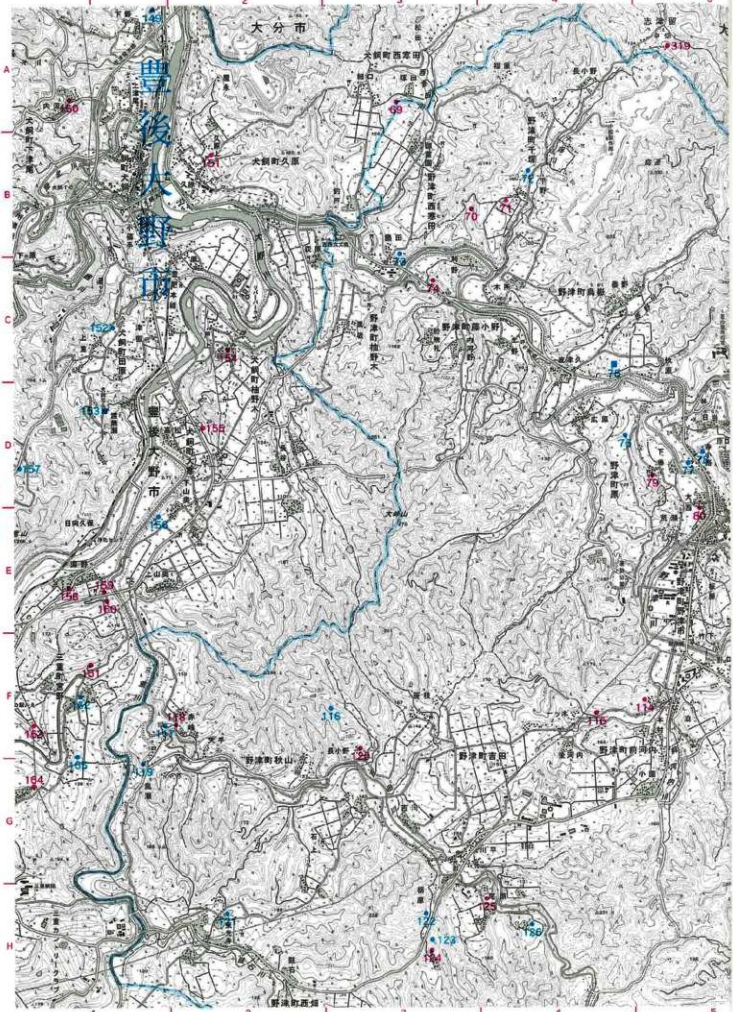


63 田中

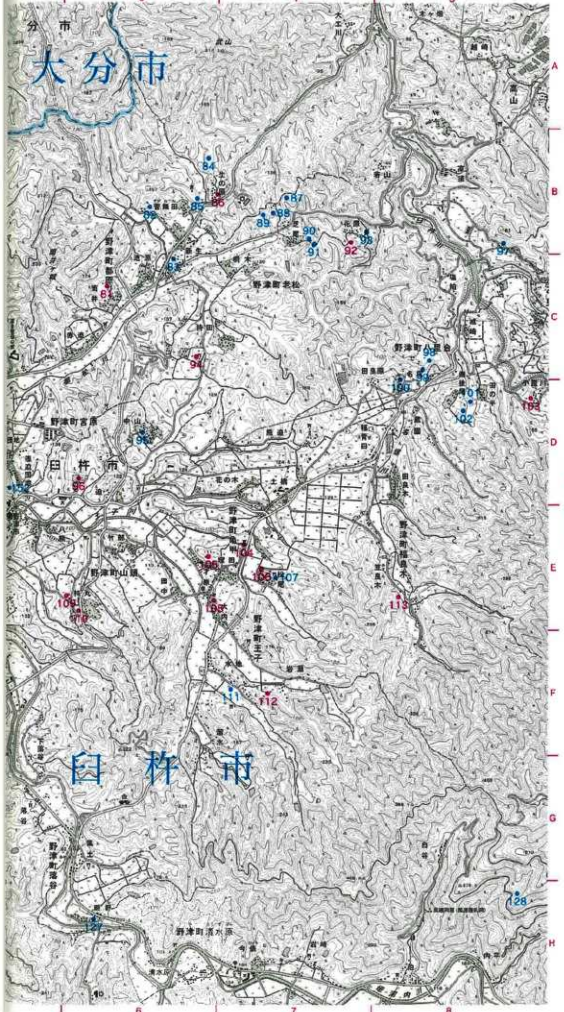








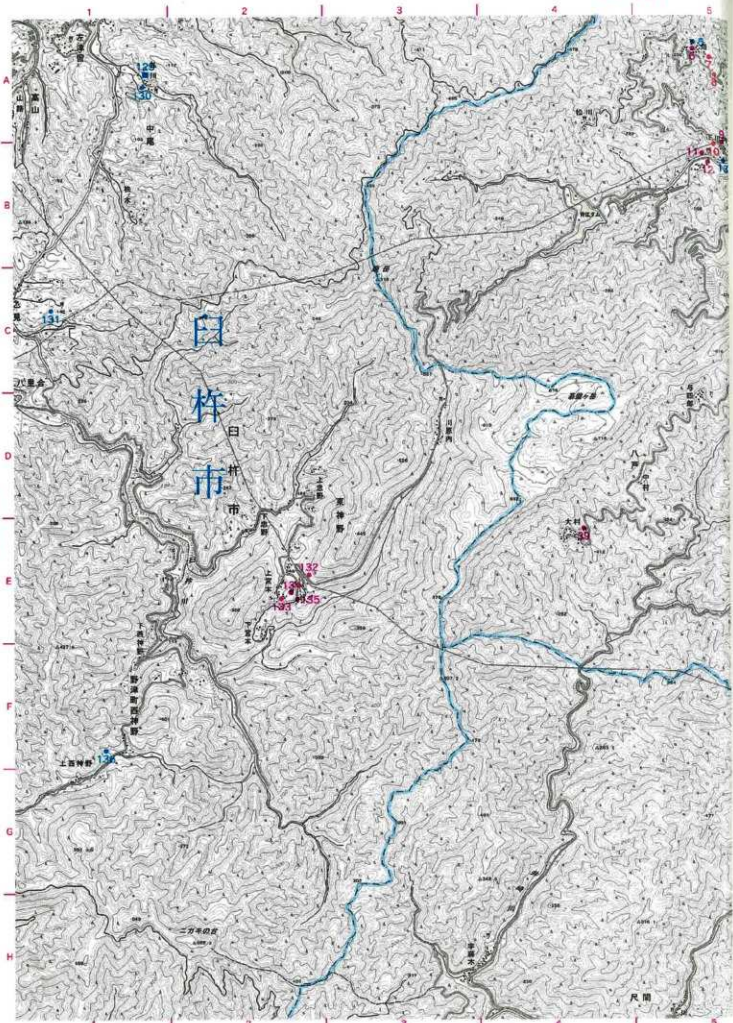
63 山中



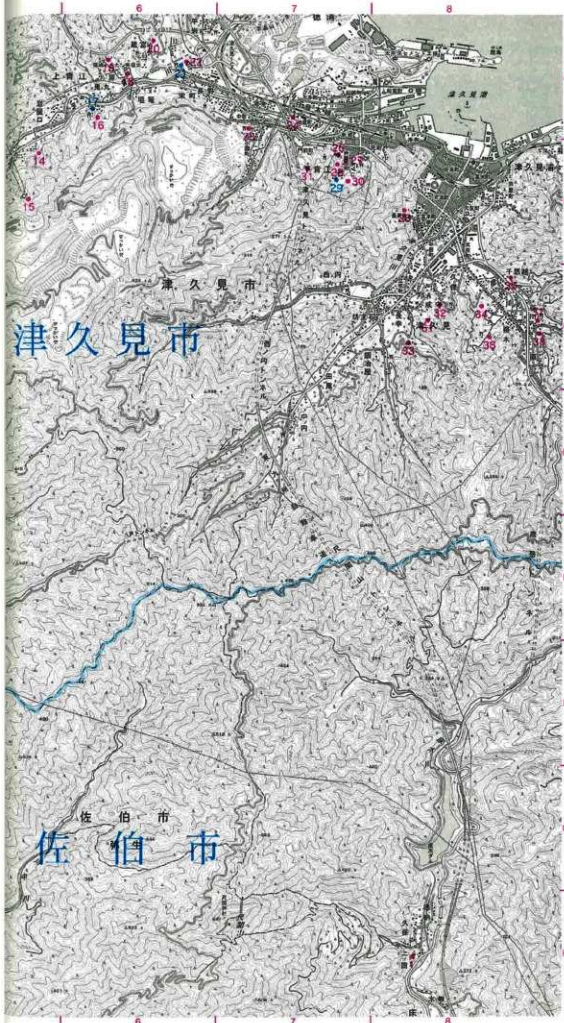
65 津久見

64 犬飼	55 戸次本町	64 津久見
63 山中	64 大分市	65 津久見
71 高瀬町	72 俣植山	73 高瀬町





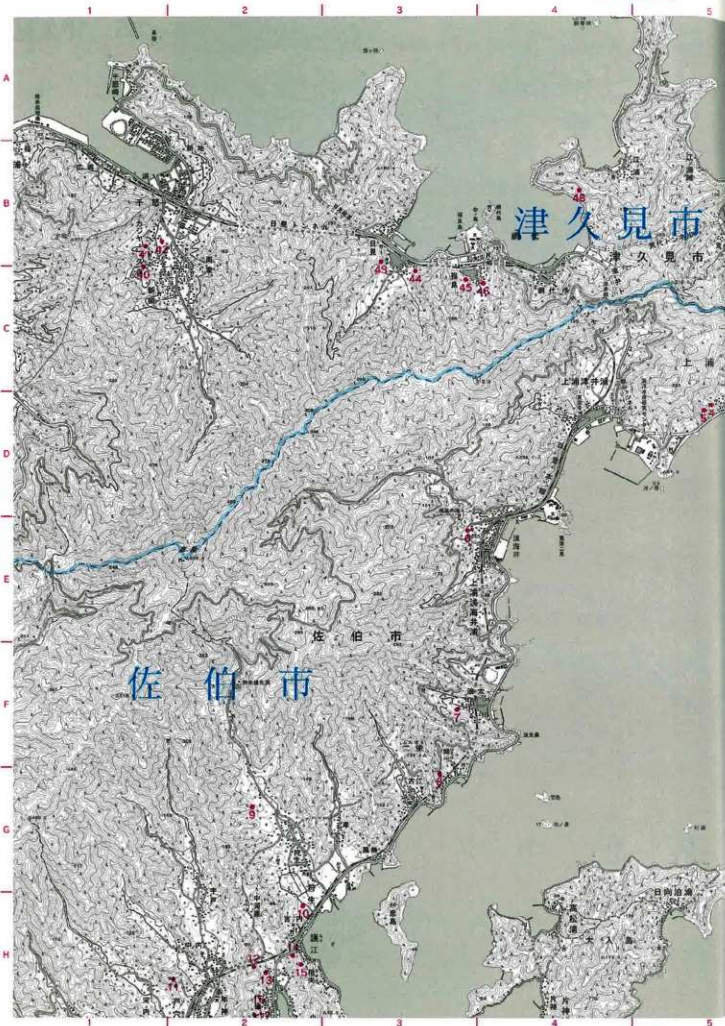
白杵市



津久見市

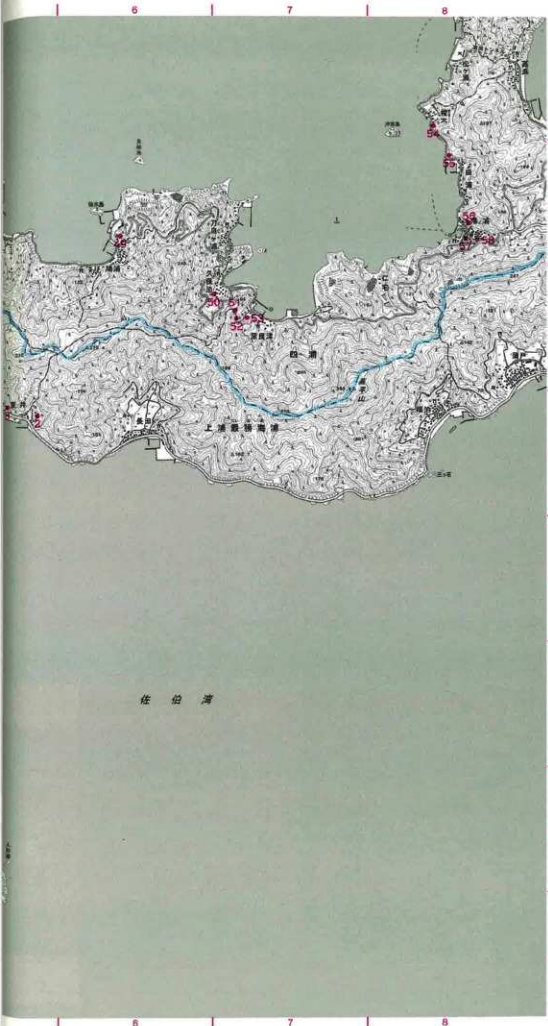
佐伯市





佐伯市

津久見市



佐伯湾



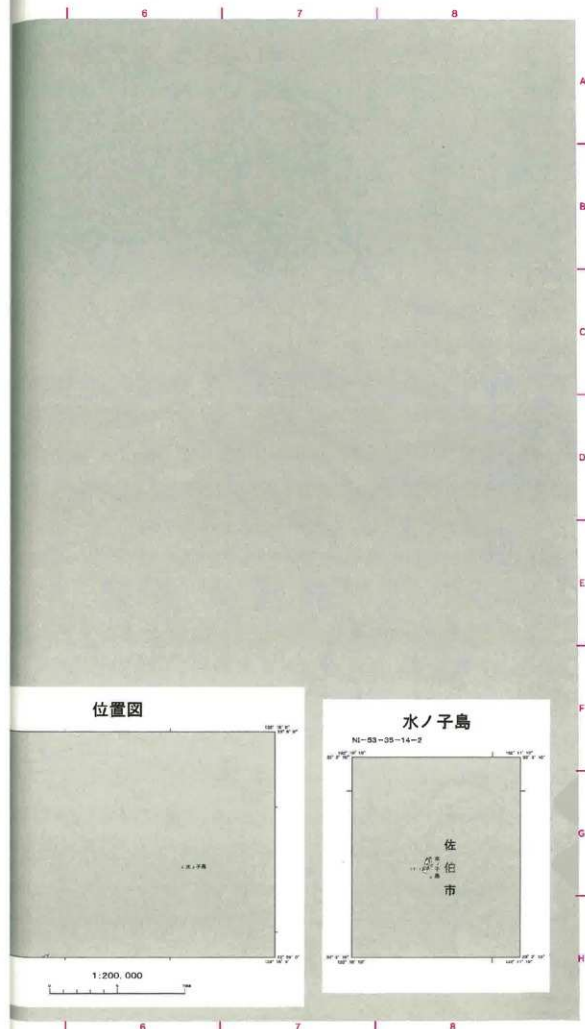


57 無垢島

66 浅海井

津久見市

佐伯市



位置図

水ノ子島

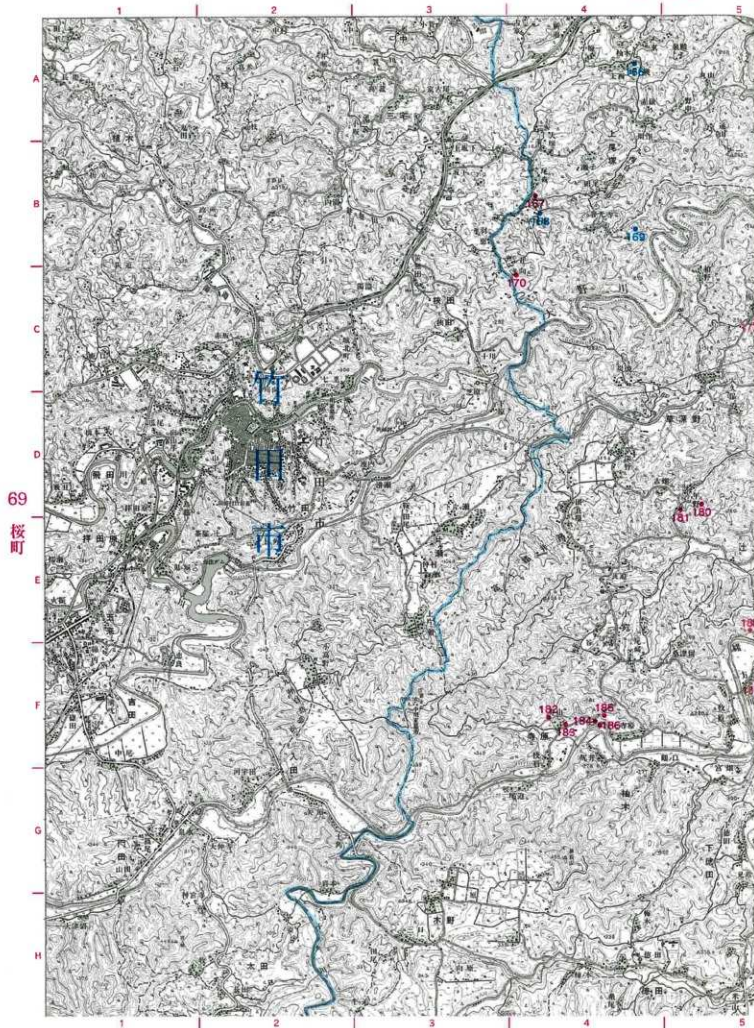
NI-53-05-14-2

佐伯市

1:200,000



0 1000m

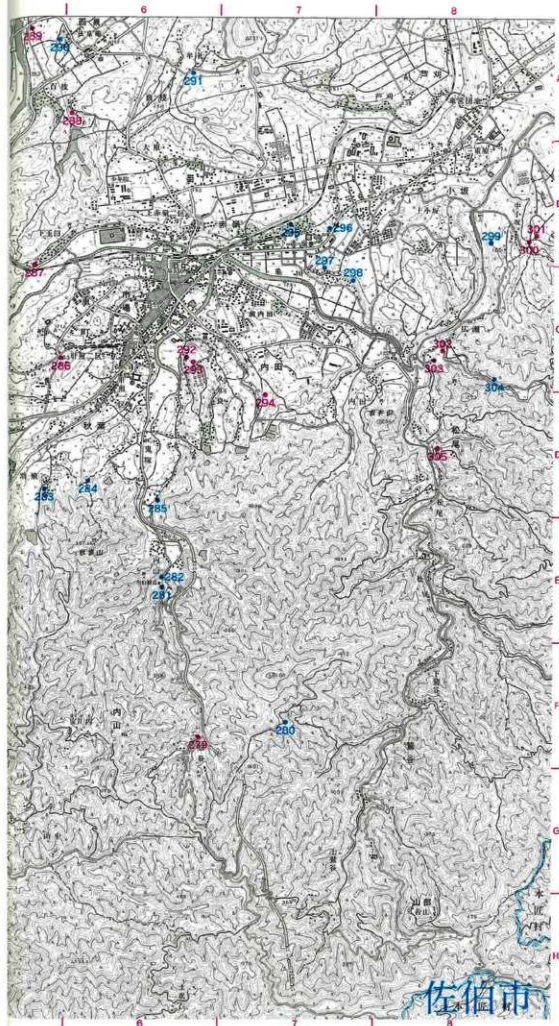
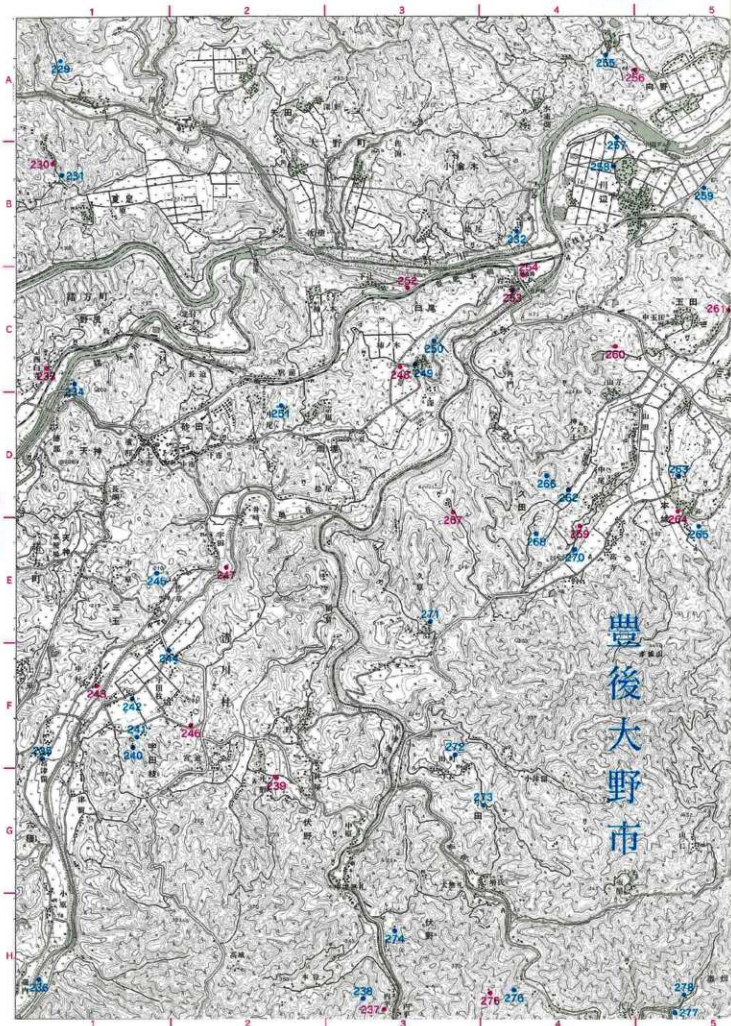


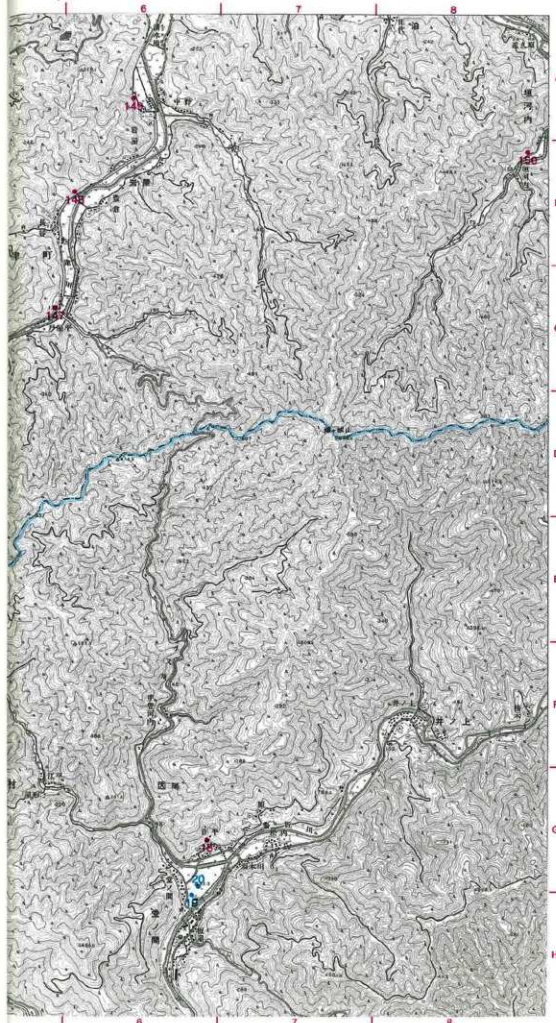
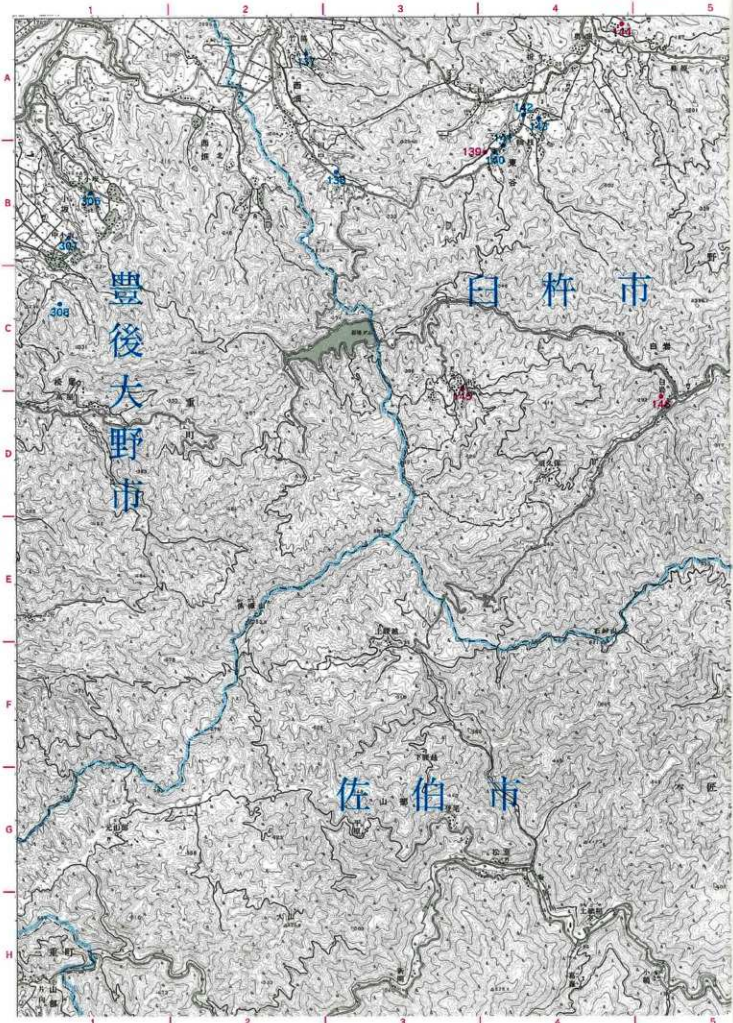
69 桜町

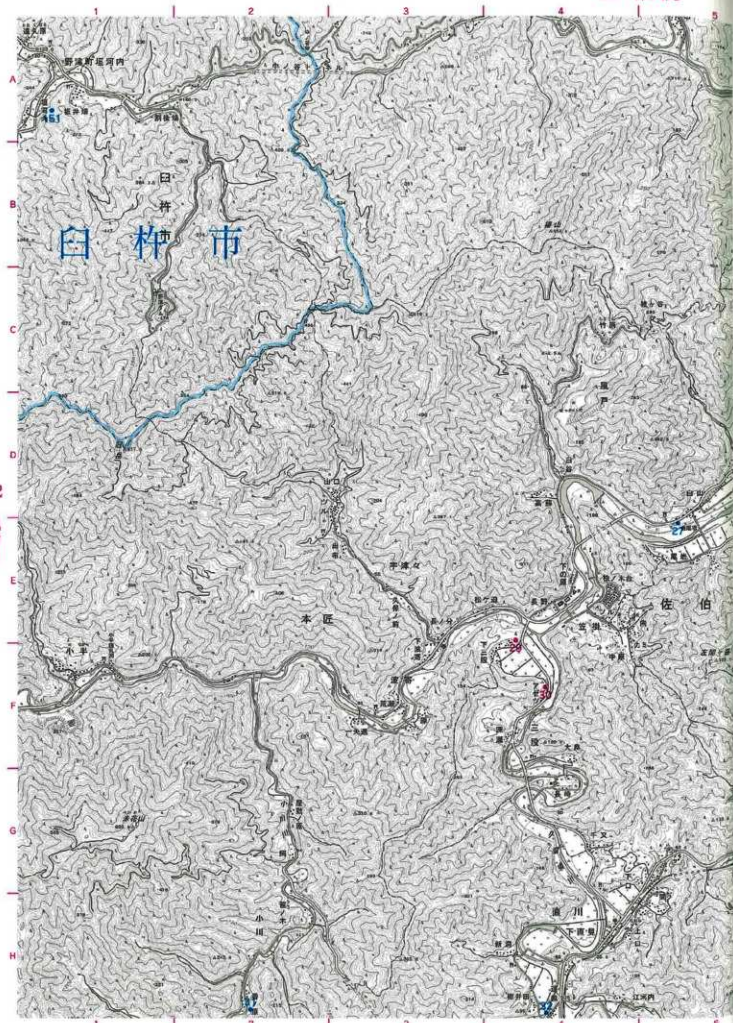


71 三重町

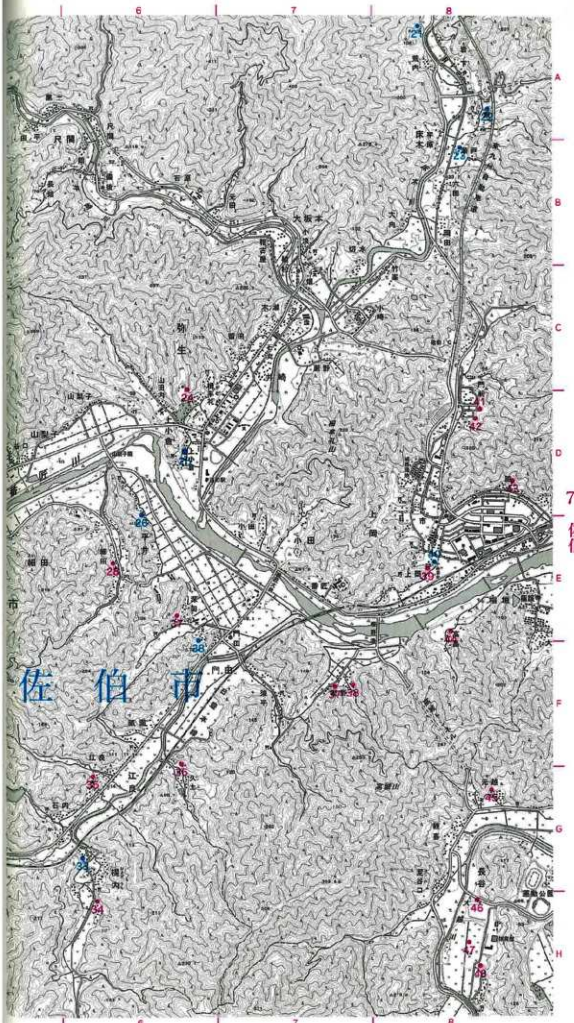




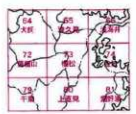




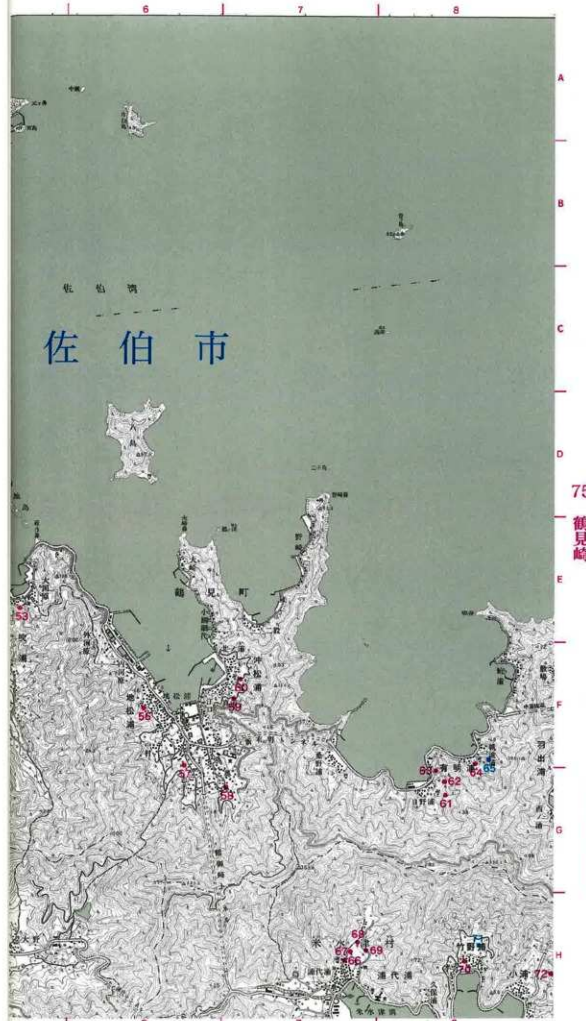
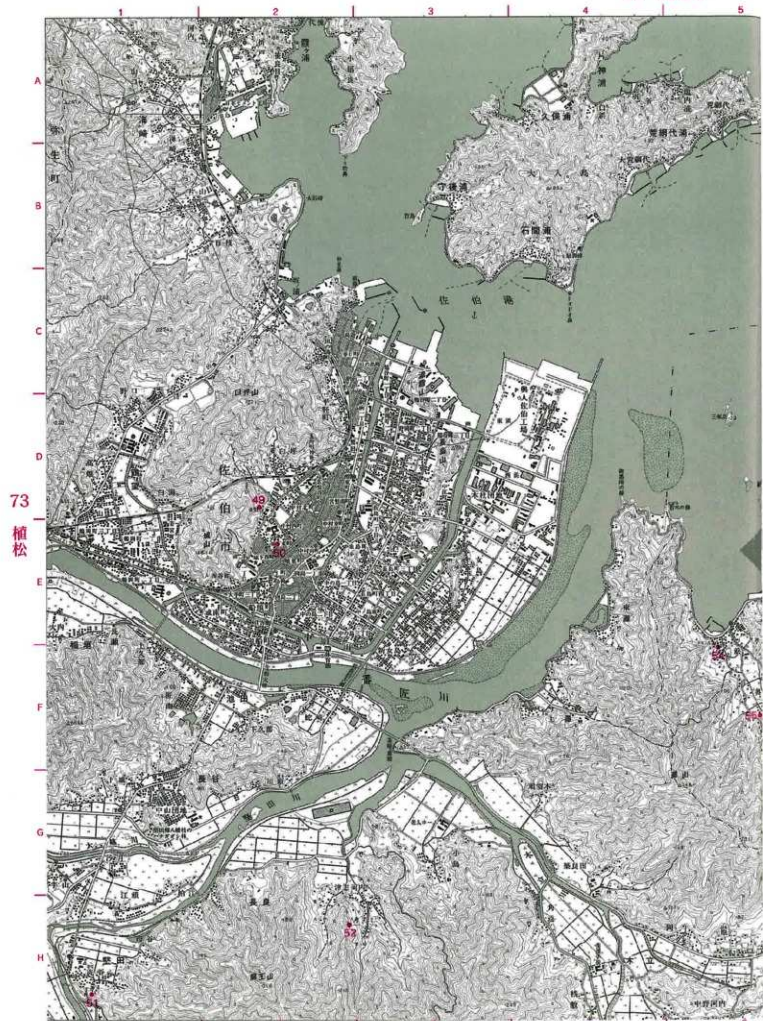
72 佩楯山

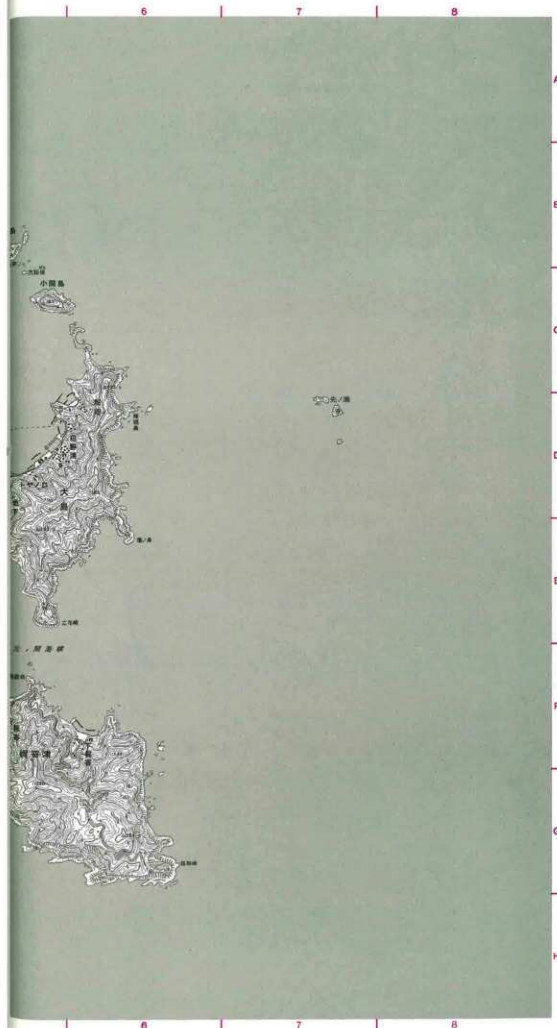


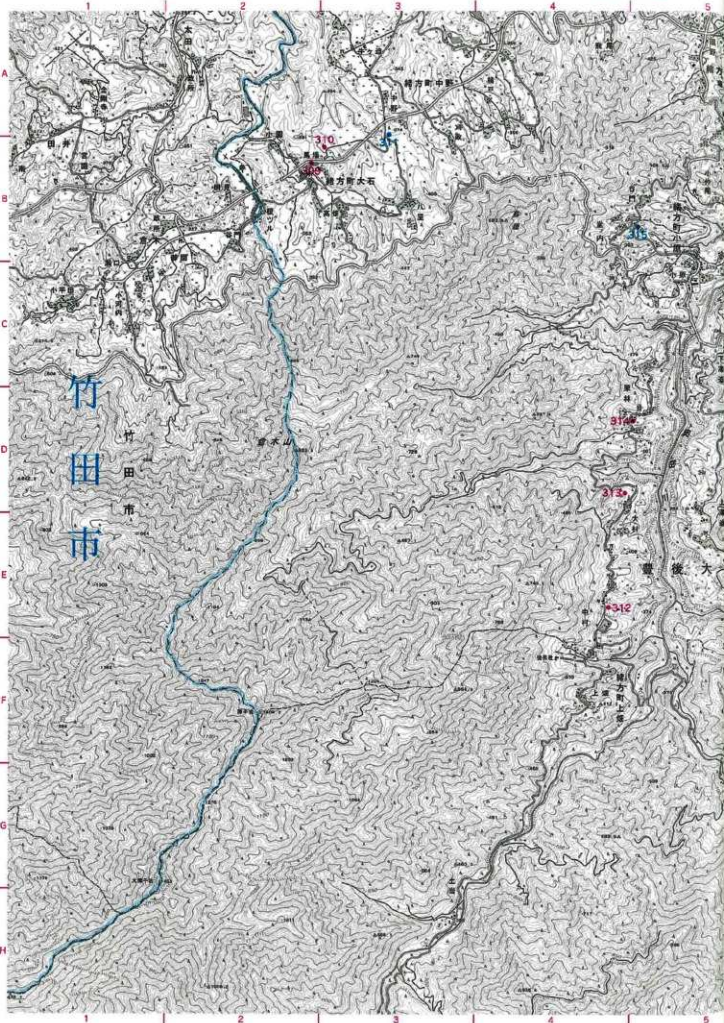
74 佐伯





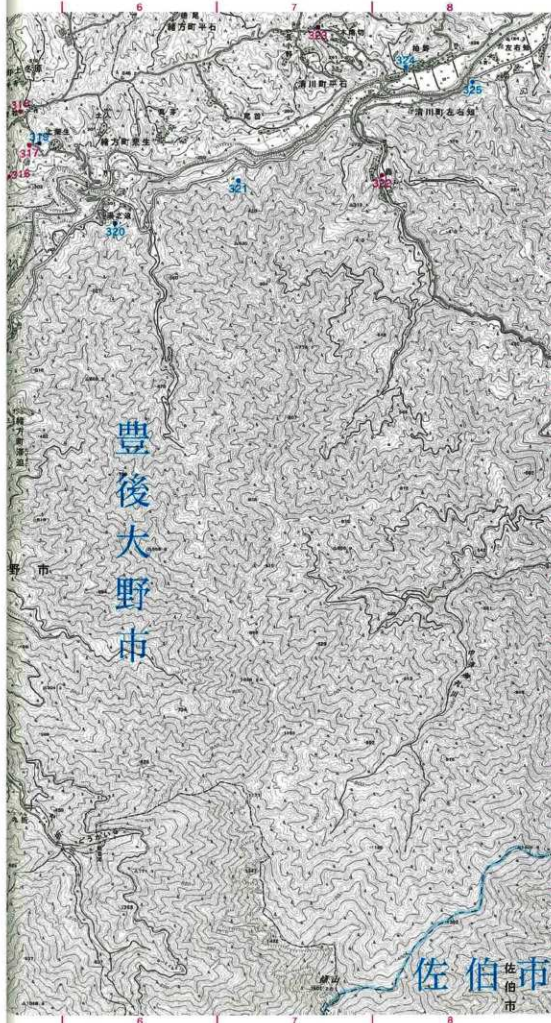






76 豊後柏原

竹田市



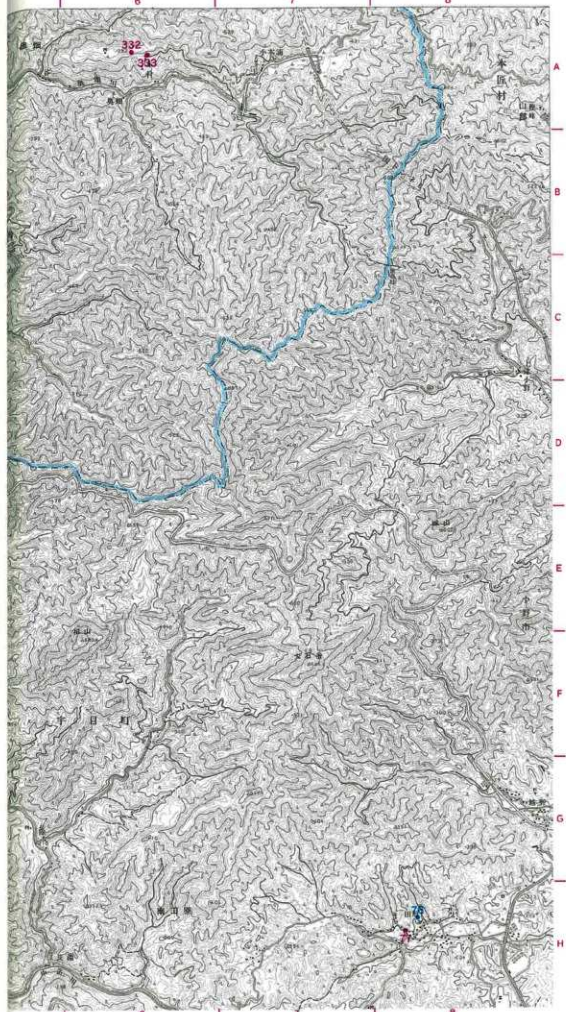
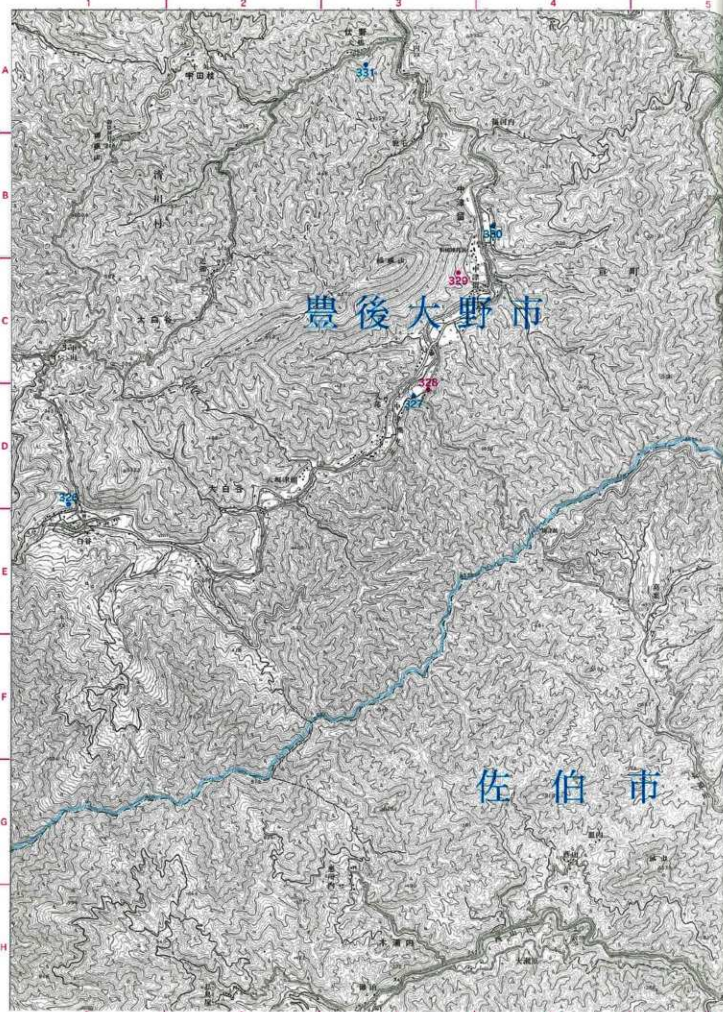
78 中津留

豊後大野市

佐伯市



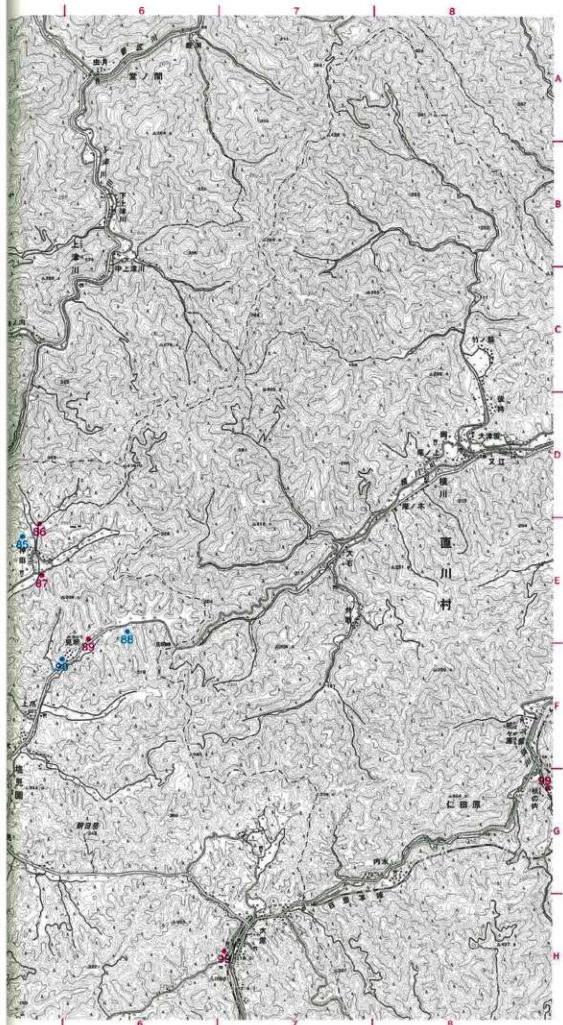
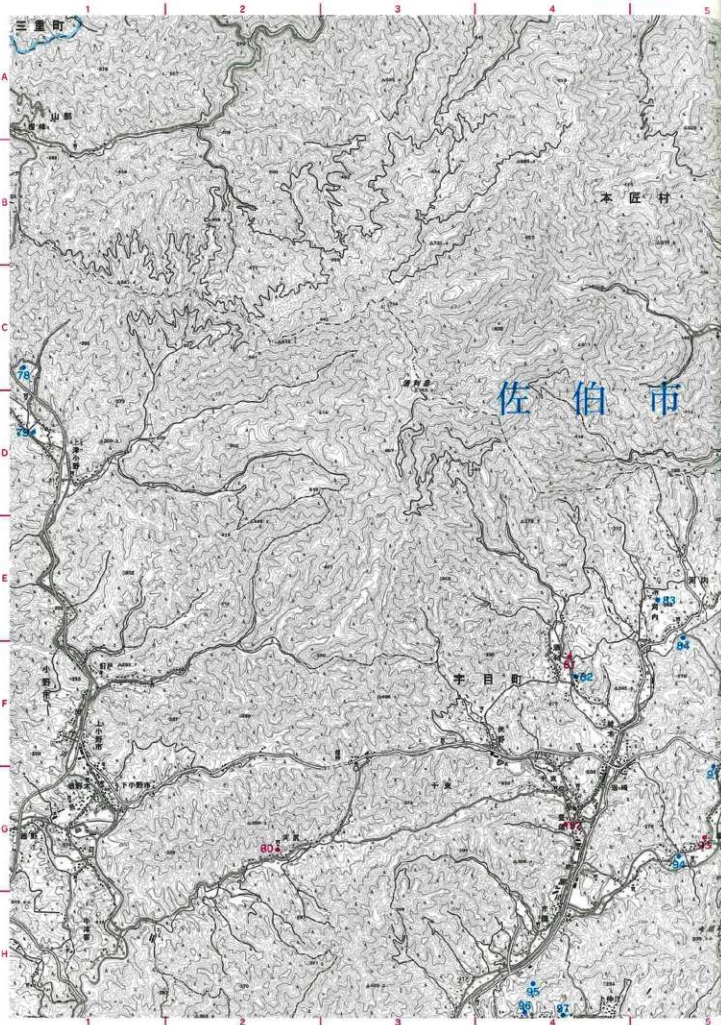
0 1000m

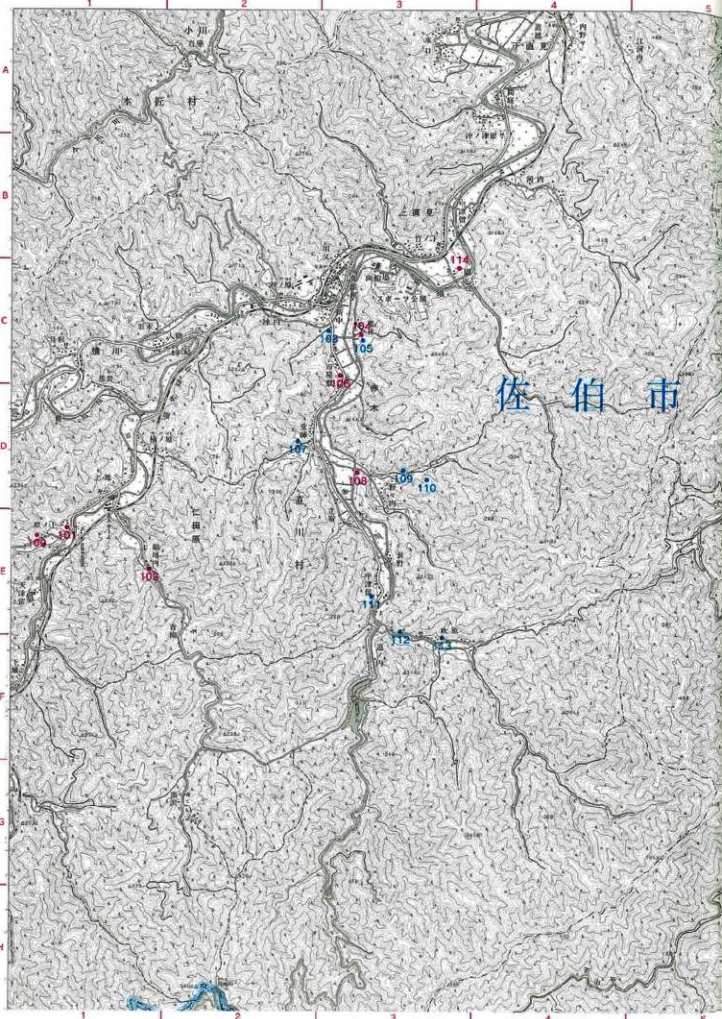


77 小原

79 千束

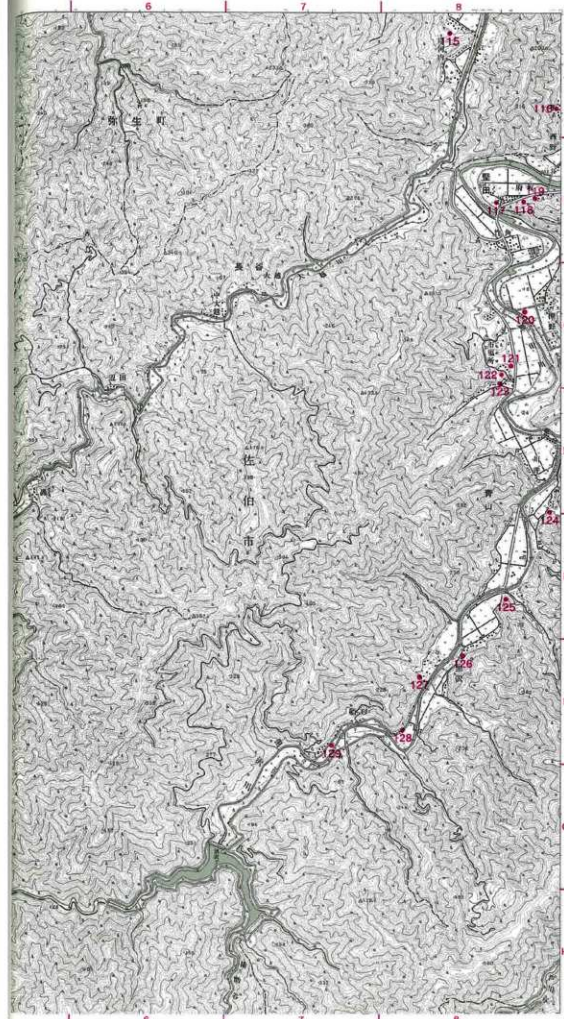






79 千束

佐伯市

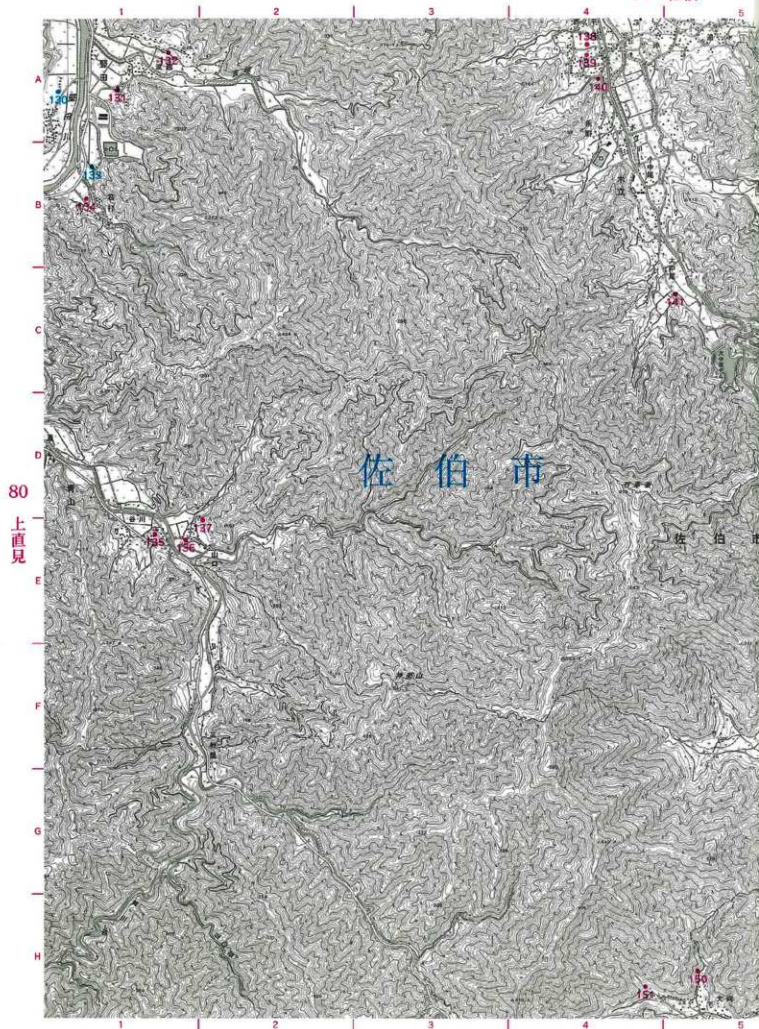


81 畑野浦

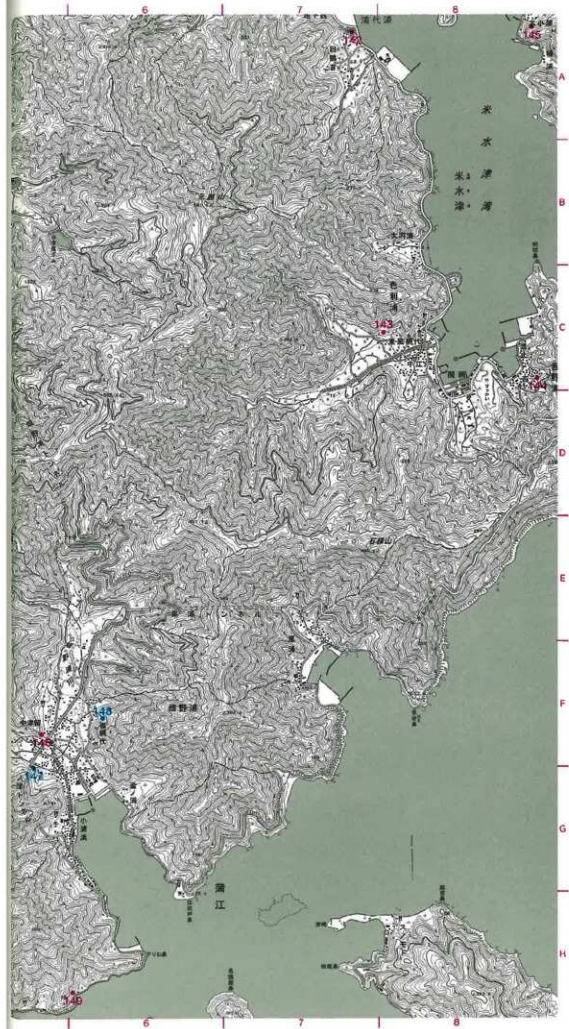
佐伯市



0 500m

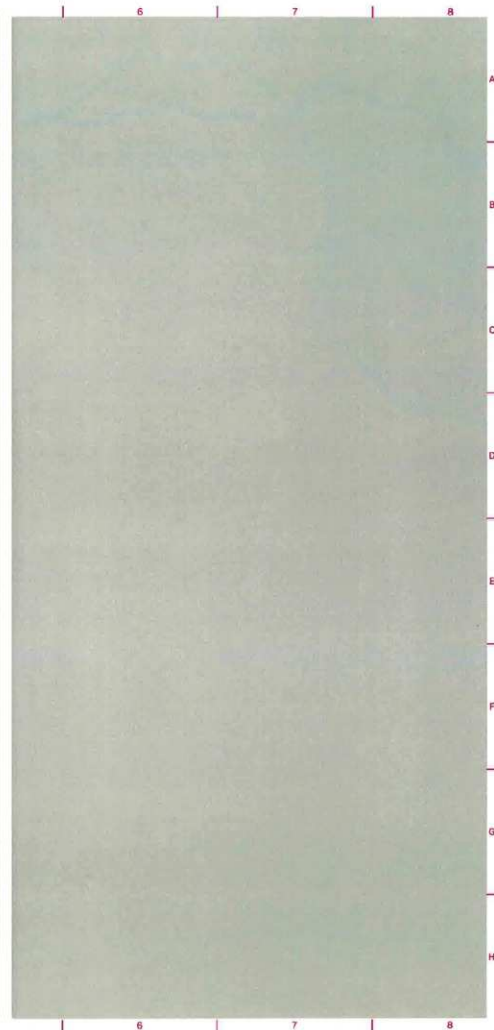
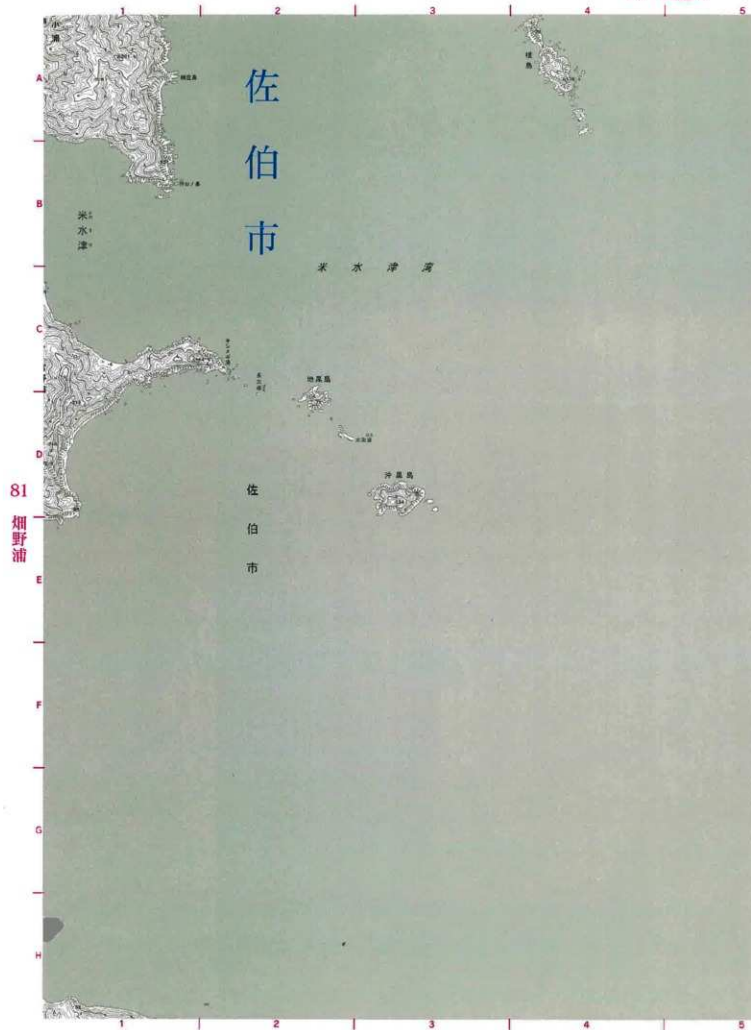


80 上直見

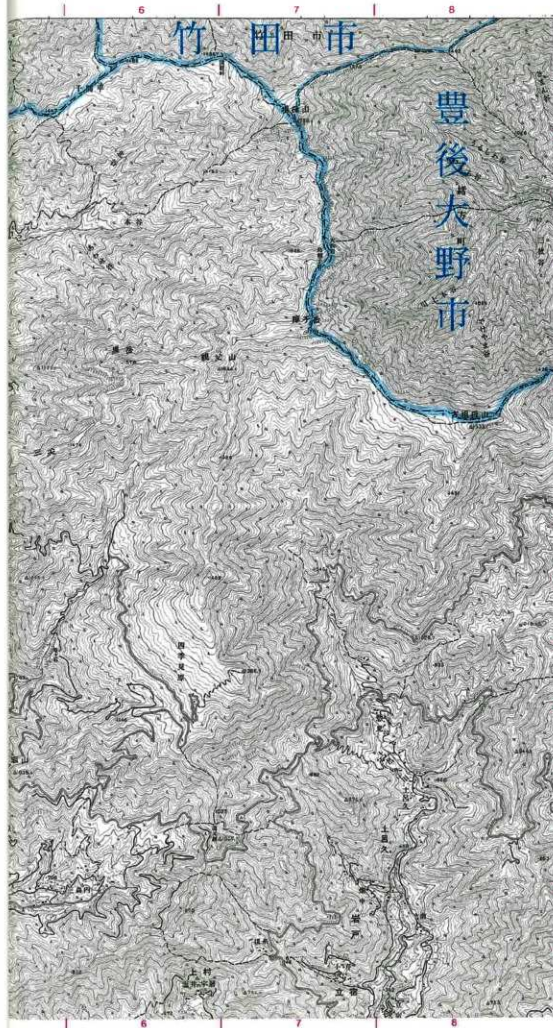
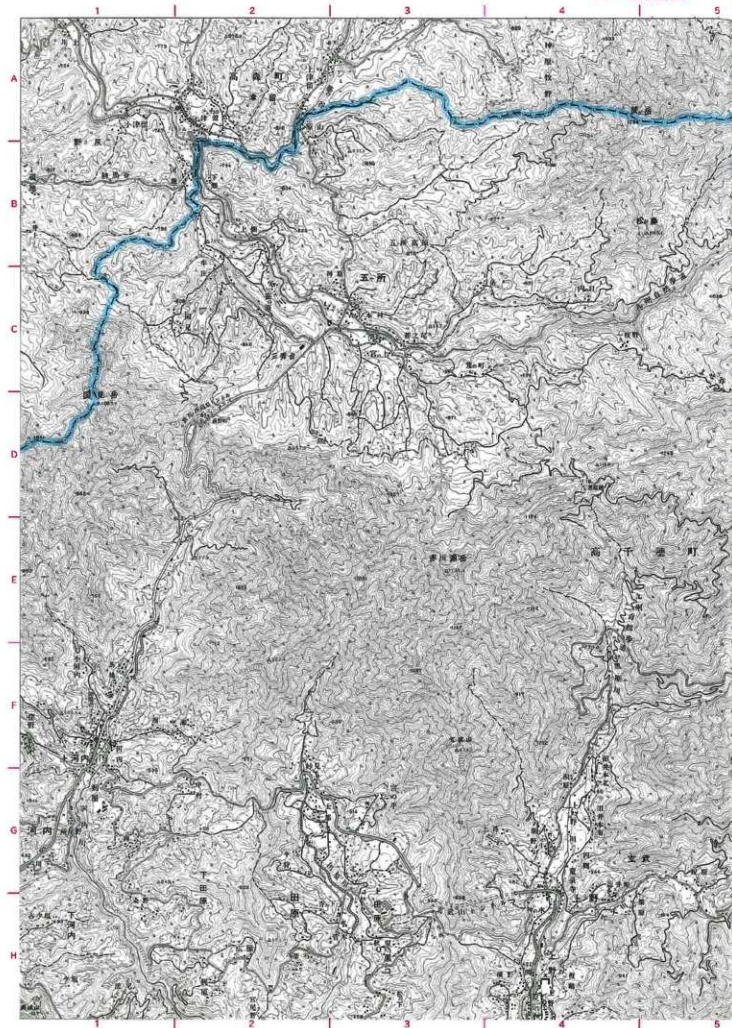


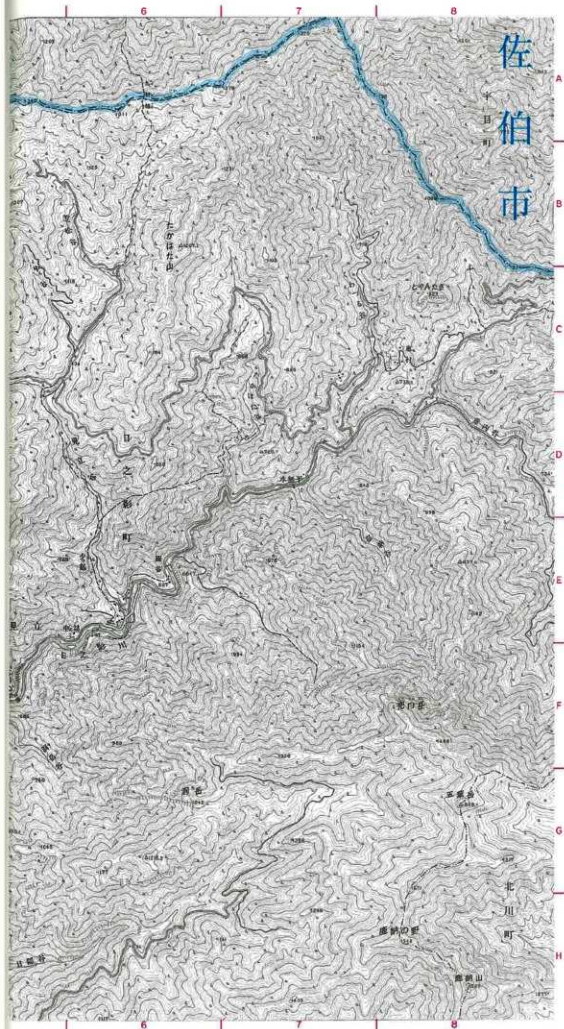
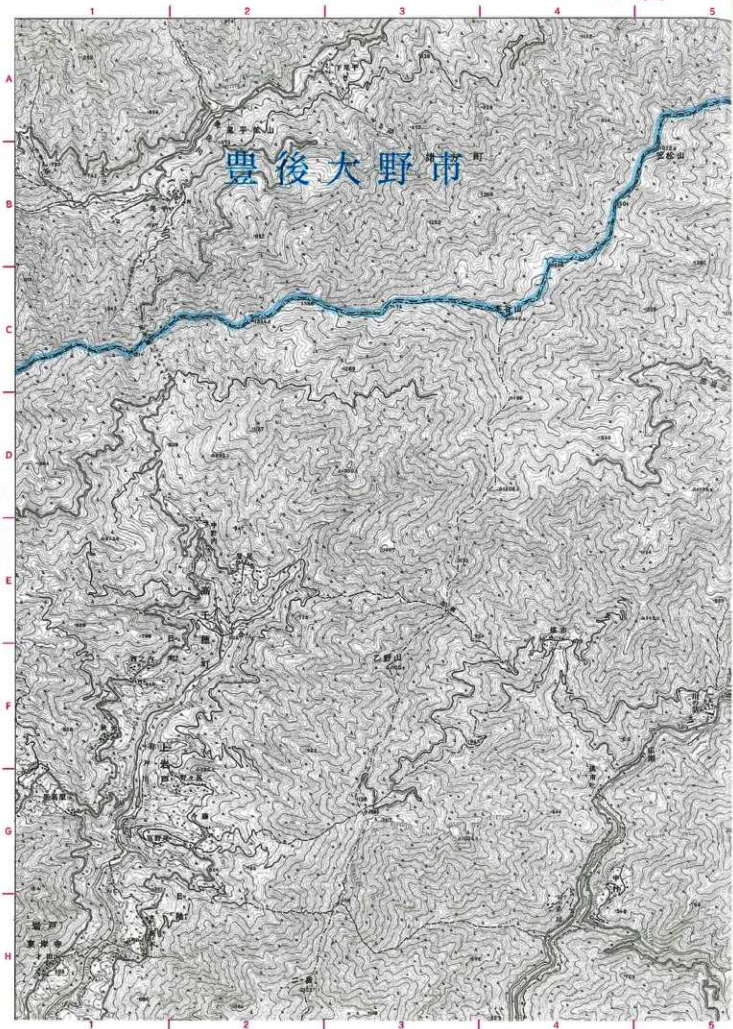
82 沖黒島

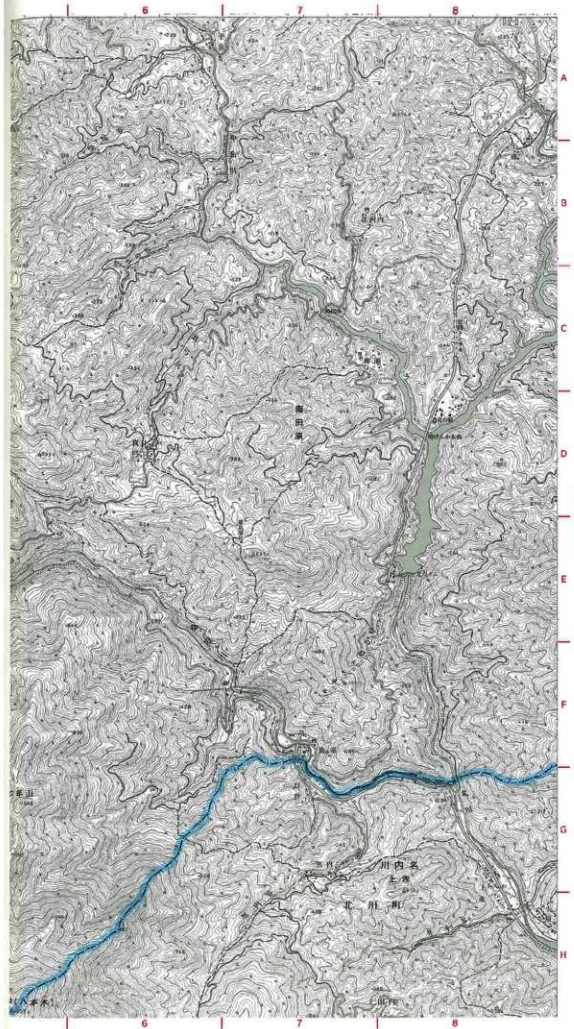
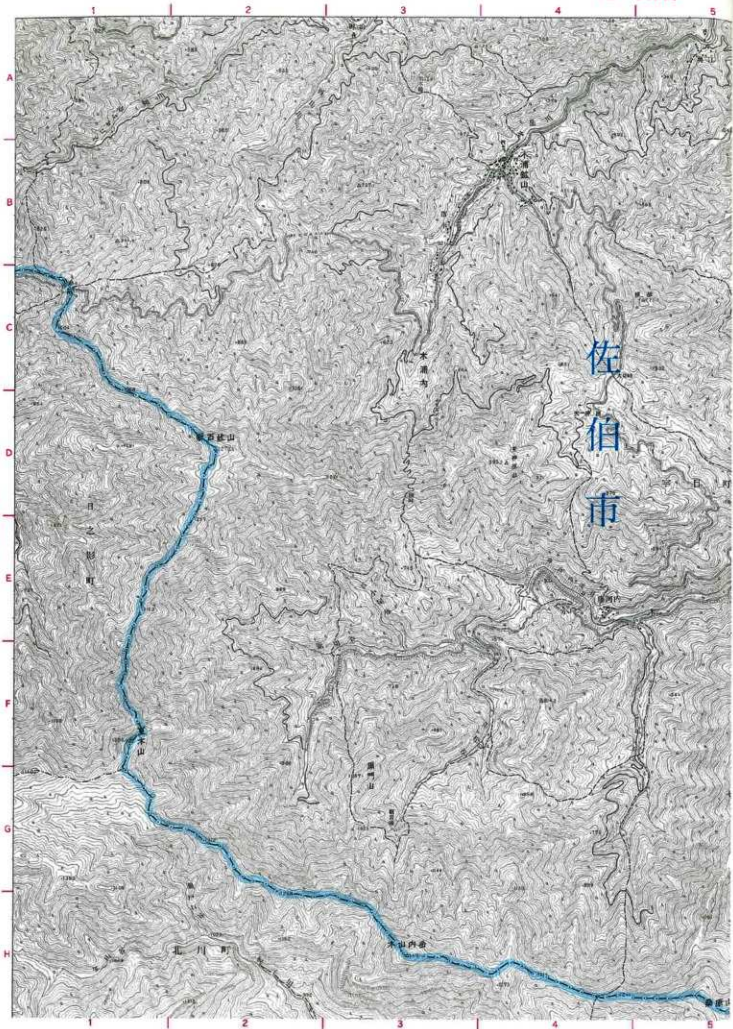


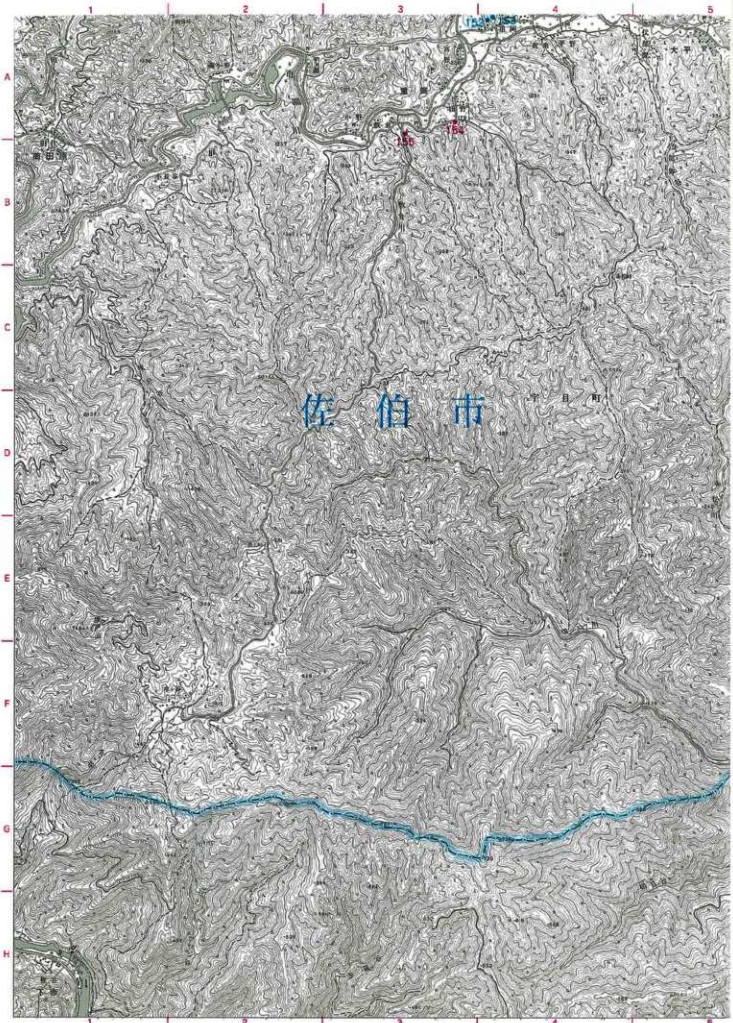




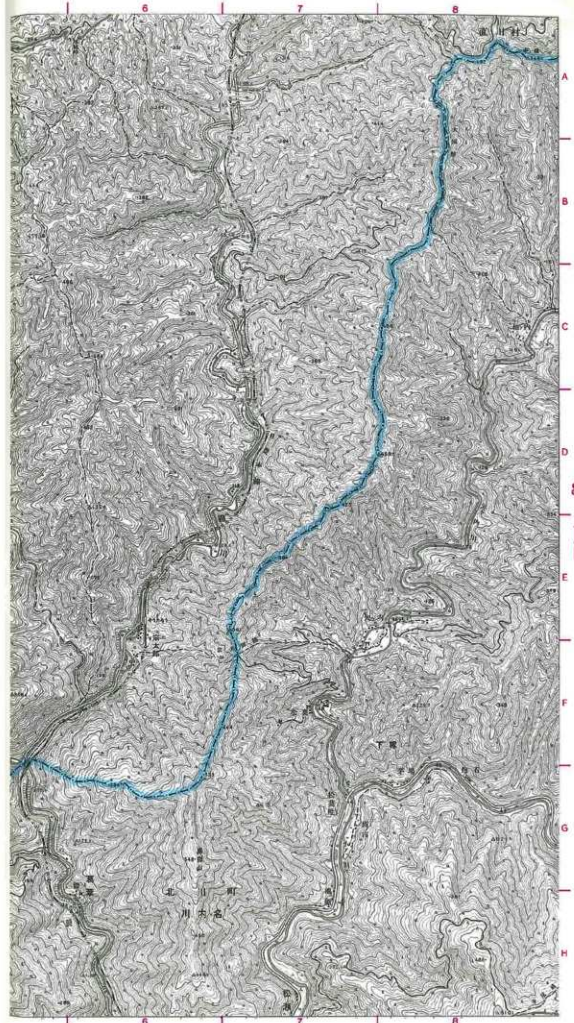






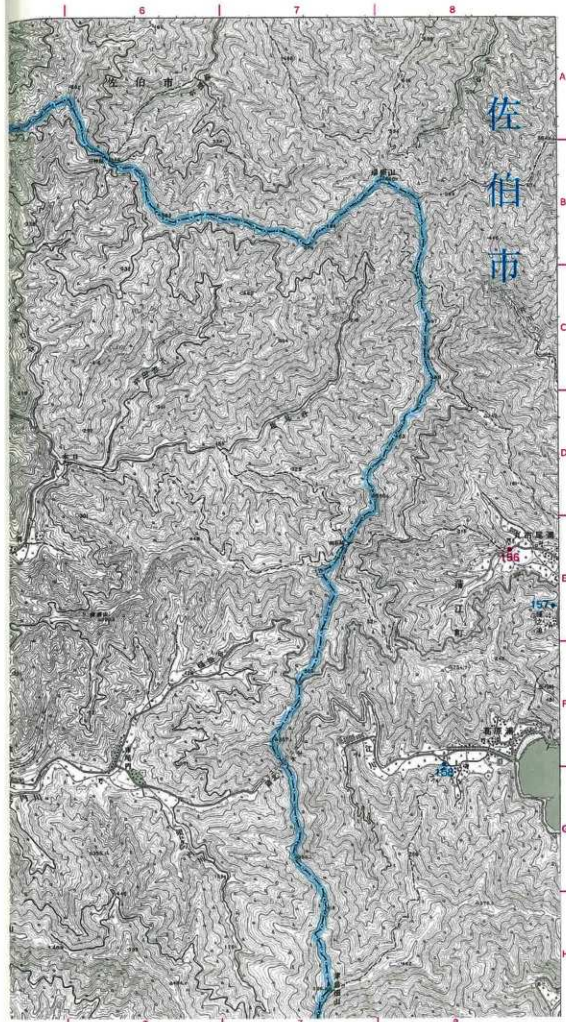
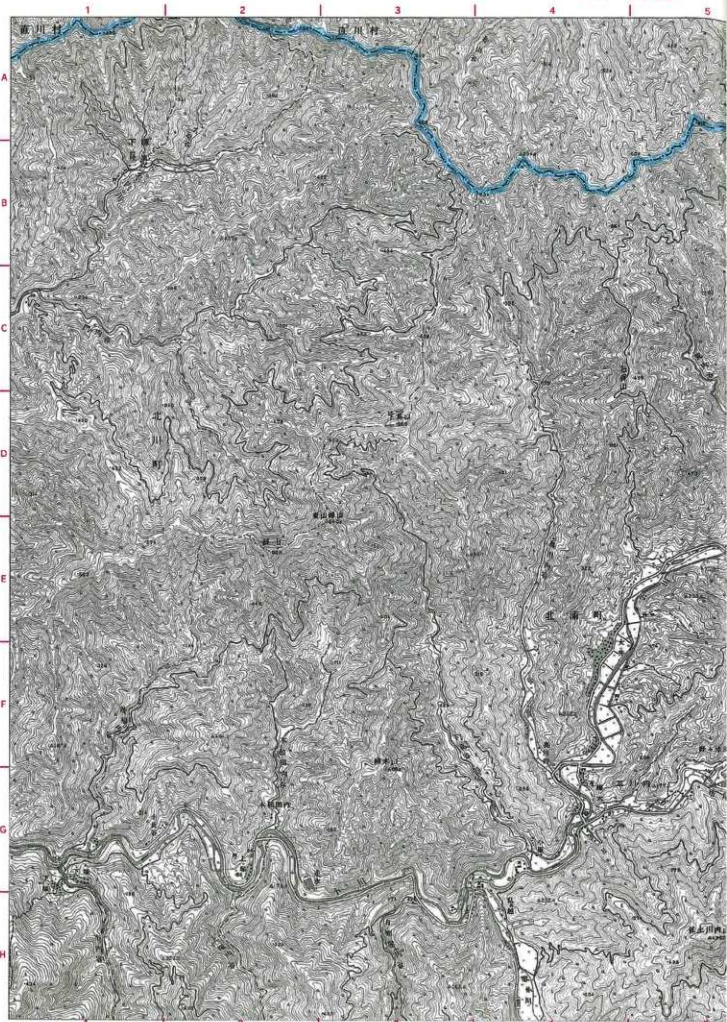


85 木浦鉾山



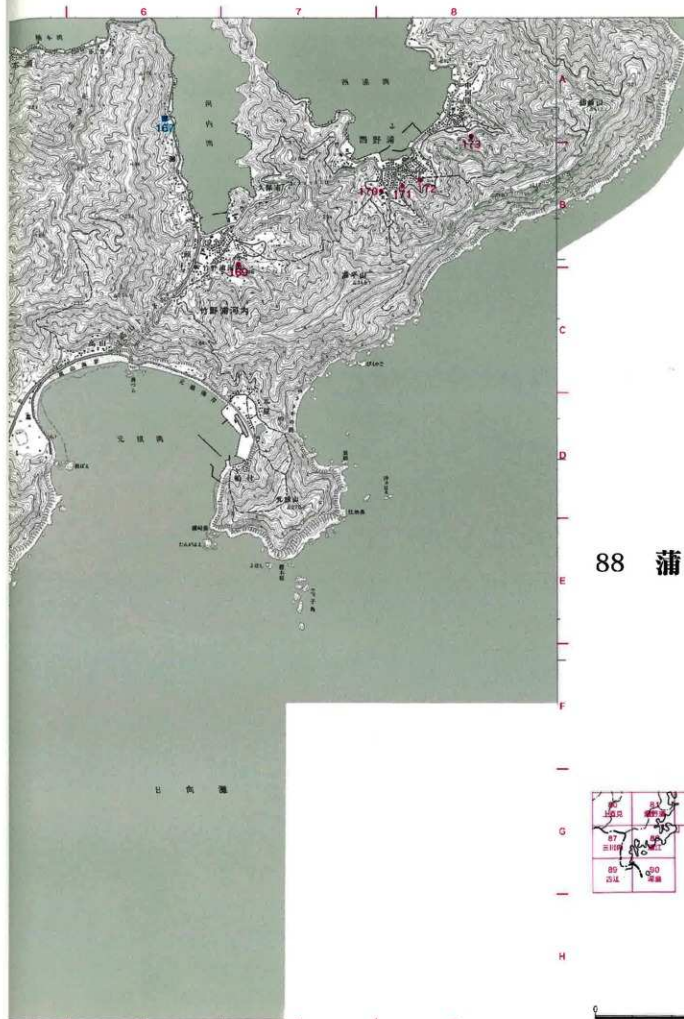
87 三川内

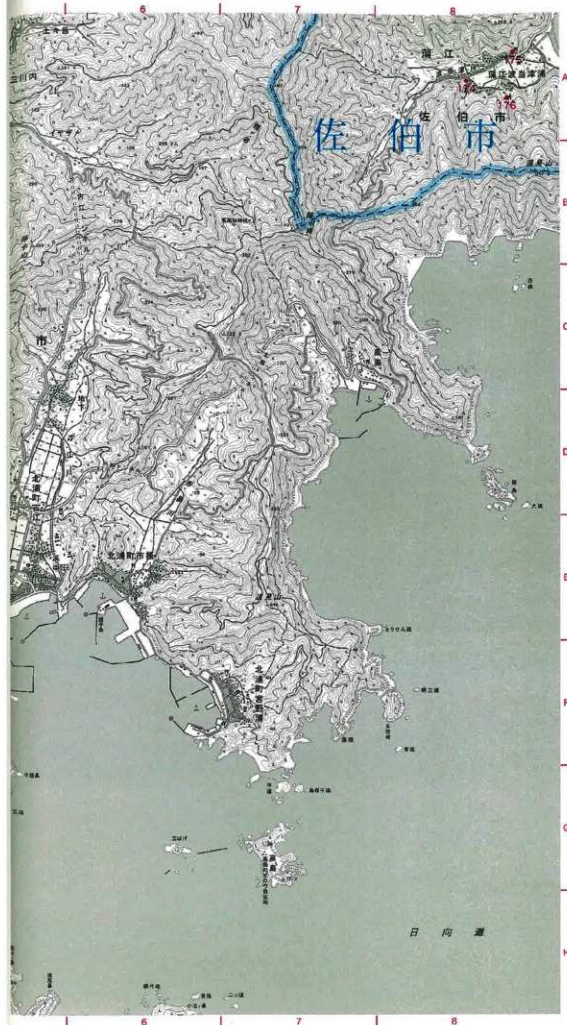
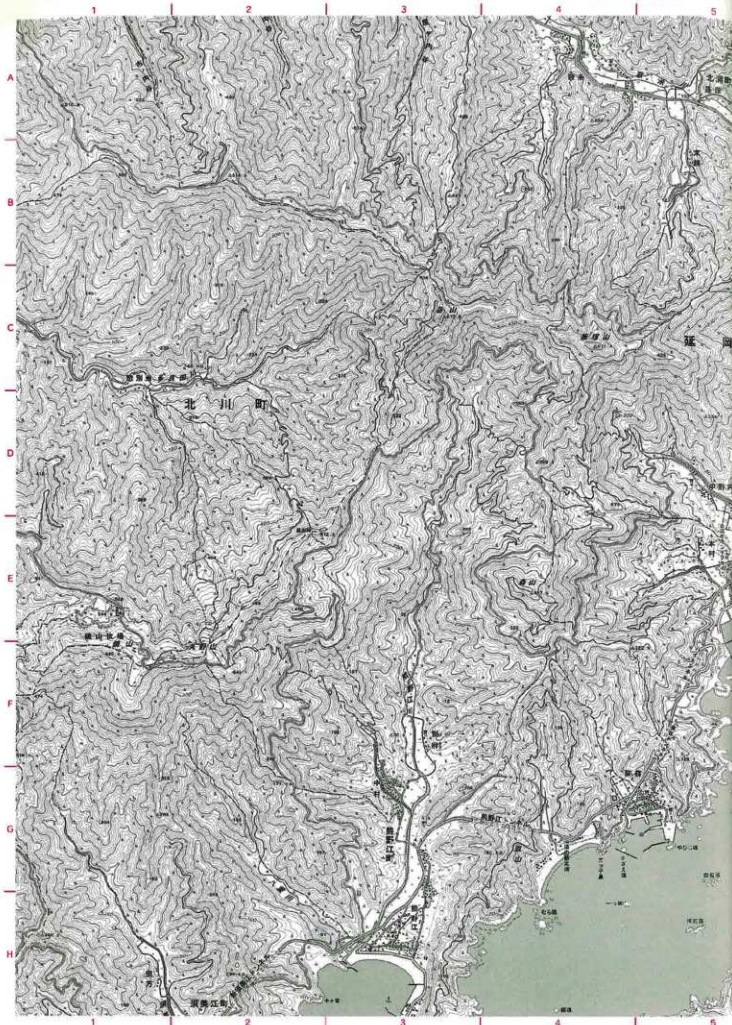


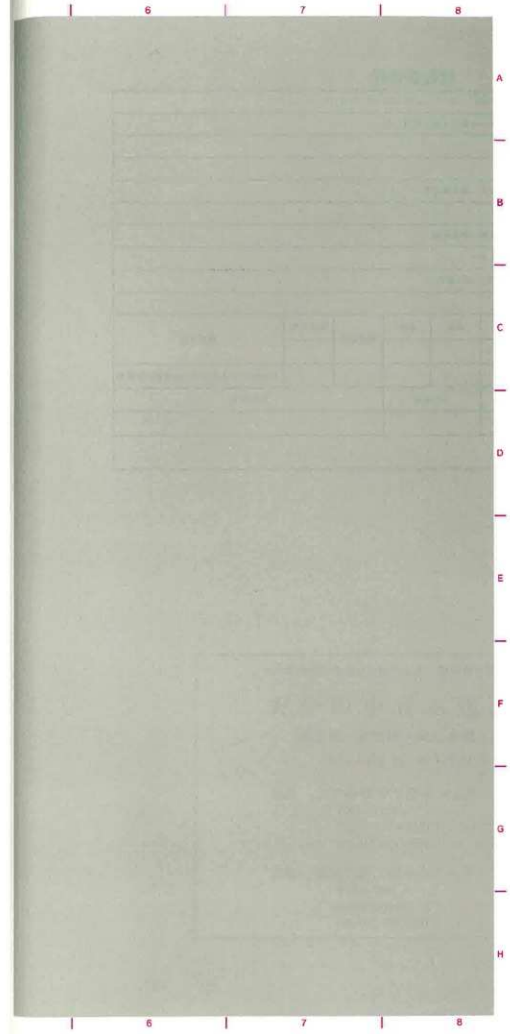
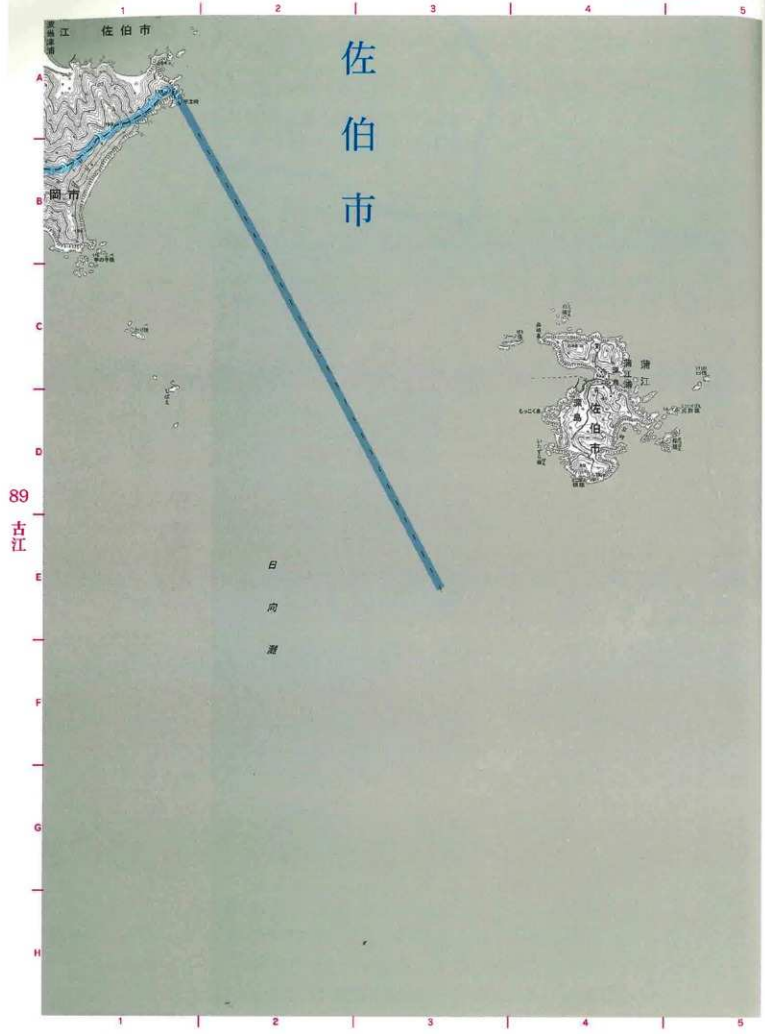


佐伯市











## 報告書抄録

ふりがな	おびいたのちやうせいせきさういぶつ だいしゅう ぶんぶず・ちのいひょうへん						
書名	大分の中世石造遺物 第1集 分布図・地名表編(上)						
副書名							
巻次							
シリーズ名	大分県教育庁歴史文化財センター調査報告書						
シリーズ番号	第70集						
編著者名	小槻和宏・原田昭一・友岡信彦・染矢和徳						
編集機関	大分県教育庁歴史文化財センター						
所在地	〒870-1113 大分市大字小判田1977 書庫						
発行年月日	2013年3月29日						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査山形	調査理由
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				
							大分県古代・古代中世石造遺物分布調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
要約							

大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第70集

## 大分の中世石造遺物

第1集 分布図・地名表編(上)

2013(平成25)年3月29日

発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター

〒870-1113

大分市大字中野田字ビワノ門1977番地

TEL.097-597-5675

印刷 株式会社エポックアート

〒870-0942

大分市羽田984-1

TEL.097-569-1181

